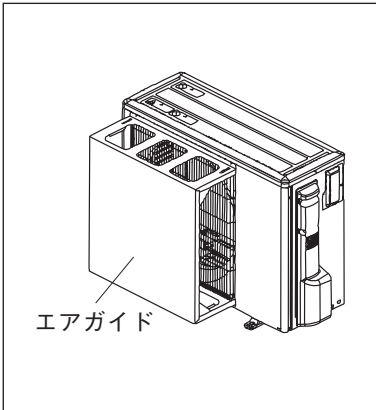


エアガイド

● PAC-SJ06AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温-5℃以下（-15℃まで）で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

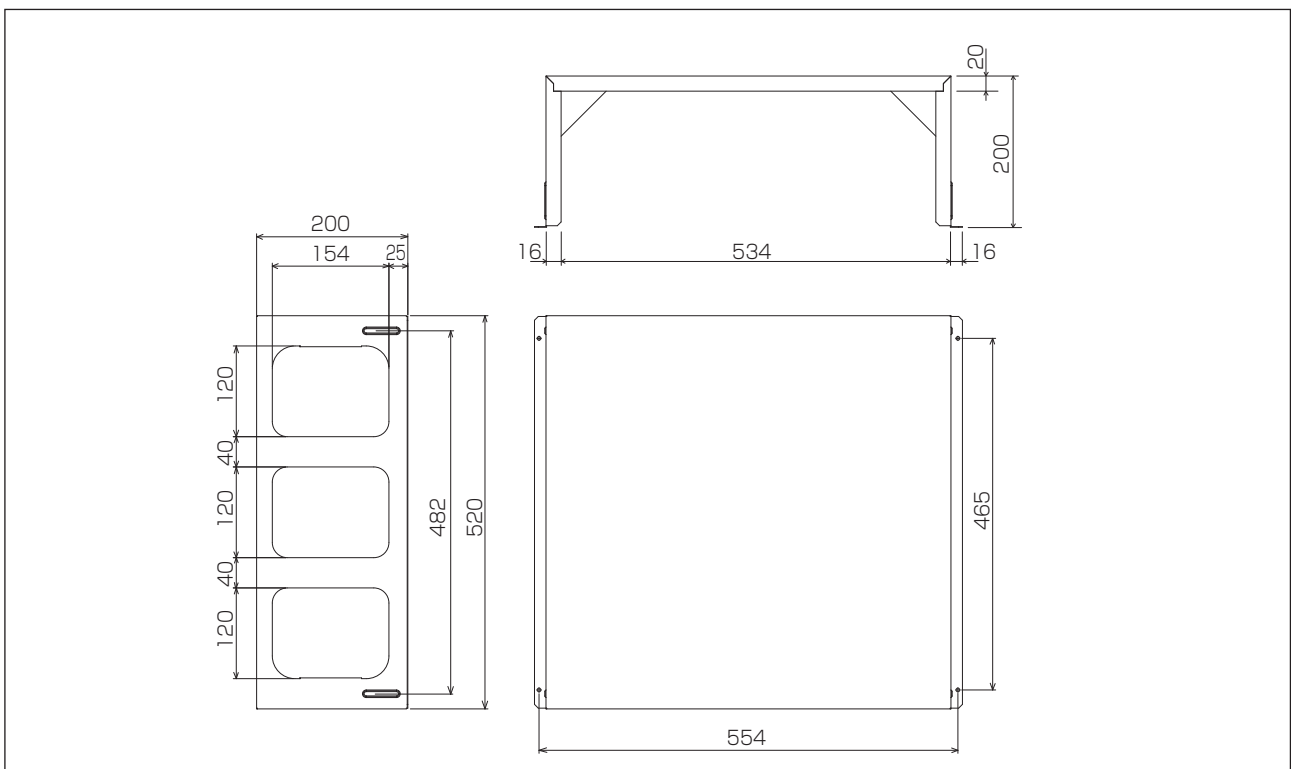
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA, PUZ-ERP40～63(S)KA8, PU-CRP40～63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SJ06AG	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0 Y 7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	1.9kg	
付属部品	取付用座付ネジ (M4 × 16) × 4 (鉄 / 亜鉛ニッケル合金メッキ) スプリングワッシャー × 4 (SUS304 / 無) ワッシャー × 4 (SUS304 / 無)	

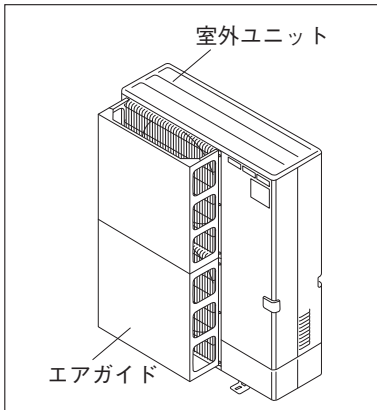
外形図 (組立図) (単位: mm)



エアガイド

● PAC-SH95AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温 -5°C 以下 (-15°C まで) で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

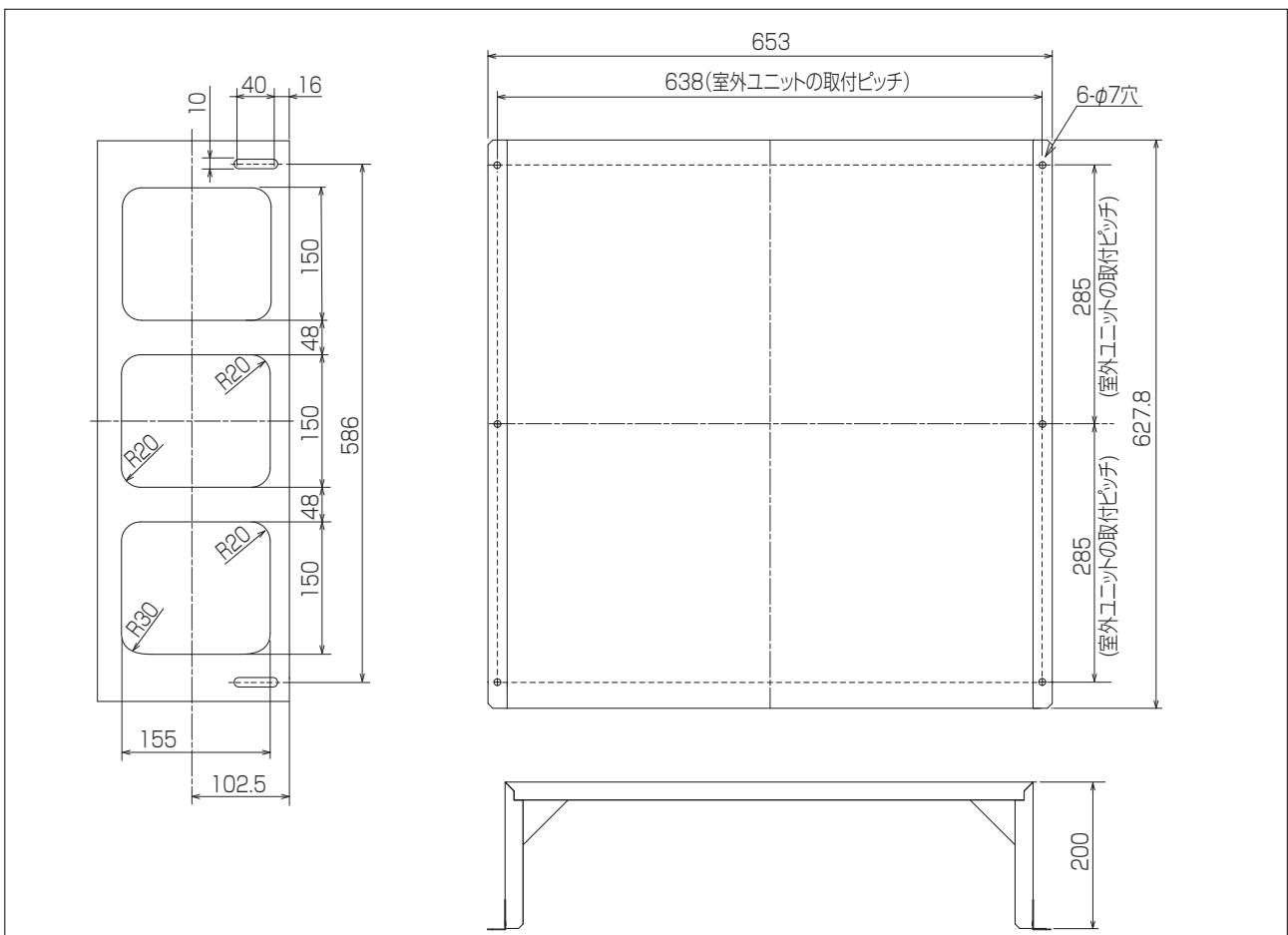
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA (2個使い)
- PUZ-ZRP224・280KA8 (2個使い)
- PUZ-ERP112～160LA3 (2個使い)
- PUZ-ERP224・280KA8 (2個使い)
- PU-CRP112～160LA3 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SH95AG	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	表面処理	アクリル樹脂塗装
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
質量	3.5kg	
付属部品 (材質/表面処理)	取付用ネジ (5×15) × 4 (鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ)	

外形図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱パッケージエアコン別売部品
エアガイド 取付説明書

PAC-SH95AG
室外ユニットK/Lシリーズ用
PAC-SJ06AG
室外ユニットKシリーズ用

この「エアガイド」は、室外ユニットの送風機がファンコントローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護などにご使用ください。

また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合には本品の取付けが必要です。

尚、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。

- 1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
- 2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
- 3) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 4) 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある(吹出し空気が障害物に当たる)ような設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。

2ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

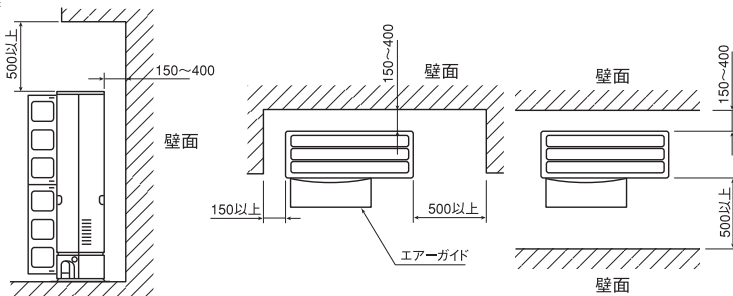
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

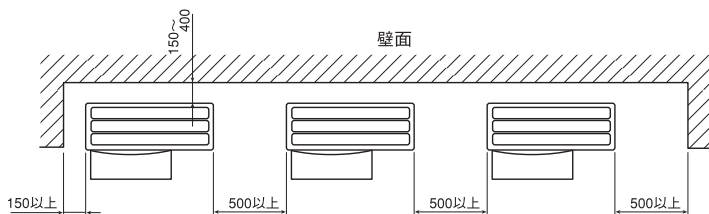
①本体	1台	②取付ネジ	③ワッシャー	④スプリングワッシャー
		PAC-SH95AGの場合 5×15…6本 PAC-SJ06AGの場合 4×16…4本	PAC-SH95AGの場合 …6個 PAC-SJ06AGの場合 …4個	PAC-SH95AGの場合 …6個 PAC-SJ06AGの場合 …4個

2 設置スペースの確認 [単位: mm]

(1) 単独設置時

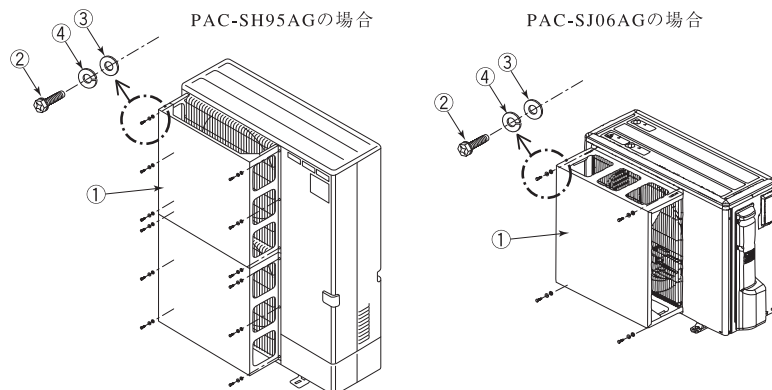


(2) 複数台設置時 ※連続設置は5台以内としてください。



3 取付方法

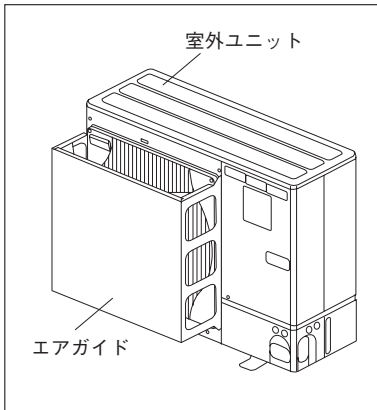
(1) 本体①をワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取付けてください。



エアガイド

● PAC-SJ03AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温 -5°C 以下 (-15°C まで) で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

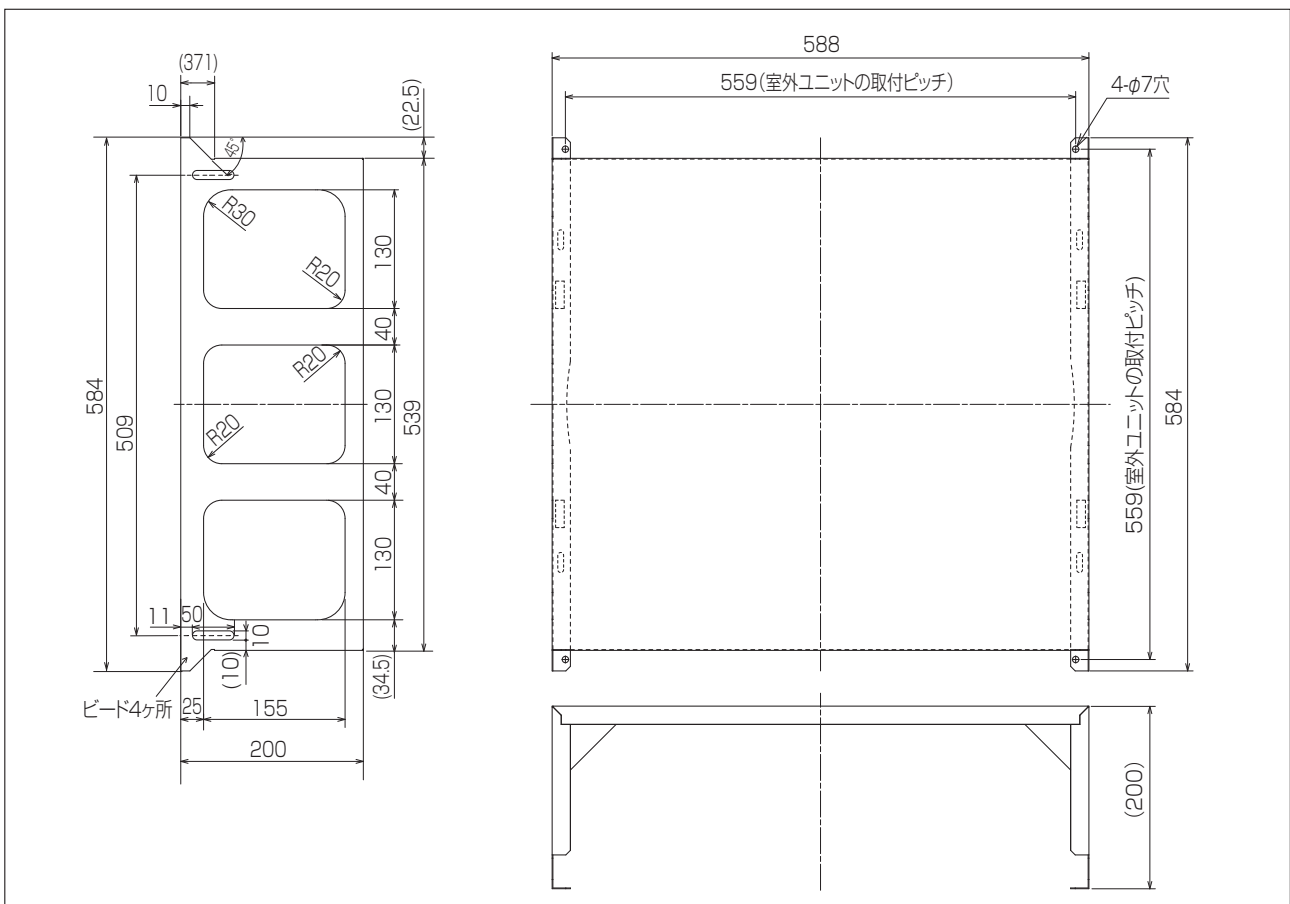
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA (1個使い)
- PUZ-ERP80(S)HA14 (1個使い)
- PU-CRP80(S)HA14 (1個使い)
- PUZ-HRP80～160HA14 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SJ03AG
色	アイボリー
マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
表面処理	アクリル樹脂塗装
材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
質量	3.3kg
付属部品 (材質 / 表面処理)	取付用ネジ (5×15) × 4 〈鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ〉

外形図 (単位: mm)





三菱パッケージエアコン別売部品
エアガイド 取付説明書

PAC-SJ03AG
室外ユニット用

この“エアガイド”は、室外ユニットの送風機がファンコントローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護などにご使用ください。また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合には本品の取付けが必要です。尚、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。

- 1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
- 2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
- 3) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 4) 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある(吹出し空気が障害物に当たるような設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。

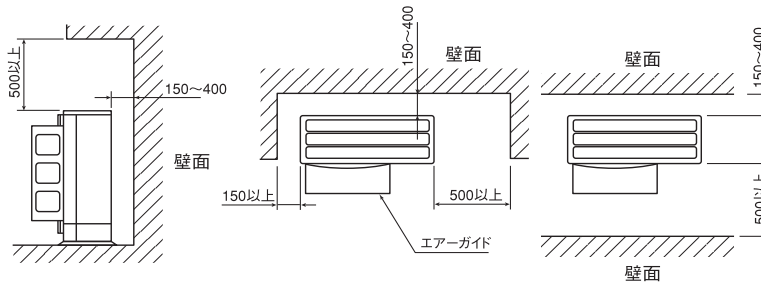
2ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

1 部品の確認 この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので確認ください。

①本体	1台	②取付ネジ5×15	4本	③ワッシャー	4個	④スプリングワッシャー	4個

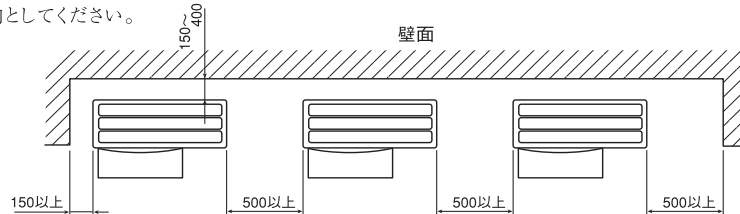
2 設置スペースの確認

(1) 単独設置時



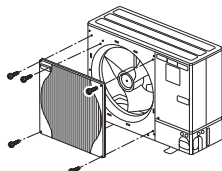
(2) 複数台設置時

※連続設置は5台以内としてください。

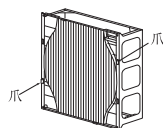


3 取付方法 [ファンガードの仕様により、取付方法が異なりますので、図示を参照してください。]

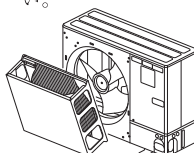
(1) ファンガード固定ネジ(外周5本)を取外して、ファンガードを外してください。



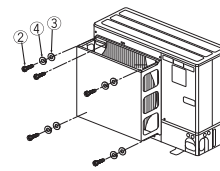
(2) ファンガードの爪をエアガイドの角穴に挿しこんでください。



(3) ファンガードの爪(4ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に挿しこんでください。

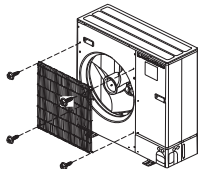


(4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取付けてください。



※ハンドル部分については既存のネジを使用してください。

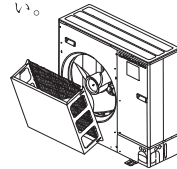
(1) ファンガード固定ネジ(外周4本)を取外して、ファンガードを外してください。



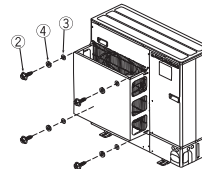
(2) ファンガードの爪をエアガイドの長穴に挿しこんでください。



(3) ファンガードの爪(2ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に挿しこんでください。



(4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取付けてください。

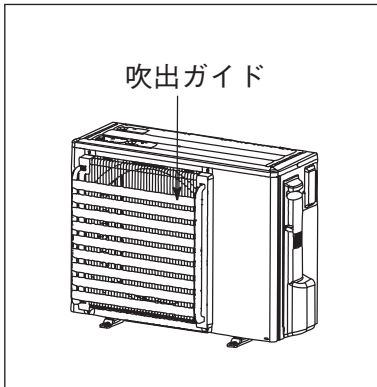


BH79G740H02

吹出ガイド

● PAC-SJ07SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド”は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

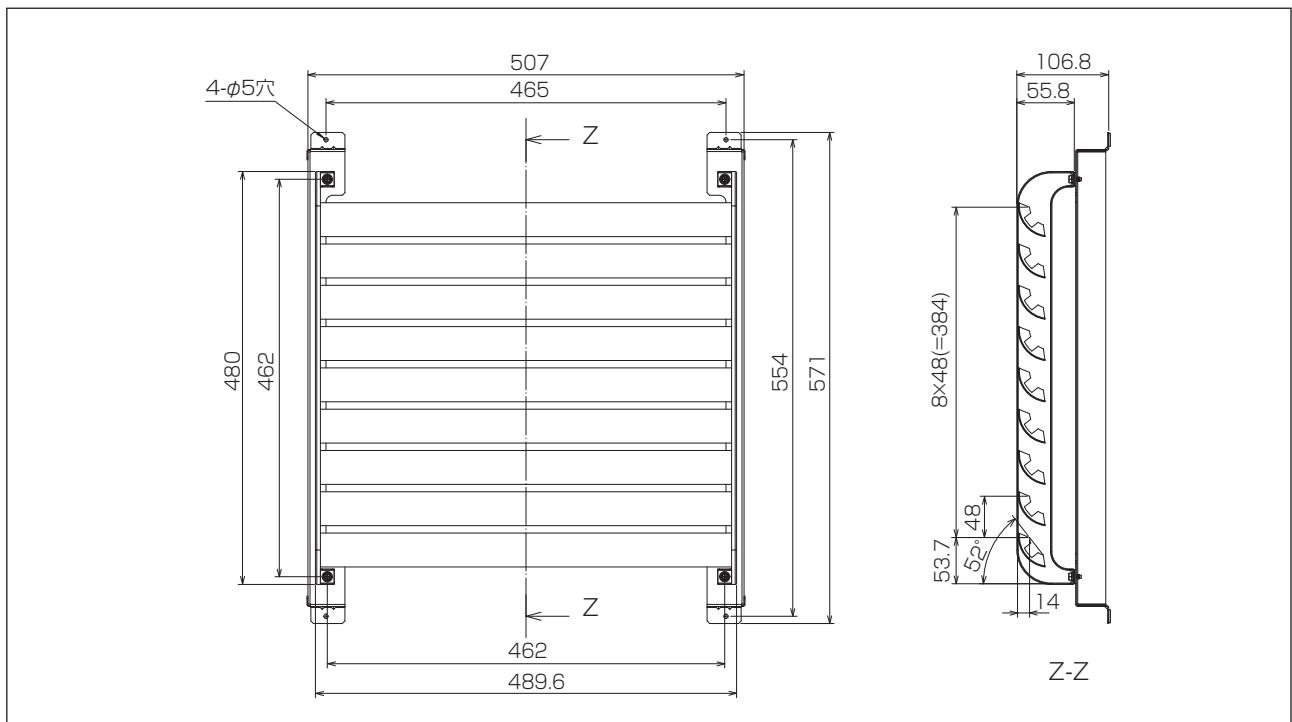
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA (1個使い)
- PUZ-ERP40～63(S)KA8 (1個使い)
- PU-CRP40～63(S)KA8 (1個使い)

仕様

形名	PAC-SJ07SG	
外装	色(マンセル)	アイボリー(3.0 Y 7.8/1.1)
	材質	吹出ガイド本体：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	2.8kg	
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更	
付属部品×数量 <材質/表面処理>	ネジ(M5×10)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ) ネジ(M4×12)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ)	

外形図 (単位：mm)





三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-SJ07SG
室外ユニットKシリーズ用

吹出ガイド 取付説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよく読み、確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な事項を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または財産・家財などの損害に結びつくもの。

● 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書と併にお客様で保護いただくように依頼してください。

注意

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

● 取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

● 取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

● 取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

● 取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を向上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 積雪が予想される場合は、「上吹き」でのご使用は絶対におやめください。ガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2) 本品取付けにより、能力ダウン（2～3%）及び室外ユニットの騒音アップ（1～2dB程度）があります。
- 3) 室外ユニットの背面と、面側に障害物がある（吸込み空気がある）場合、室外ユニット（1～2dB程度）があります。
- 4) 設置スペースについては代表機種について記載してあります。念のため室外ユニットの取付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①吹出ガイド.....1個	②サポート.....2個	③取付ネジ 5×10.....4本	④取付ネジ 4×12.....4本
---------------	--------------	-------------------	-------------------

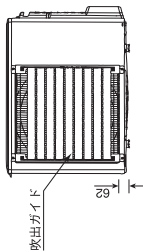
取付説明書

吹出ガイド：PAC-SJ07SG

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 取付完成図

幅809×高さ630×奥行300mmの
室外ユニット

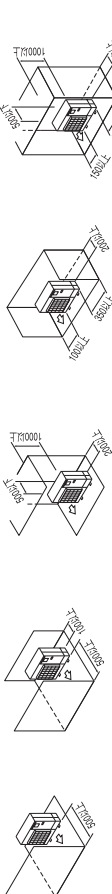


3 設置スペースの確認

● ショートサイクルをおこなさないよう以下の周囲必要空間を確保の上、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

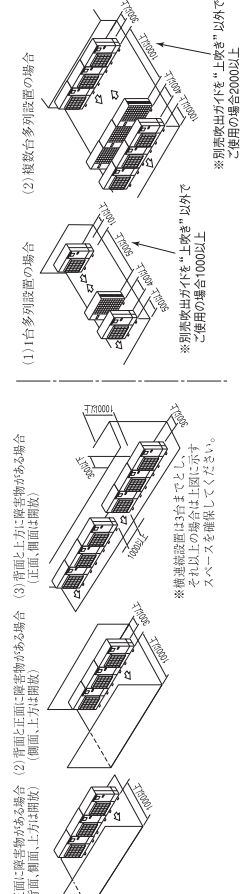
- 1) 単独設置時の周囲必要空間

- 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。



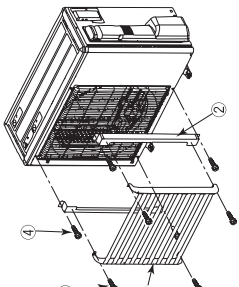
2) 複数設置時の周囲必要空間

- 補連続設置の場合、ユニット間は350以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

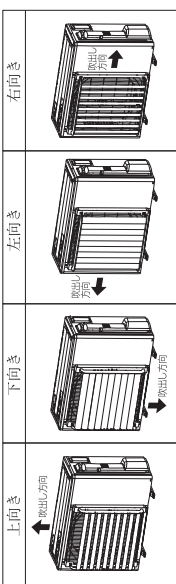


4 取付方法

- 1) サポート②(2個)をネジ①(4本)で室外ユニットに固定し、熱を作成してください。
- 2) 組み立てたサポートに、吹出しガイド③(4本)で取付けてください。



吹出方向

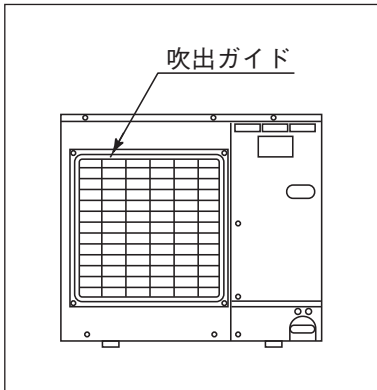


BH79R272H01

吹出ガイド

● PAC-SJ04SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

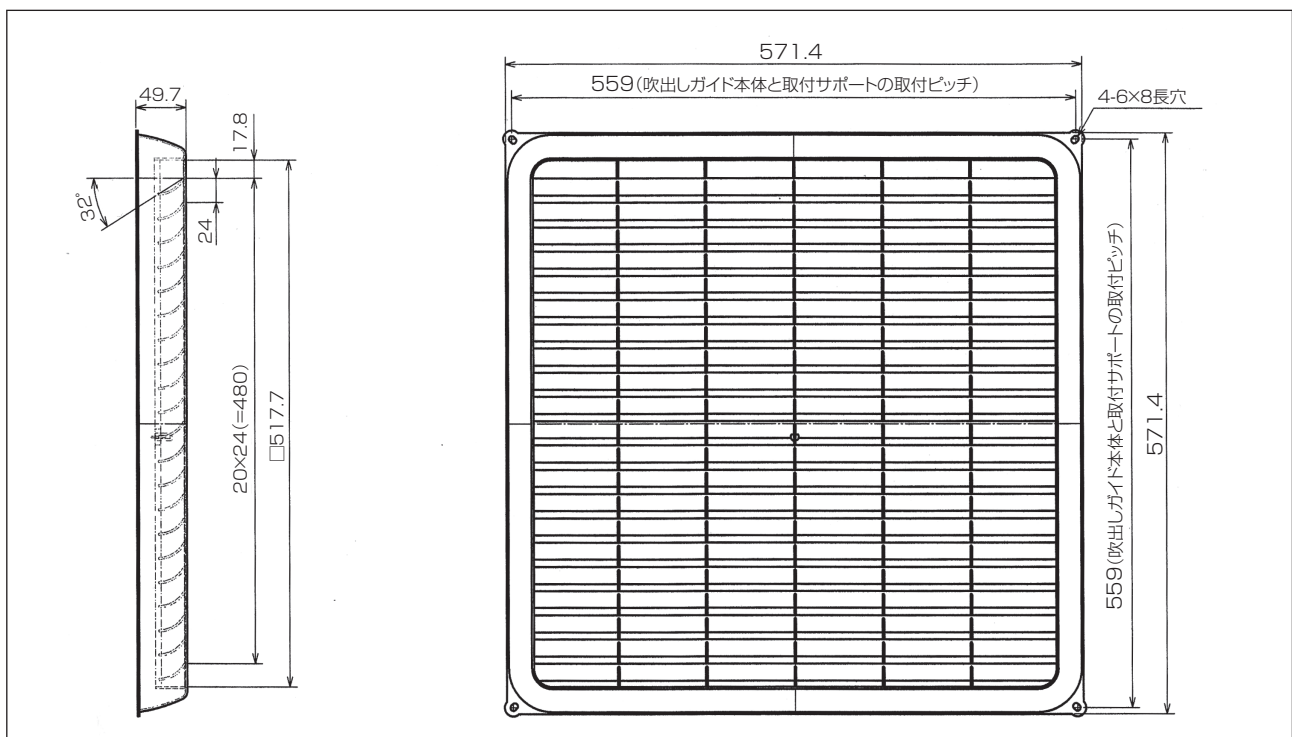
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA (1個使い)
- PUZ-ERP80(S)HA14 (1個使い)
- PU-CRP80(S)HA14 (1個使い)
- PUZ-HRP80～160HA14 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SJ04SG
色	アイボリー
外装 マンセル	3.0 Y 7.8/1.1
材質	吹出ガイド本体：PP樹脂
質量	1.2kg
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更
付属部品	取付用座付きネジ(M5×40)×4<鉄線(SWCH18A) / 垂鉛メッキ> スペーサー×4

外形図 (単位：mm)





三菱パケージェージエアコン別売部品

吹出ガイド 取付説明書

PAC-SJ04SG
室外ユニット用

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に守って下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に際する重大な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

▲ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
▲ 注意 誤った取扱いをしたときに、燃傷または家屋・家財などの損傷に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼して下さい。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼して下さい。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- 取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。
- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

注意

- 取り扱は、幼少の手の届くところに置かない。
- 取付からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 漏電や発熱、火災の原因になることがあります。
- 電線配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
- ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、詰りが生じないように疏通すること。
- 冷媒配管工事がある場合は、配管は結露しないように確実に行なう。
- 不完全な新築施工を行なうと配管表面が腐食して、露出し等を発生し、天井・床その他の、大切なものを腐らす原因となります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1 積雪が予想される場合は、「上吹き」でのご使用は絶対におやめください。ファンガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2 本品取付けにより、能力ダウン（2～3%）及び室外ユニットの騒音アップ（1～2dB程度）があります。
- 3 室外ユニットの背面と、側面に障害物がある（吸込み空気をユニット上方から取入れる）ような設置場所では、「上吹き」でのご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- 4 設置スペースについては代表機種にて記載してあります。念のため室外ユニットの据付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

2ファンタイプの室外ユニットのご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

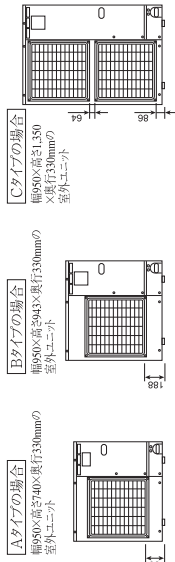
①吹出ガイド.....1個	②取付ネジ 5×40.....4本	③スペーサ.....4個
---------------	-------------------	--------------

取付説明書

吹出ガイド：PAC-SJ04SG

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 取付完成図

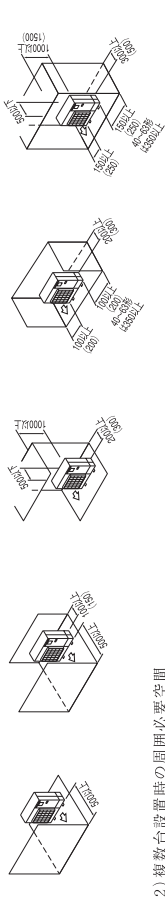


3 設置スペースの確認

● ショートサイクルをおこなうよう以下の周囲必要空間を確保の上、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

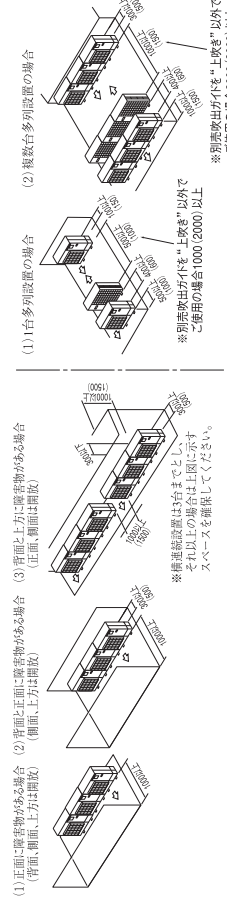
1) 単独設置時の周囲必要空間

- 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」でのご使用はおやめください。
- (1)正面に障害物がある場合 (側面、上面は開放)
- (2)背面と正面に障害物がある場合 (正面、上面は開放)
- (3)背面と上面に障害物がある場合 (正面、上面は開放)
- (4)背面と側面に障害物がある場合 (正面、上面は開放)
- (5)背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面、上面は開放)



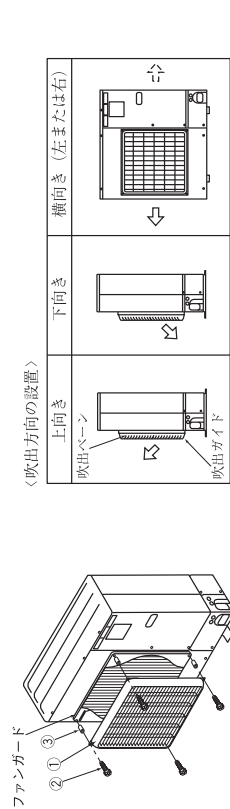
2) 複数台設置時の周囲必要空間

- 搬送設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」でのご使用はおやめください。



4 取付方法

- 1 既存のファンガードを固定しているネジ(4本)を取り外してください。
- 2 スペーサ③(4個)をファンガードのネジ固定箇所にて、吹出ガイド①をファンガードの上、現地に合った方向で取付けてください。
- 吹出し方向は4方向選択できますので、吹出しベーンの向きをご確認の上、現地に合った方向で取付けてください。

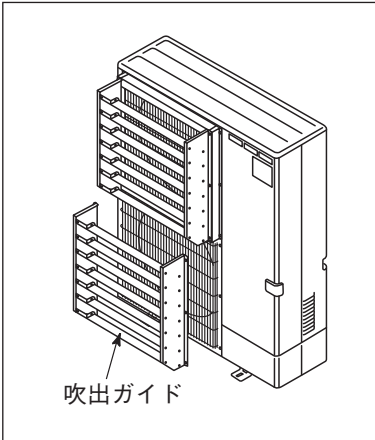


BH79G756H03

吹出ガイド

● PAC-SH96SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

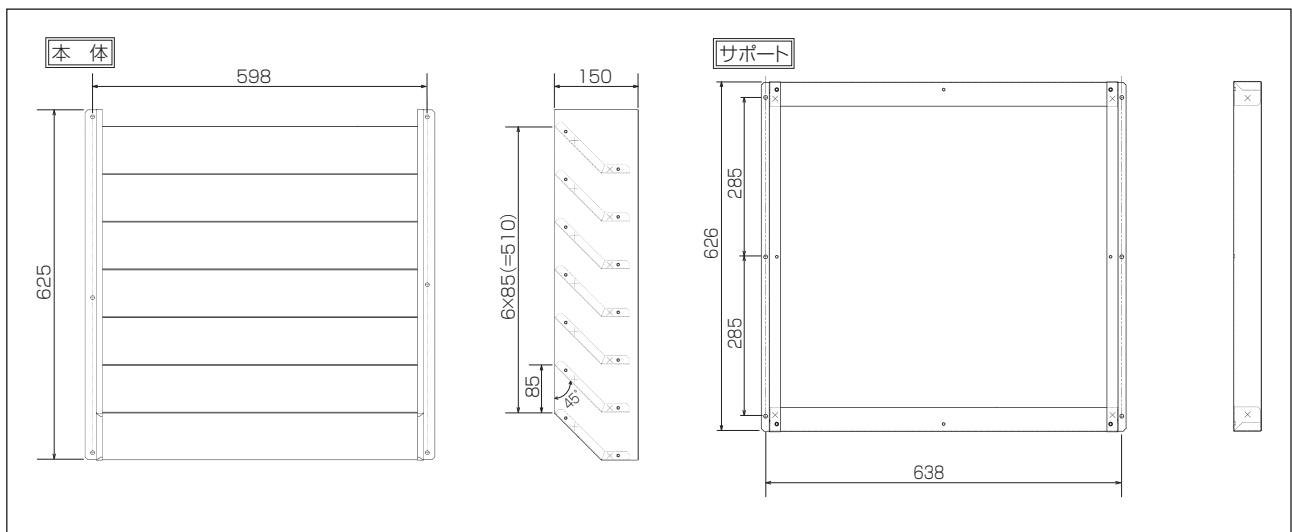
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA, PUZ-ZRP224・280KA8 (2個使い)
- PUZ-ERP112～160LA3, PUZ-ERP224・280KA8 (2個使い)
- PU-CRP112～160LA3 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SH96SG
色	アイボリー
外装	マンセル
	材質
質量	7kg
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更
付属部品	取付用座付きネジ(M5×15)×12<鉄線(SWCH18A) / 亜鉛メッキ> ワッシャー×12, スプリングワッシャー×12

外形図 (単位：mm)





三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-SH96SG

室外ユニットK/Lシリーズ

吹出ガイド 取付説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に守って下さい。
- この示した注意事項は、安全に關する重大内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で説明しています。

- ▲ **警告** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害が生じることがあります。
- ▲ **注意** 誤った取扱いを行わないよう注意がないことを確認するとともに、この取付説明書と共に、お受付けの保証書に必ずお印を捺印していただくよう依頼してください。また、お使いになる方が代わりの場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。
- 取付けは、この取付説明書に従って正確に行なう。
- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ホリドリは鉛の手の届くところに置かない。
- 頭からめぐるなどしたときに口や鼻をぶきさる原因になります。
- 冷媒配管工事がある場合は配管は配管しないように注意して行なう。
- 不完全な配管工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。
- 電気配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用する。
- 漏電や発熱、火災の原因になることがあります。
- ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、配管が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他感電等を漏らす原因になることがあります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風(冷房運転時)または冷風(暖房運転時)の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 積雪が予想される場合は、「上吹き」での使用は絶対におやめください。ガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 3) 室外ユニットの背面と、両面に障害物がある(吸込み空気をユニット上方から取入れる)ような設置場所では、「上吹き」での使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- 4) 設置スペースについては代表機種については記載してあります。念のため室外ユニットの据付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

2ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほか上記部品が入っていますのでご確認ください。

①本体	1台	②サポート	1台	③取付ネジ 5×1.5	12本	④ワッシャー	12個	⑤スプリング ワッシャー	12個

取付説明書

吹出ガイド:PAC-SH96SG

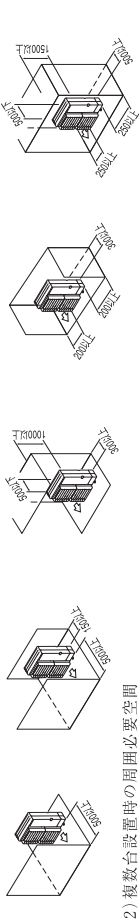
(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 設置スペースの確認

● ショートサイクルをおこなさないよう以下の周囲必要空間を確保の上、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

- 下図(3)・(5)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。
- (1) 正面に障害物がある場合 (側面、上方は開放)
- (2) 背面と正面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (4) 背面と側面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- (5) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



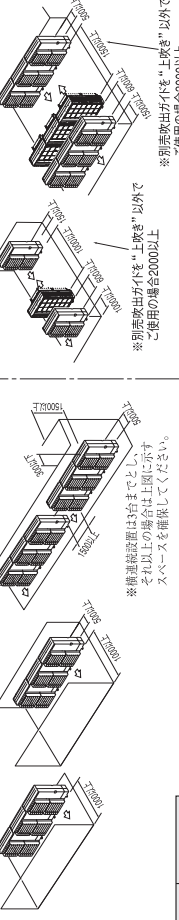
2) 複数設置時の周囲必要空間

- 連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

(1) 正面に障害物がある場合 (側面、上方は開放)

(2) 背面と正面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)

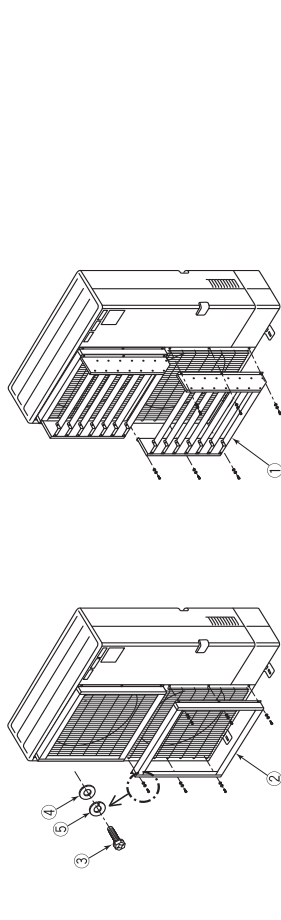
(3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)



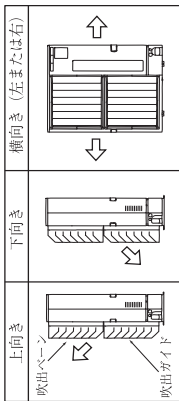
3 取付方法

- 吹出し方向は4方向選択できますので、吹出しベーンの方角をご確認の上、現地に合った方向で取付けてください。

- (1) 既存のガリルの上からサポート②をワッシャー④とスプリングワッシャー⑤とネジ③(6ヶ所)で室外ユニットに取付けてください。
- (2) 本体①の吹出しベーンを任意の方角に合わせ、ワッシャー④とスプリングワッシャー⑤とネジ③(6ヶ所)で室外ユニットに取付けてください。



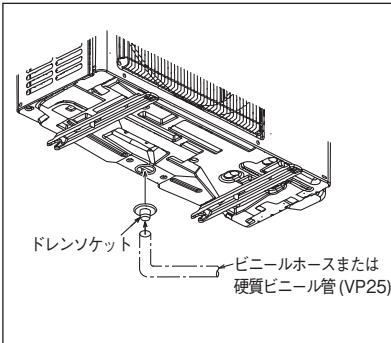
吹出方向の設置



ドレンソケット

● PAC-SJ08DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1カ所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

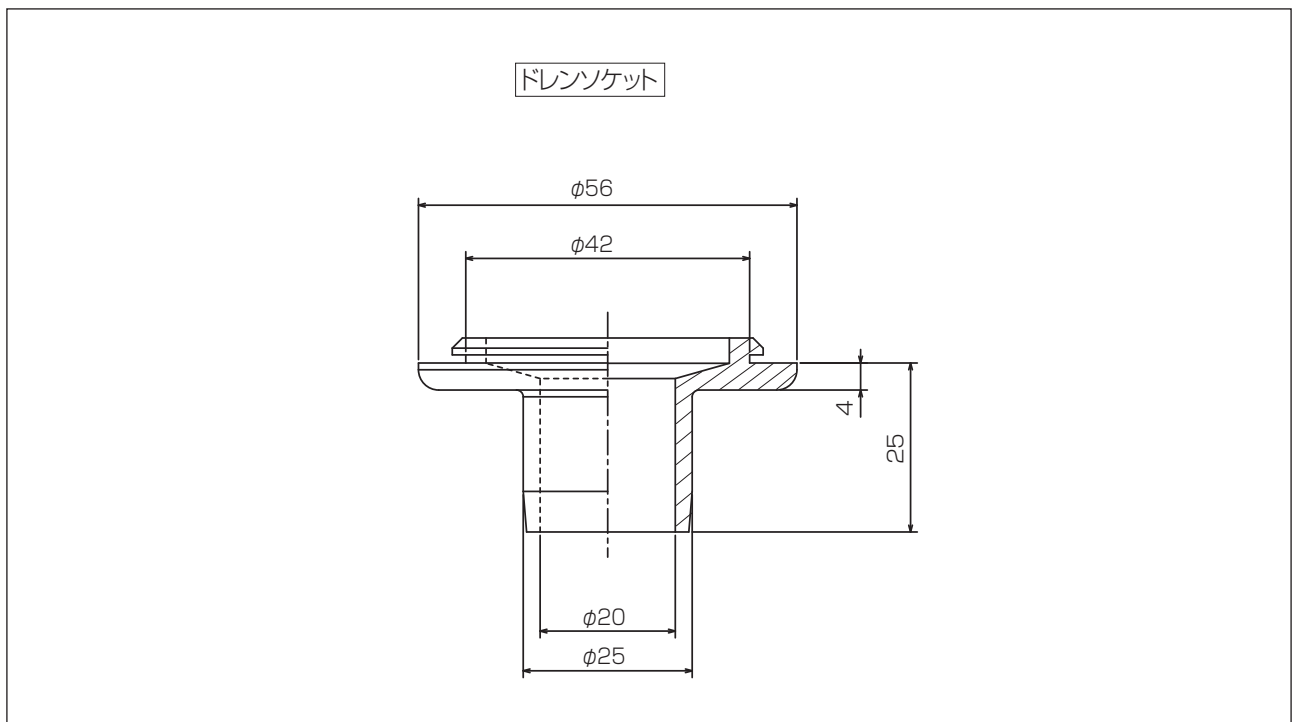
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ~ 63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SJ08DS
接続ドレン配管	PVC管 VP-25 または内径 25mm のビニールホース
使用環境条件	凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください）
材質	EPT ゴム
構成部品	ドレンソケット：1個

外形図 (単位：mm)





形 名 PAC-SJ08DS

形名コード **7D2J08**

**三菱パッケージエアコン別売部品
ドレンソケット取付説明書**

適用機種
(室外ユニット用)
・Kシリーズ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。
●お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	●取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

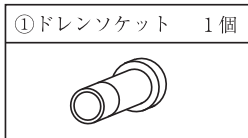
⚠注意

ボリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 ●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。	電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。 ●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。
冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実にこなす。 ●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。	ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。 ●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴をあけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合に、1ヶ所より集中排水するための部品です。尚、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

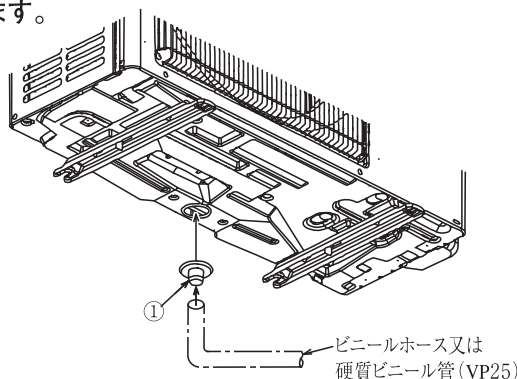
※室外ユニットの底面には部品取付穴等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。

1 部品の確認 この袋の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。



2 ドレンソケット取付方法 ☆接着剤は現地手配願います。

- (1) ユニット底部にあるドレン排水穴に、ドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。
 <注>接着剤は水漏れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。
 <注>接着剤はゴム-金属用接着剤を御使用ください。
 推奨品:セメダイン社、スーパーX
- (2) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行なってください。

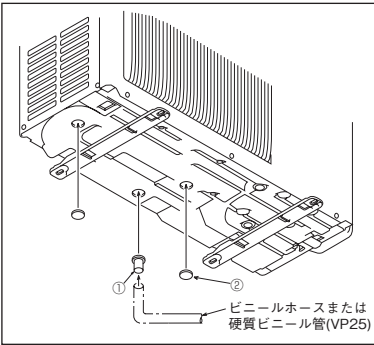


室外ユニット

ドレンソケット

● PAC-SH71DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1カ所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

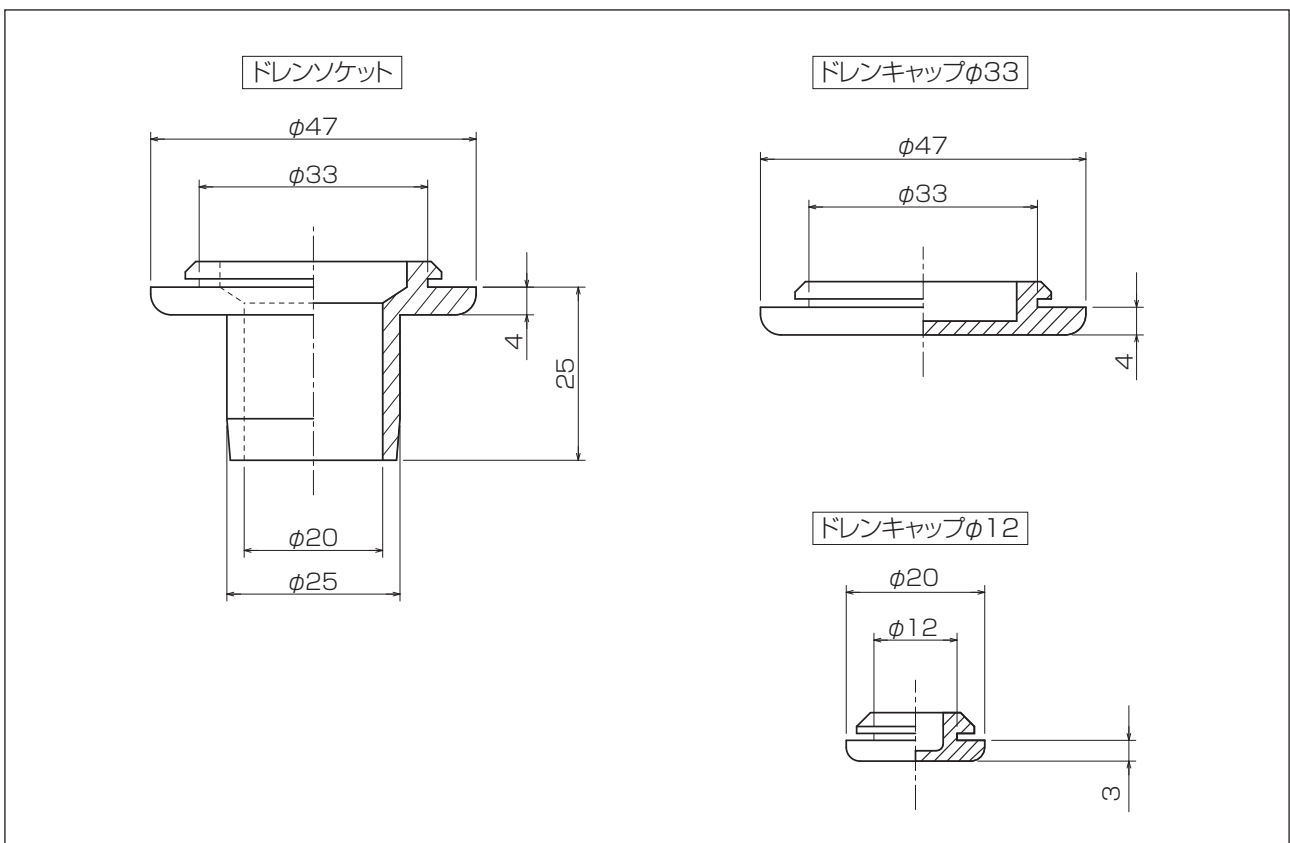
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA, PUZ-ZRMP112 ~ 160KA, PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP80(S)HA14, PUZ-ERP112 ~ 160LA3, PUZ-ERP224・280KA8
- PU-CRP80(S)HA14, PU-CRP112 ~ 160LA3
- PUZ-HRP80 ~ 160HA14

仕様

形名	PAC-SH71DS
接続ドレン配管	PVC管 VP-25または内径25mmのビニールホース
使用環境条件	凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください）
材質	EPTゴム
構成部品	ドレンソケット：1個、ドレンキャップφ33：5個、ドレンキャップφ12：2個、断熱材：3枚（液管用1枚、ガス管用大・小各1枚）、バンド：8本

外形図 (単位：mm)





形名 PAC-SH71DS
形名コード 7D2H71

三菱パッケージエアコン別売部品 ドレンソケット取付説明書

適用機種

- (室外ユニット用)
- ・Gシリーズ
 - ・Hシリーズ
 - ・Kシリーズ
 - ・Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に關する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付た取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

△ 警告	取付た取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
△ 注意	取付た取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
● 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。	
△ 警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で取付けをされた場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け(移設)電気工事をする前に

△ 注意	● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で取付けをされた場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。
● 取付けは、この取付説明書に従って確実に行う。 ● 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で取付けをされた場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で取付けをされた場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で取付けをされた場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴を数箇所あけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合には、余分な穴をふさぎ、1ヶ所より集中排水するための部品です。
高・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
※ 室外ユニットの底面には部品取付穴、配管取出し用ノックアウト穴(スリット)等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンハンをご使用ください。

取付説明書

ドレンソケット:PAC-SH71DS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

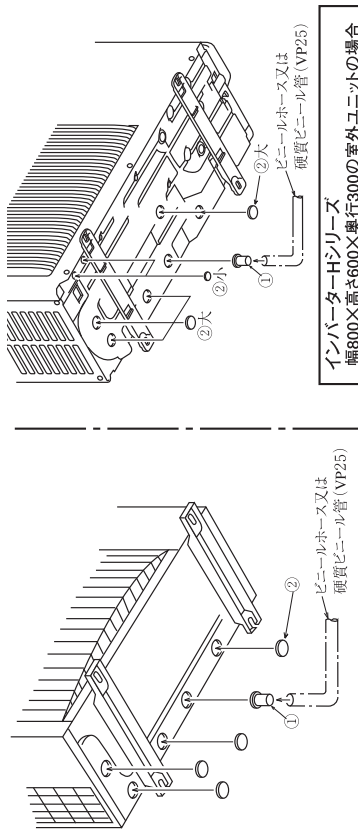
1 部品の確認

この袋の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①ドレンソケット	②ドレンキャップ	③断熱材(液管側)	④断熱材(ガス管側)	⑤バンド
1個	大5個 小2個 ※機種にお使用数が異なります。	1枚	1枚	8本
		サイズ小	サイズ大	

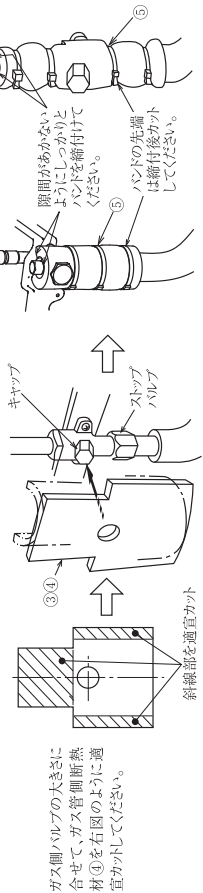
2 ドレンソケット取付方法

- ☆ 接着剤は現地手配願います。
- (1) ユニット底部にある数箇所(穴のうち、ドレン排水に使用する穴にドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。
 - (2) ドレンキャップ②に接着剤(現地手配)をつけて残りの穴をふさぐ。...機種により穴の数が異なります。
 <注>接着剤は水洩れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。
 <注>接着剤はゴム一金属用接着剤を御使用ください。
 推奨品:セメダイン社、スーパーX
 - (3) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行なってください。



3 断熱材取付方法

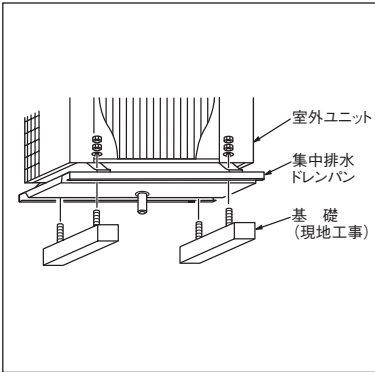
- 室外ユニットのストップバルブに断熱材を取付けてください。
 ※断熱材は配管接続後に取付けてください。
 ※機種によりストップバルブ近傍にチェックバルブがありますので、その時は断熱材③④に適宜逃し穴を設けて取付けてください。
- (1) 断熱材③を液管側に、断熱材④をガス管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。
 - (2) バンド⑤で断熱材③④を固定してください。



集中排水ドレンパン

● PAC-SG63DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・ 寒冷地では使用しないでください。
- ・ 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・ 本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

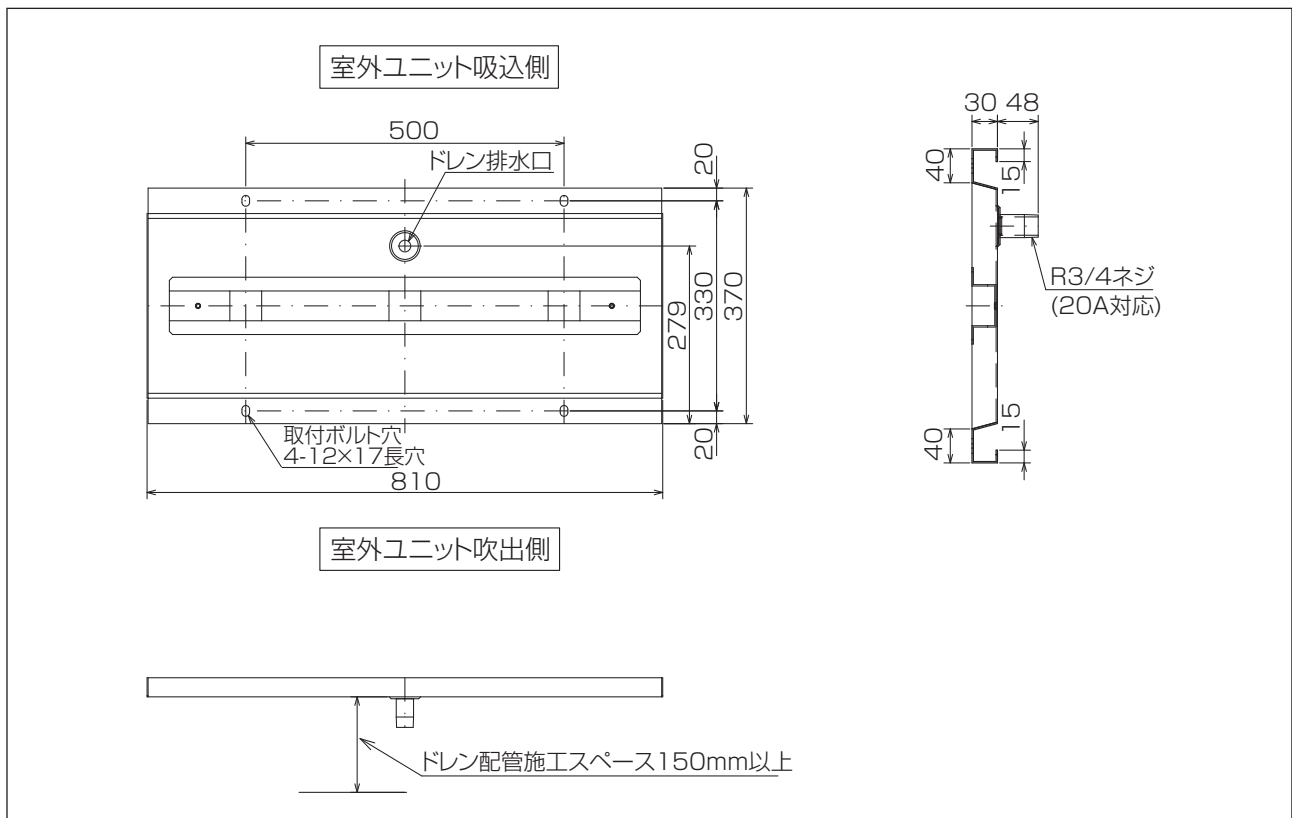
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ~ 63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SG63DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4 ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	6.3kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 48mm 以内	

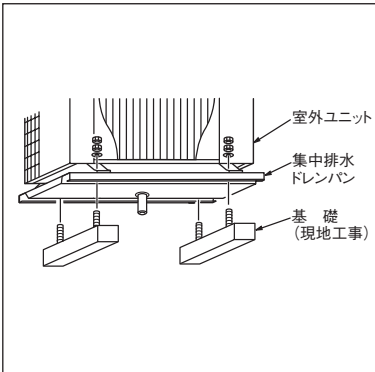
外形図 (単位: mm)



集中排水ドレンパン

● PAC-SG64DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・寒冷地では使用しないでください。
- ・本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

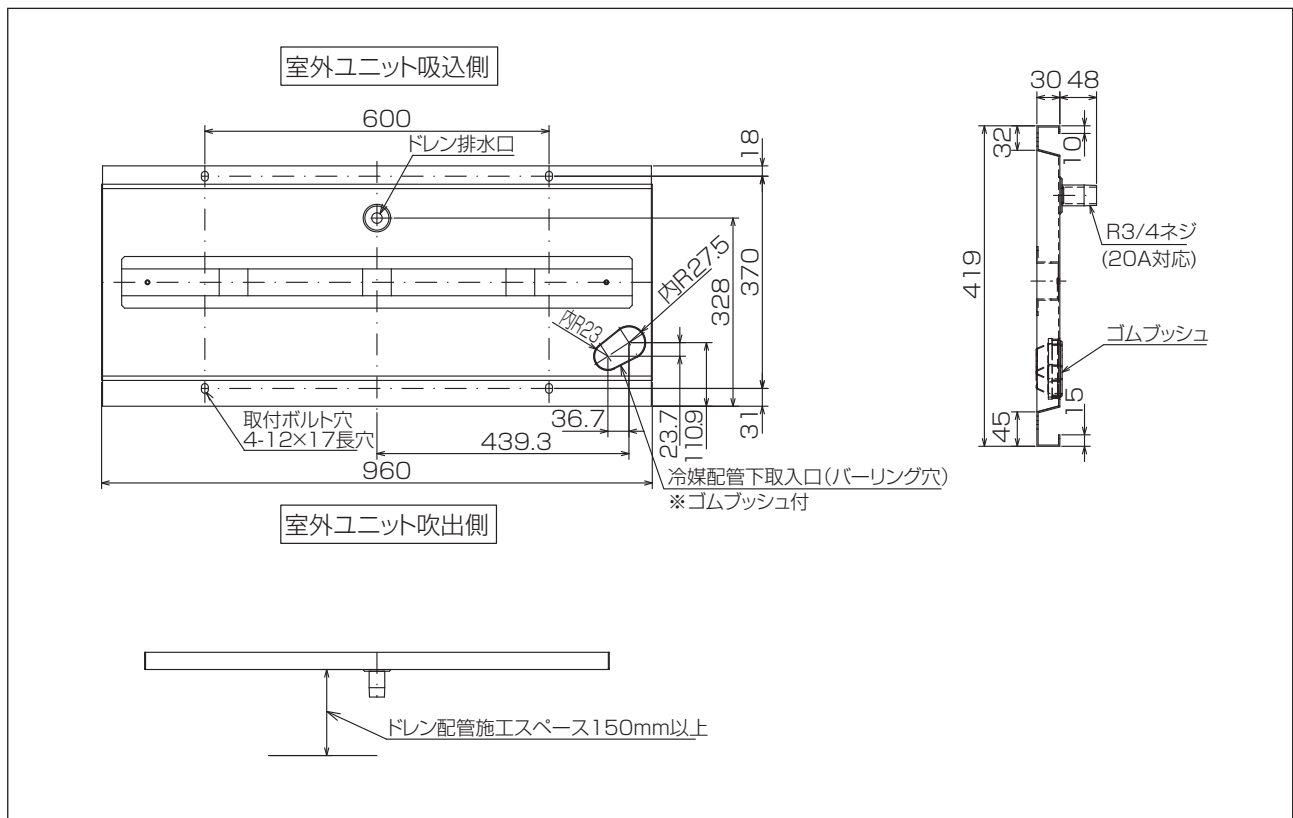
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA
- PUZ-ERP80(S)HA14, PUZ-ERP112 ~ 160LA3
- PU-CRP80(S)HA14, PU-CRP112 ~ 160LA3
- PUZ-HRP80 ~ 160(S)HA14

仕様

形名	PAC-SG64DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4 ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	7.8kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内	

外形図 (単位: mm)





三菱パッケージエアコン別売部品 集中排水ドレンパン取付説明書

PAC-SG63DP
室外ユニット H/Kシリーズ
PAC-SG64DP
室外ユニット H/Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に施工する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをきたすことによる危険その他の程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

●取付け完了後、試験運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代り変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしてください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

●お客様自身で取付けをされ不備があると、取付によっては水漏れや腐蝕、火災等の原因になることがあります。

取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

●取付けに不備があると、取付によっては水漏れや腐蝕、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

注意

ポリ袋は知見の手の届くところに置かない。

●電線が配線工事の途中にたまたま口や傷をふさぎを留める原因になります。

冷媒配管工事がある場合は断熱は結露しないように確実にこなす。

●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露出し等を発生し、天井、床その他の、大切なものを腐らす原因となります。

電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

●雷害や発熱、火災の原因になることがあります。

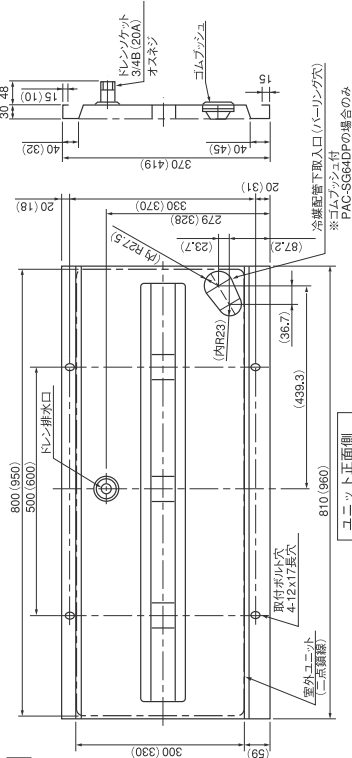
ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。

●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他の腐食等を漏らす原因になることがあります。

このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行なうものです。

- 1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 2) 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが330mm高くなります。
- 3) 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- 4) 本品の前側に水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

1 外形図



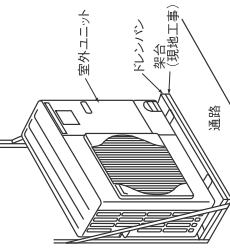
※ゴムアプジョイントは、PAC-SG64DPの場合のみ

ユニット正面側

取付説明書

集中排水ドレンパン : PAC-SG63DP, SG64DP

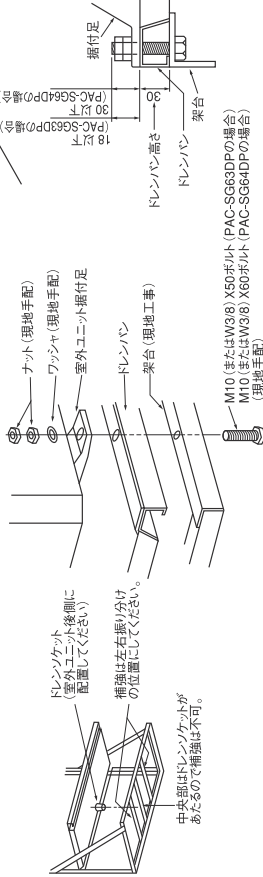
(本マニュアル用に変更・修正しています)



2 取付方法

(1) 据付用架台に取付けの場合

- 1) 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に充分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
- 2) ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にあり、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないようにしてください。
- 3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共に締め込みになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ソケットにて1/3程度の力をかけてください。
- 4) 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共同にて強固に締結してください(4ヶ所)。尚、ボルトの長さは下図のように48mm以下、または60mm以下としてください。



(2) 基礎に取付けの場合

- ドレン集中処理が必要で、基礎に据付けられる場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。



3 ドレン配管

(1) 銅管接続の場合

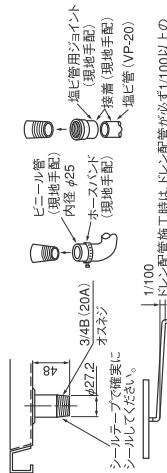
3/4Bメネジ加工にて接続してください。

(2) ビニール管(軟質)接続の場合

内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。

(3) VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。

※いずれの場合でも、ソケットのネジ部はジョイントにて接続してください。実ニシールを行ない、水漏れがないことを確認してください。



4 冷媒配管

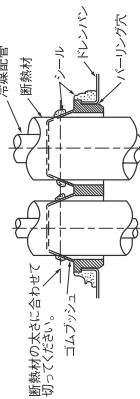
●冷媒配管の取入は、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。

(1) 下配管の場合

ゴムアプジョイントを冷媒配管断熱材の大きさに合わせて切り取って、ゴムアプジョイントを冷媒配管を通しながらハーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。

(2) その他の配管の場合

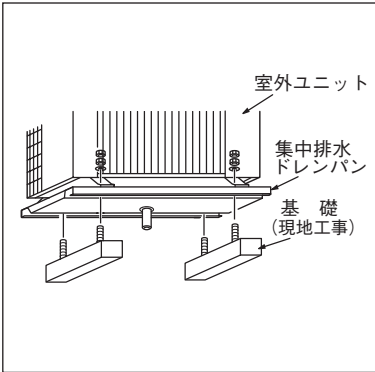
ドレンパンの下配管部ハーリング穴をゴムアプジョイントで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。



集中排水ドレンパン

● PAC-SH97DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・寒冷地では使用しないでください。
- ・本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

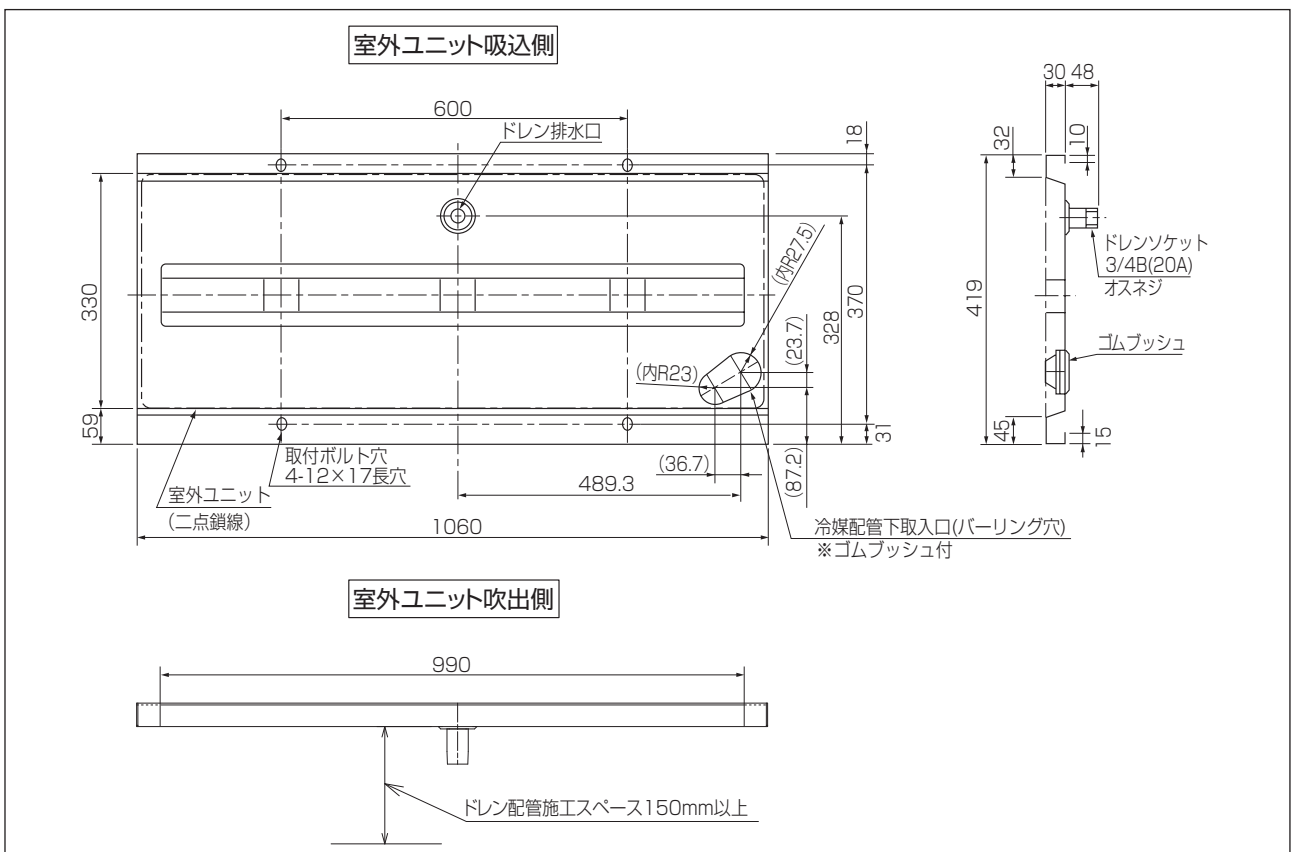
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA, PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP224・280KA8

仕様

形名	PAC-SH97DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4 ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	8.8kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内	

外形図 (単位: mm)





三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-SH97DP 室外ユニットKシリーズ用 集中排水ドレンパン取付説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、慎重に行なってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
●取付けを完了したときに生じた火災等の原因を、次の表示で区分して説明しています。

警告
△ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
△ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷身または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
● 取付けを完了した後に、試運転を行う前に、取付けを確認することにも、この取付説明書は取付説明書と共に、お現場で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わりの場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

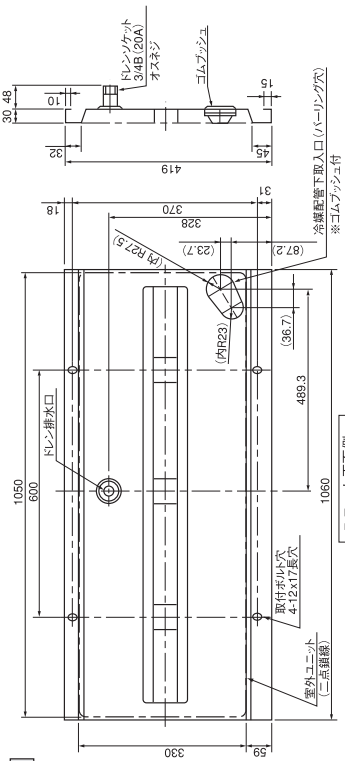
取付け（移設）・電気工事をする前に

注意
△ 注意
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● 取付けに不備がある場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● 取付けに不備がある場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。
● 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● 取付けに不備がある場合、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行なうものです。

- 1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2) 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが300mm高くなります。
3) 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
4) 本品の前面に水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

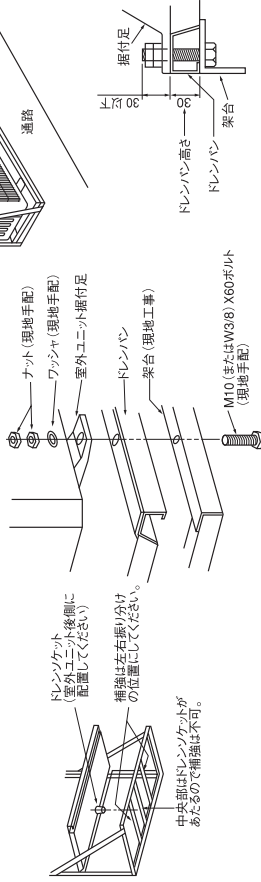
1 外形図



2 取付方法

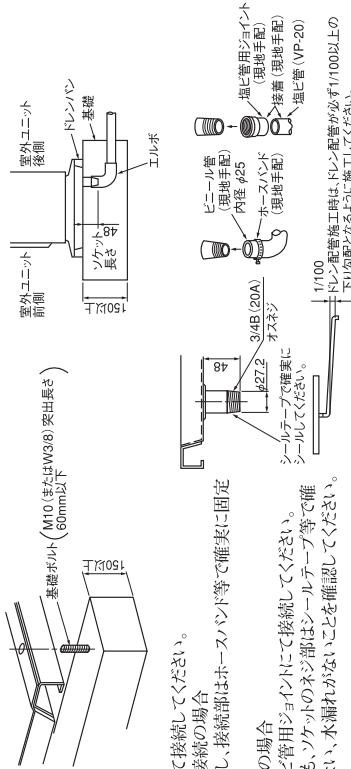
(1) 据付用架台に取付けの場合

- 1) 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に充分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2) ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にあり、かつ、架台の製作時にはソケットと架台部分が干渉しないようにしてください。
3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ヒッチにて13程度の穴をあけてください。
4) 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください。(4ヶ所)。尚、ボルトの長さは下図のように60mm以下にしてください。



(2) 基礎に取付けの場合

- 基礎に取付けが必要で、基礎に据付けた場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上とってください。これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。

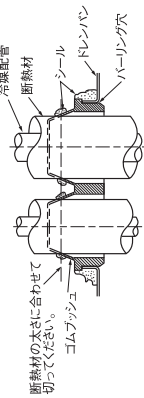


3 ドレン配管

- (1) 銅管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
(2) ビニール管（軟質）接続の場合
内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
(3) 塩ビ管（硬質）接続の場合
VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。
※ いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープ等で確実にシールを行ない、水漏れがないことを確認してください。

4 冷媒配管

- 冷媒配管の取入れは、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
(1) 下配管の場合
(2) その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部、パーリング穴をゴムブッシュで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤（現地手配）でシールしてください。

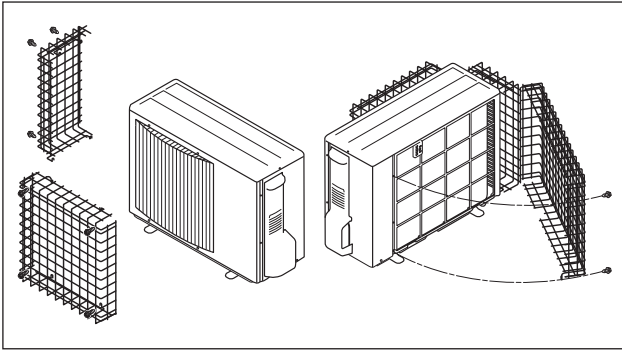


ユニット正面側

安全ネット

● PAC-SJ09AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

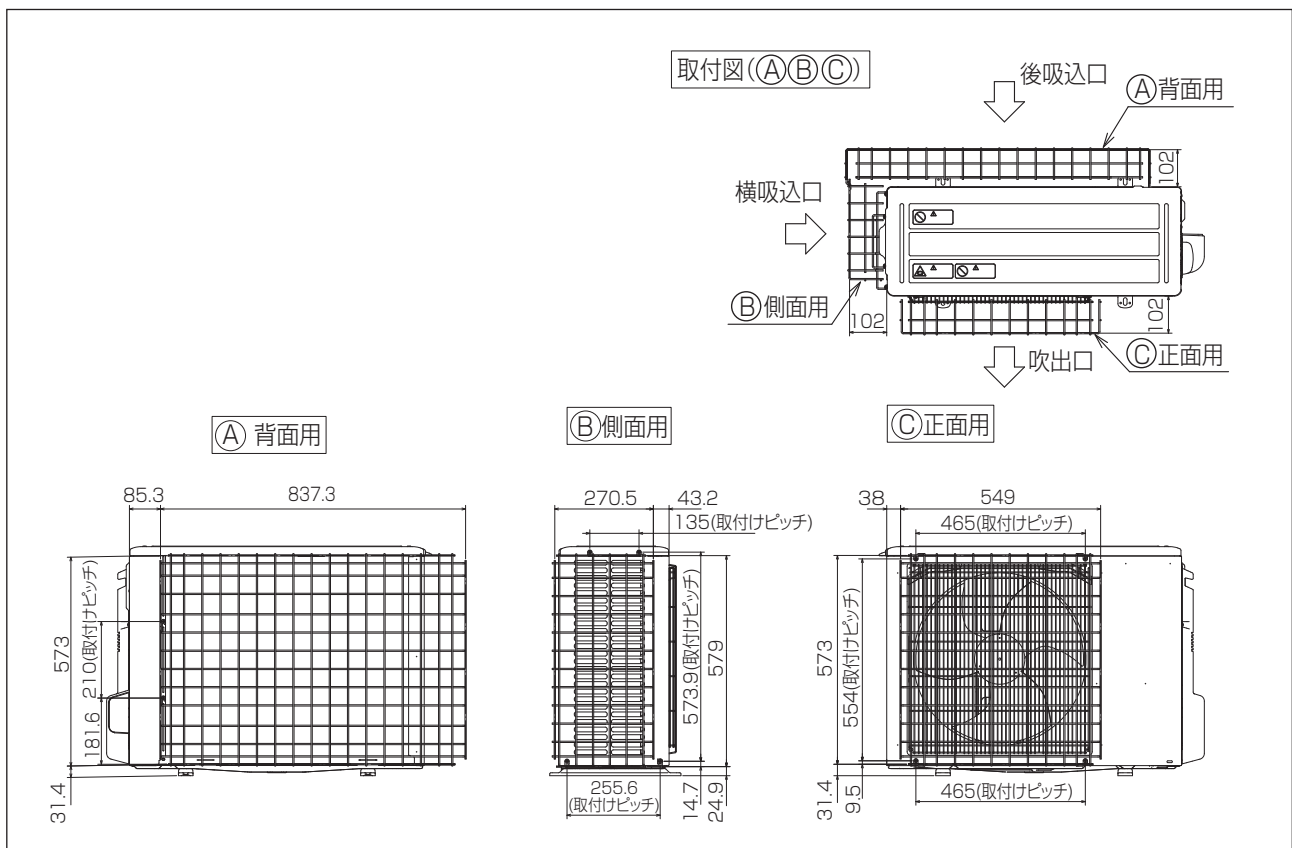
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ~ 63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SJ09AN	質量	5.2kg
色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
外装	マンセルNo	1Y8.5/0.5	付属品
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	
	表面処理	ポリエチレンコーティング	材質
		表面処理	パシバート

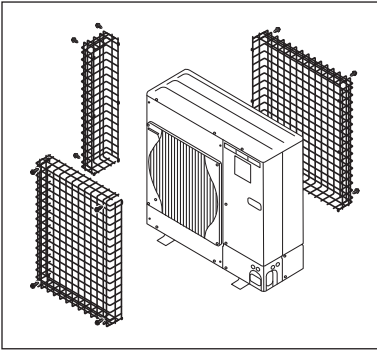
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SG66AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

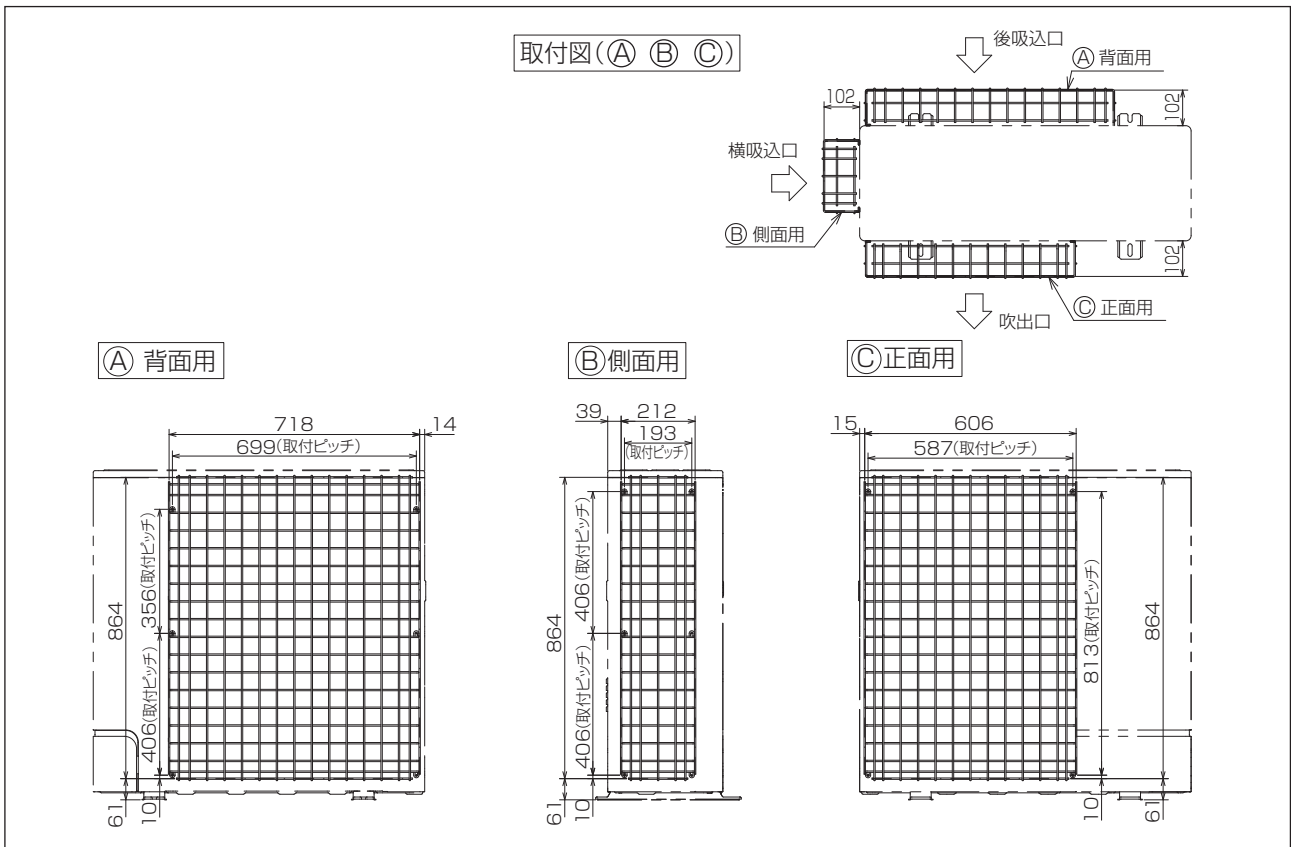
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA
- PUZ-ERP80(S)HA14
- PU-CRP80HA14

仕様

形名	PAC-SG66AN		質量	9kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
	マンセルNo	5Y8/1	付属品	取付用座付ネジ (M5 × 15) 16本
	材質	鉄線 (SWM) φ4	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

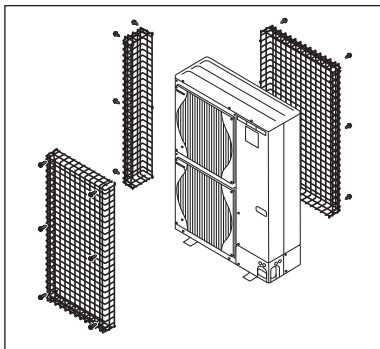
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SG67AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出口・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

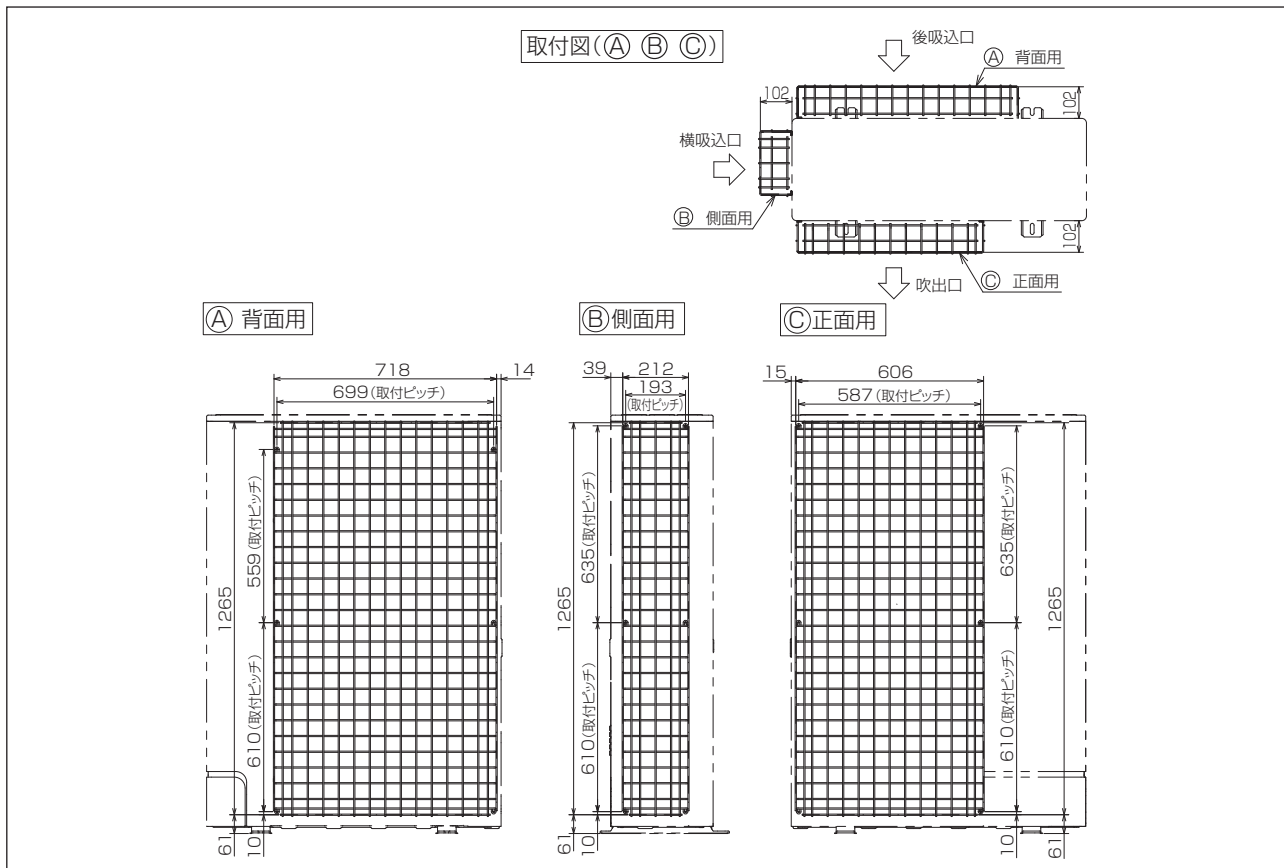
対象ユニット

- PUZ-HRP80 ~ 140HA14

仕様

形名	PAC-SG67AN		質量	12kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
	マンセルNo	5Y8/1	付属品	取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本
	材質	鉄線 (SWM) φ4	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

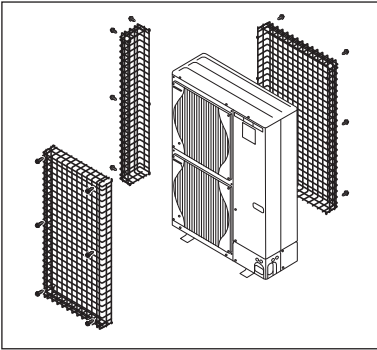
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SH69AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

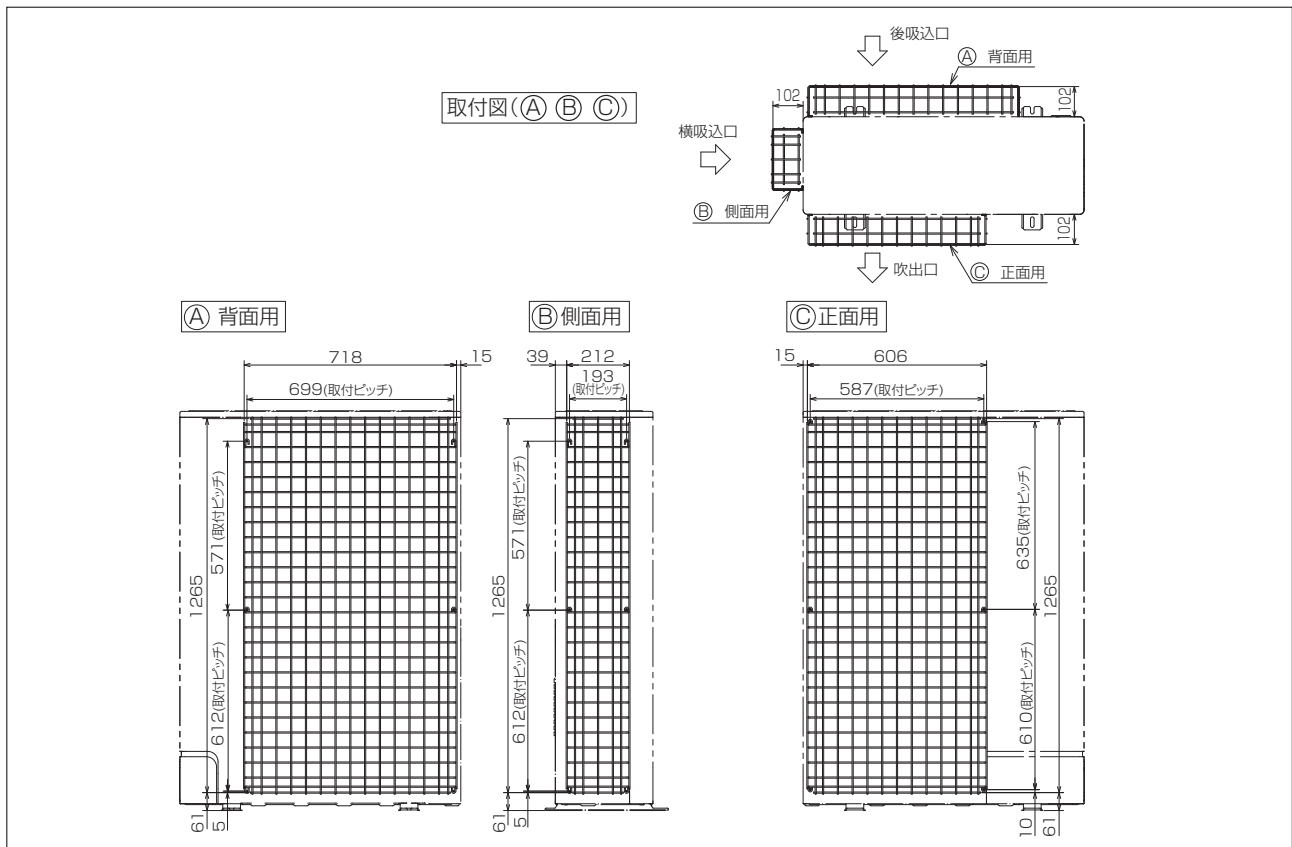
対象ユニット

- PUZ-HRP160HA14

仕様

形名	PAC-SH69AN		質量	12kg	
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm	
	マンセルNo.	5Y8/1	付属部品名	取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本	
	材質	鉄線 (SWM) φ4	付属材質	鉄線 (SWCH18A)	
	表面処理	ポリエチレンコーティング	付属表面処理	亜鉛ニッケルメッキ	

外形図 (取付図) (単位 : mm)





三菱パッケージエアコン別売部品
安全ネット取付説明書

PAC-S*** AN
(室外ユニットK/Hシリーズ用)

1 部品の確認

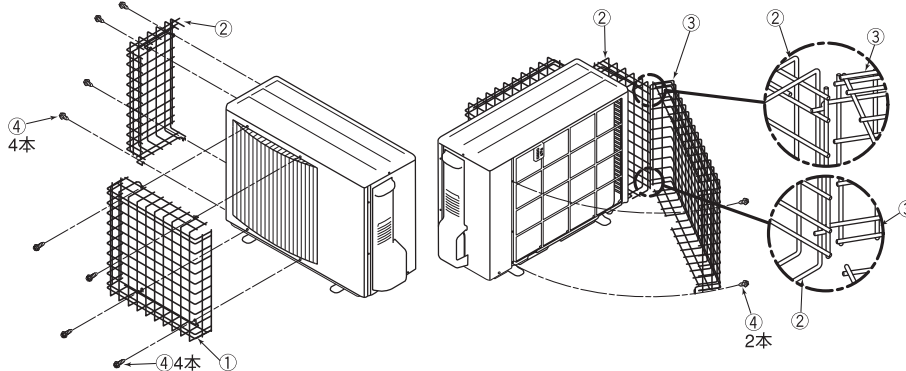
この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)……1個	②側面用安全ネット(小)……1個	③背面用安全ネット(大)……1個	④ネジ
			SG65AN…4×16 10本 SG66AN…5×15 16本 SG67AN…5×15 18本 SH30AN…5×15 12本 SH69AN…5×15 18本 SH73AN…5×15 16本 SJ09AN…4×16 10本

※機種によっては、本体の固定ネジを取外す箇所がありますので、各ネット取付前に固定箇所の確認をしてください。

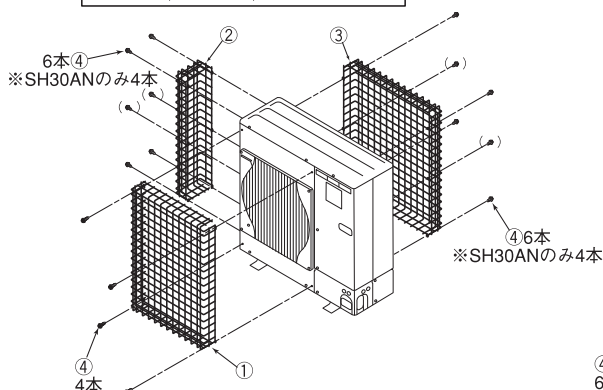
2 取付方法

SG65AN・SJ09ANの場合



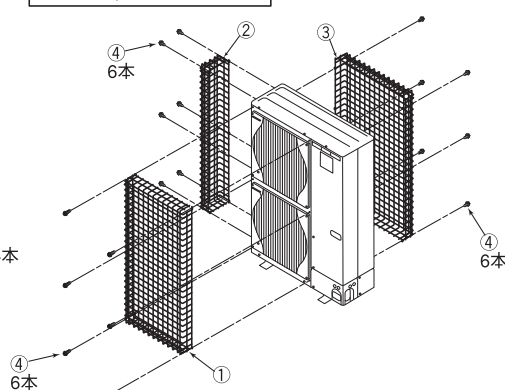
- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に(SJ09ANの場合は、下側の既存固定ネジを取外してから)取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。
- 側面の既存固定ネジ(4本)を取外し、側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニットに取付けてください。
※上下方向はネジ穴を合わせることで決まります。
- 背面上下の既存固定ネジ(2本)を取外してください。
背面用安全ネット③を図に示すように側面用安全ネット②に差込み、ネジ④にて室外ユニットに取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。

SG66AN, SH30AN, SH73ANの場合



- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
※機種によって1ヶ所のみリヤガード固定穴を流用します。その際にはリヤガード固定の既存ネジ(1本)を取外してから安全ネットを取付けてください。

SG67AN, SH69ANの場合

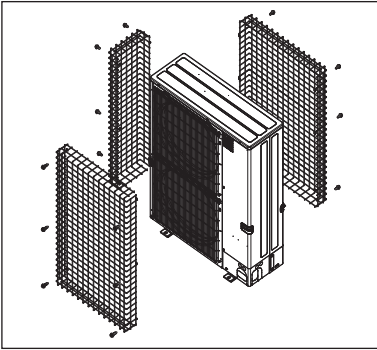


- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
※機種によって1ヶ所のみリヤガード固定穴を流用します。その際にはリヤガード固定の既存ネジ(1本)を取外してから安全ネットを取付けてください。

安全ネット

● PAC-SJ28AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出口・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

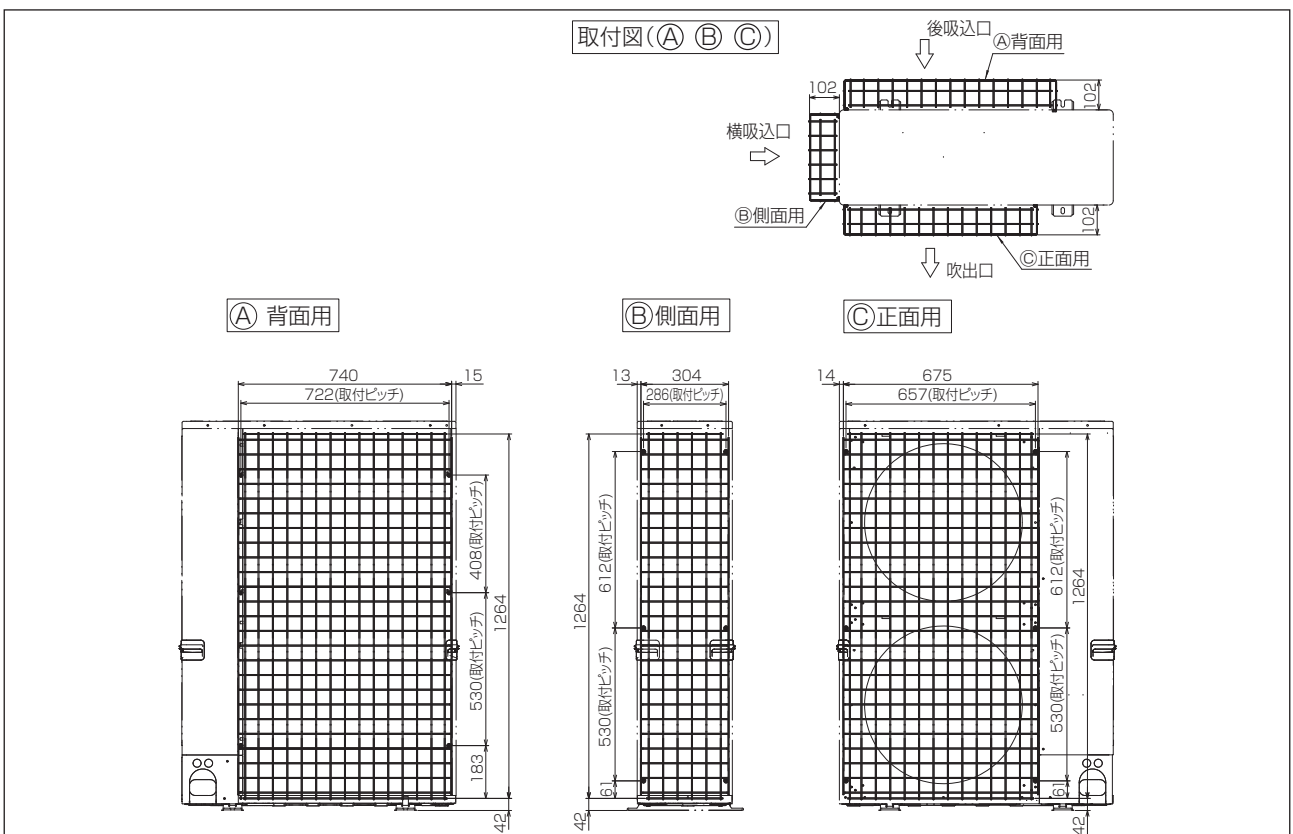
対象ユニット

- PUZ-ERP112 ~ 160LA3
- PU-CRP112 ~ 160LA3

仕様

形名	PAC-SJ28AN		質量	10.7kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 51mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	付属品	部品名 取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)



室外ユニット

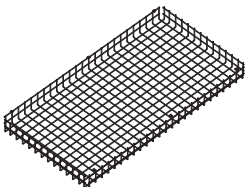
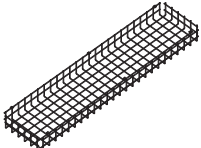
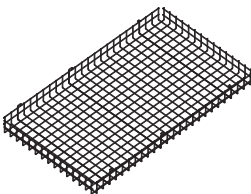



三菱パッケージエアコン別売部品 安全ネット取付説明書

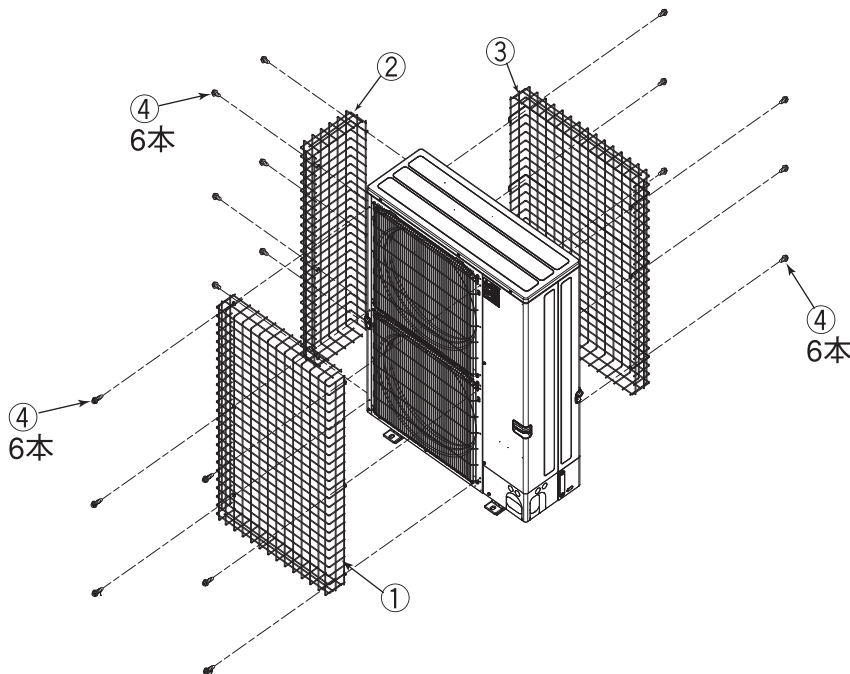
PAC-SJ28AN
(室外ユニットLシリーズ用)

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)……1個	②側面用安全ネット(小)……1個	③背面用安全ネット(大)……1個	④ネジ
			<p>5×15 18本</p> 

2 取付方法

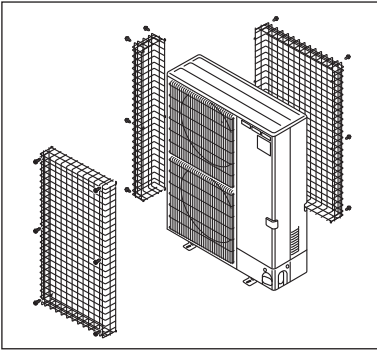


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。

安全ネット

● PAC-SH98AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

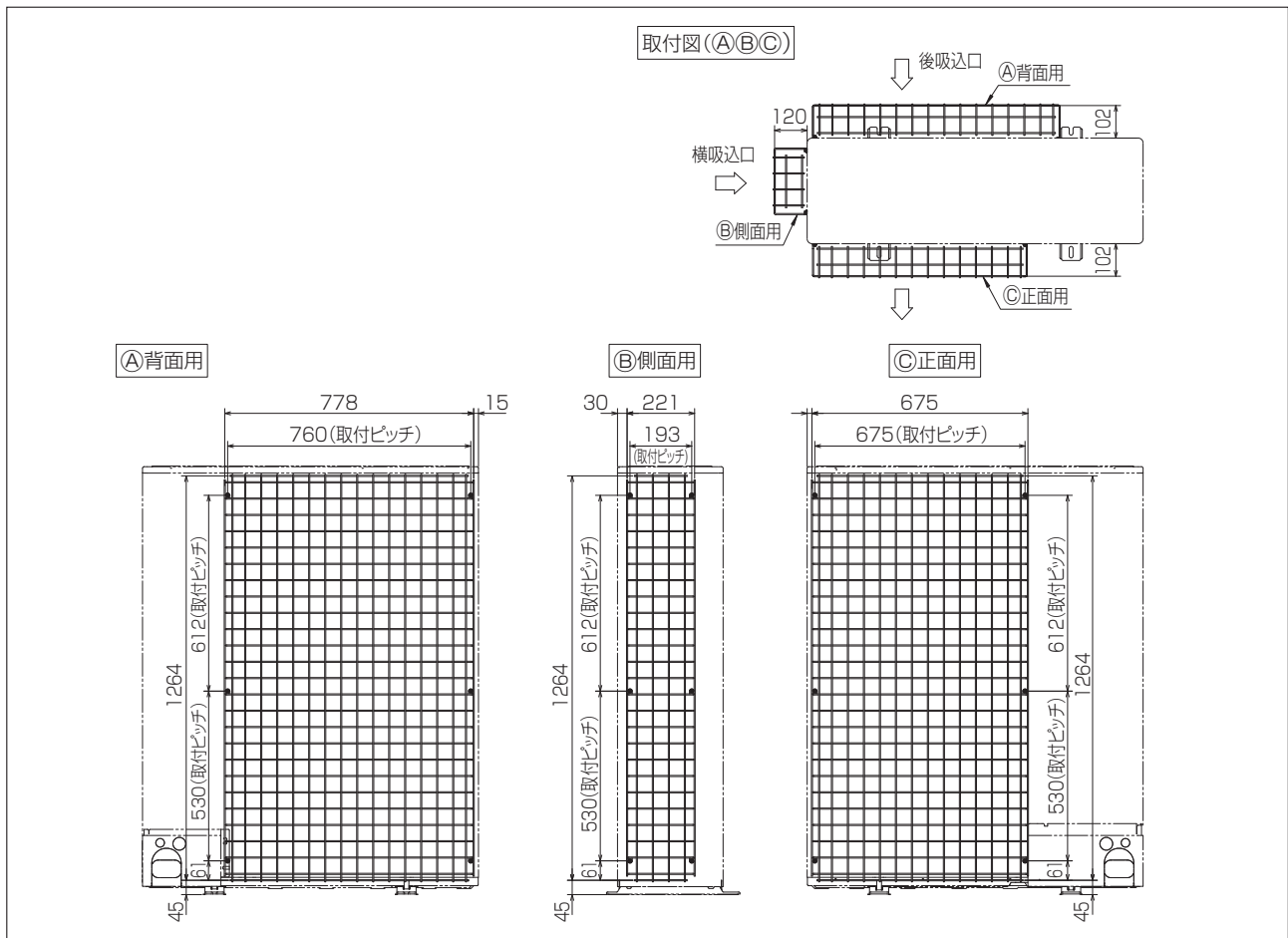
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA, PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP224・280KA8

仕様

形名	PAC-SH98AN		質量	10.6kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 51mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	付部品名	取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)



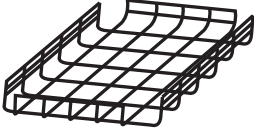
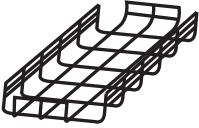
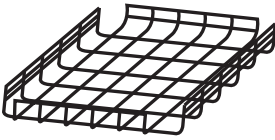



三菱パッケージエアコン別売部品 安全ネット取付説明書

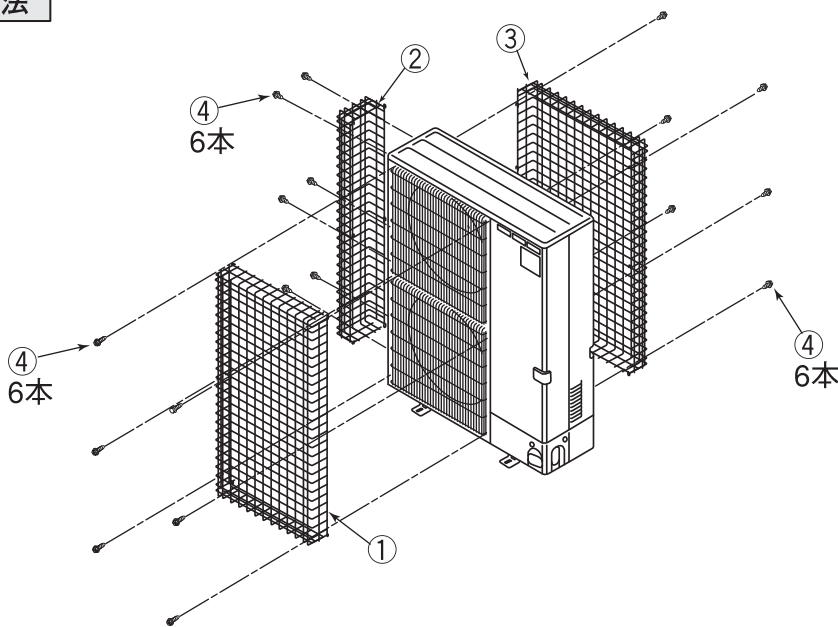
PAC-SH98AN
(室外ユニットKシリーズ用)

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)……1個	②側面用安全ネット(小)……1個	③背面用安全ネット(大)……1個	④ネジ
			<p>5×15 18本</p> 

2 取付方法

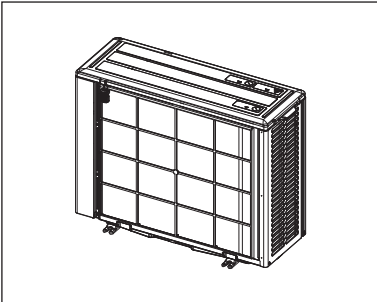


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。

背面用網

● PAC-SJ51RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

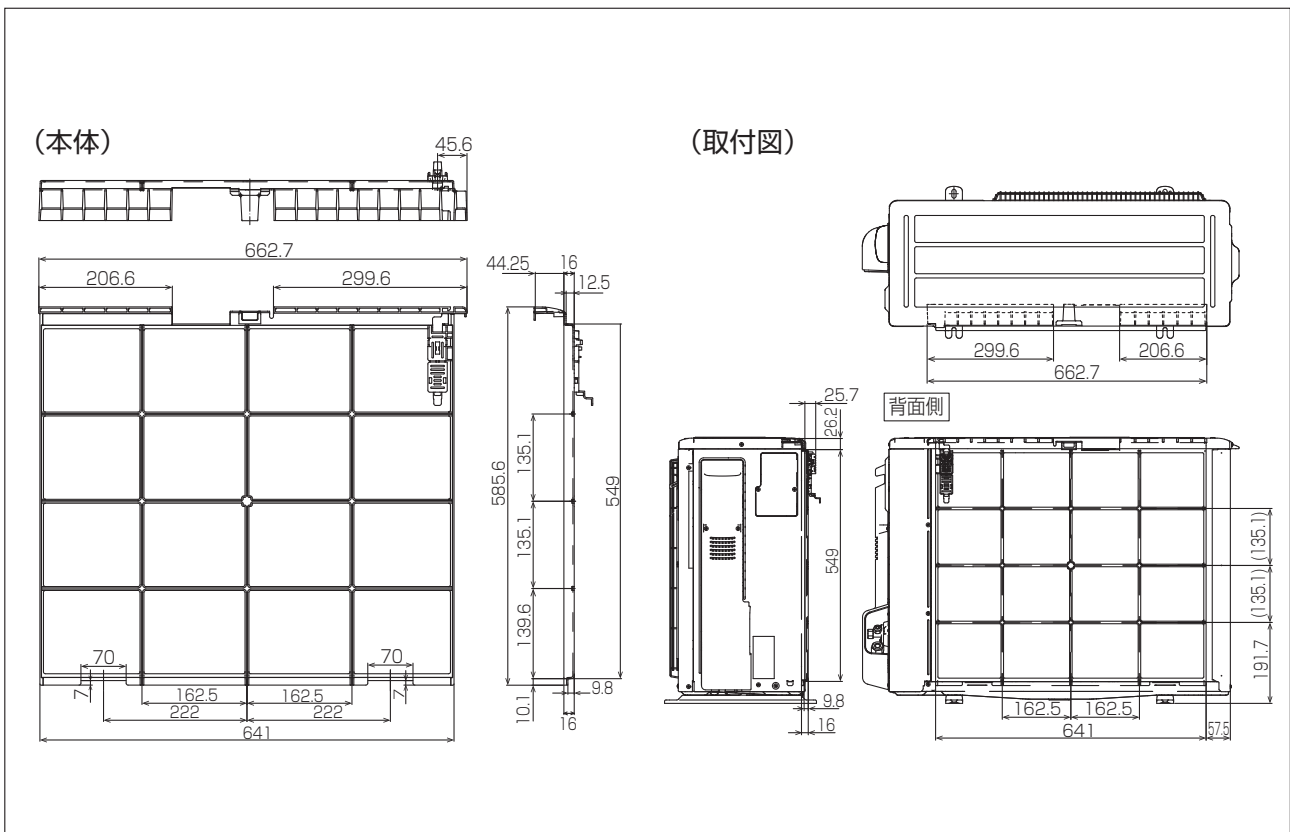
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ~ 63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SJ51RG		質量	0.26kg
外色	黒		鉄線ピッチ	最大 135 × 163mm
装材質	PP	付属品	部品名	断熱材 (t10 × 25 × 15) 1個

外形図 (取付図) (単位: mm)





三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-SJ51RG
(室外ユニットKシリーズ用)

背面用網据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
-----	------------------------------------

- 据付工事終了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等をお説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保蔵していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。	据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	●据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

注意

●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。	●濡電や発熱・火災の原因になります。
●冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。	●ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
●不完全な断熱工事を行うと配管等表面が凝露して、露たれ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります。	●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他部材等を濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。	

1 部品の確認

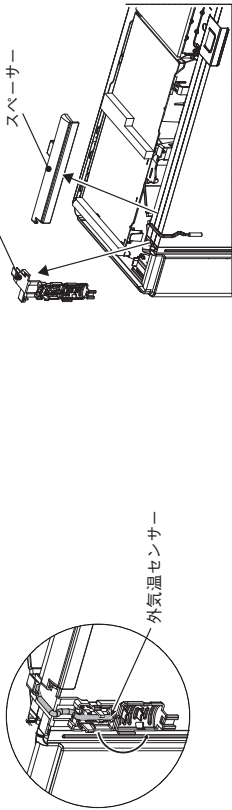
この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網……………1個	②INS(10×25×15)……………1個
--------------	-----------------------

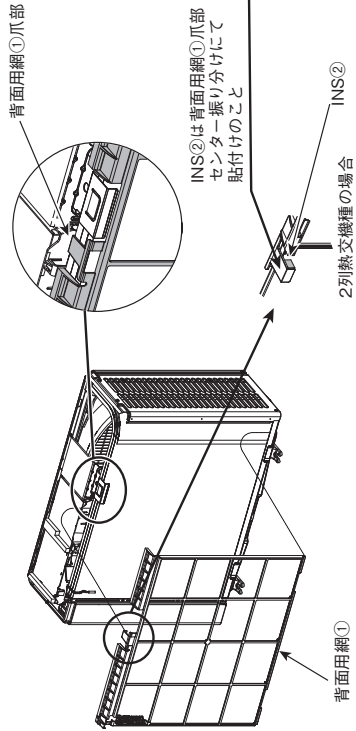
(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 取付方法

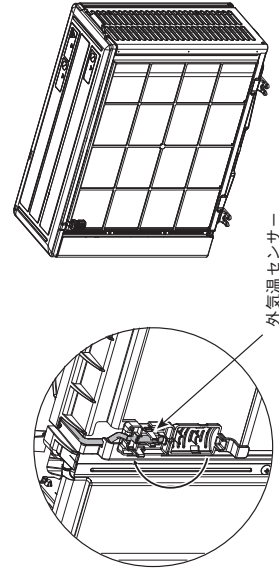
- 1) トップパネル(ネジ3本)をはずしてください。
- 2) センサーホルダーを開け、外気温センサーをはずしてください。
- 3) センサーホルダーとスベーターを室外機本体からはずしてください。



- 4) 背面用網①を室外機本体に取付けてください。上側の爪を熱交フィンに引掛け、下側は熱交フィンとベースの間に差し込んでください。2列熱交換機の場合は、上側爪部にINS②を貼付けてから本体へ取付けてください。



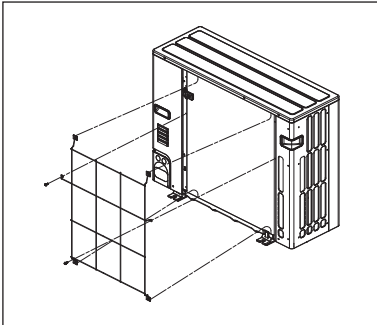
- 5) 外気温センサーを図のように配線し、背面用網①のホルダーにセンサーを取付け閉じてください。
- 6) トップパネル(ネジ3本)を取付けてください。



背面用網

● PAC-SJ33RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

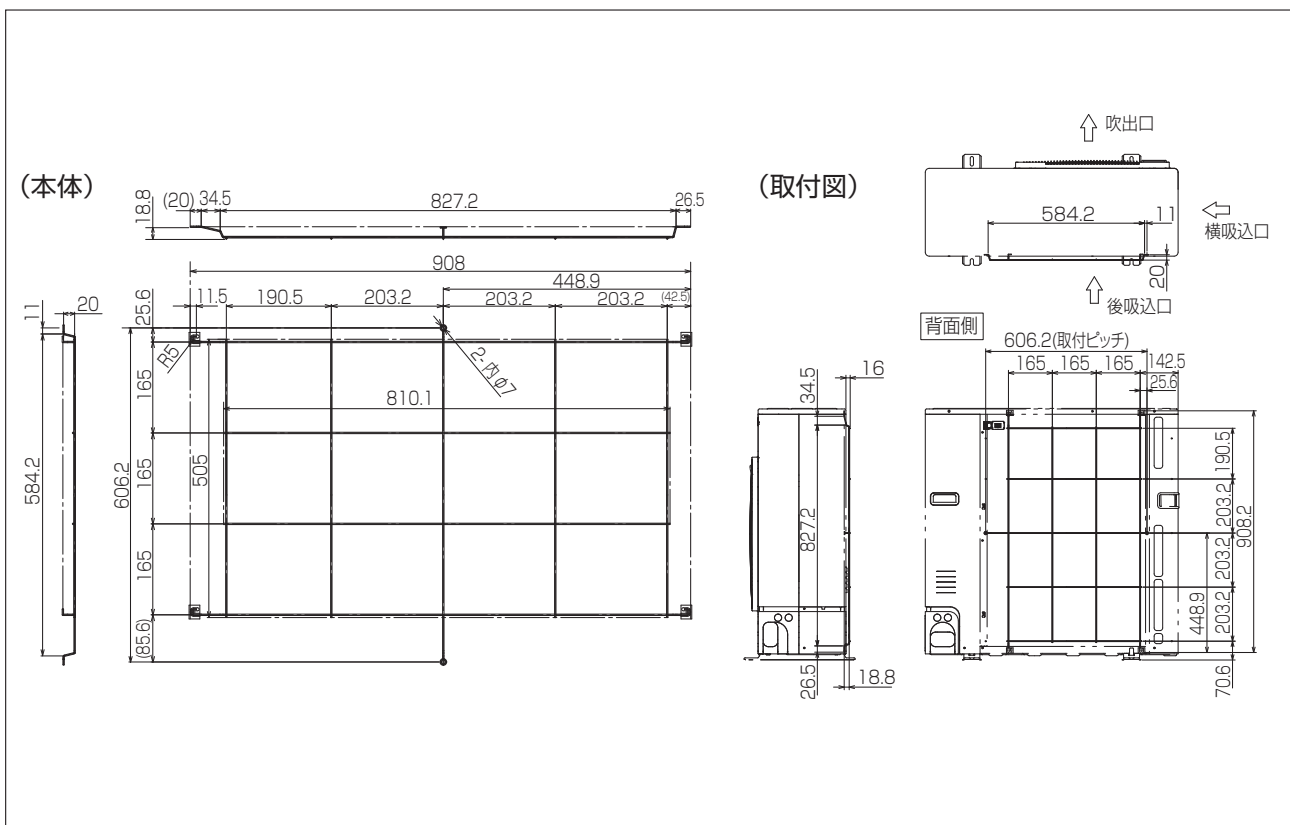
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80HA
- PUZ-ERP80HA14
- PU-CRP80HA14

仕様

形名	PAC-SJ33RG		質量	0.30kg	
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 165 × 203mm	
	マンセルNo.	1Y8.5/0.5	付属品	取付用座付ネジ (M5 × 12) 2本	
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	材質	鉄線 (SWCH18A)	
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ	

外形図 (取付図) (単位: mm)

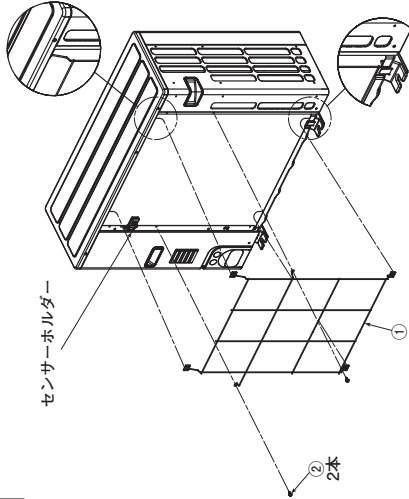


(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79T669H01

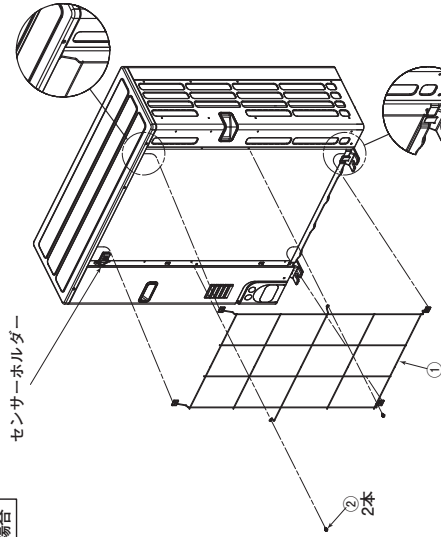
2 取付方法

SJ32RGの場合



1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。
 その際、下側は熱交フィンとベースのスキマ、上側は熱交フィンとトップパネルのスキマにそれぞれ差し込んでください。
 ※上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることで決まります。

SJ33RGの場合



1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。
 その際、下側は熱交フィンとベースのスキマ、上側は熱交フィンとトップパネルのスキマにそれぞれ差し込んでください。
 ※上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることで決まります。



三菱パッケージエアコン別売部品
 背面用網取付説明書
 PAC-SJ**RG
 (室外ユニットHシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
 ●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様に保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしてください。

⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされれば不備がある、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

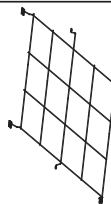
- 頭からかかるとしたときに口や鼻をぶささる原因になります。
- ボリ袋は幼虫の手の届くところに置かない。
- 濡電や発熱・火災の原因になることがあります。

- 高圧配管工事がある場合は、配管配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
- ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保護すること。
- 不完全な断熱工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

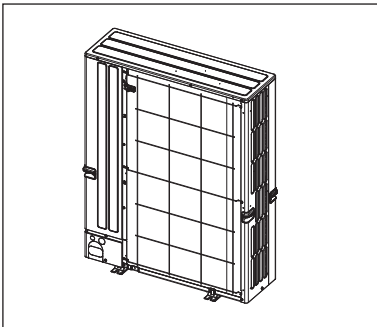
①背面用網.....1個	②ネジ(5×12).....2本
--------------	------------------



背面用網

● PAC-SJ52RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

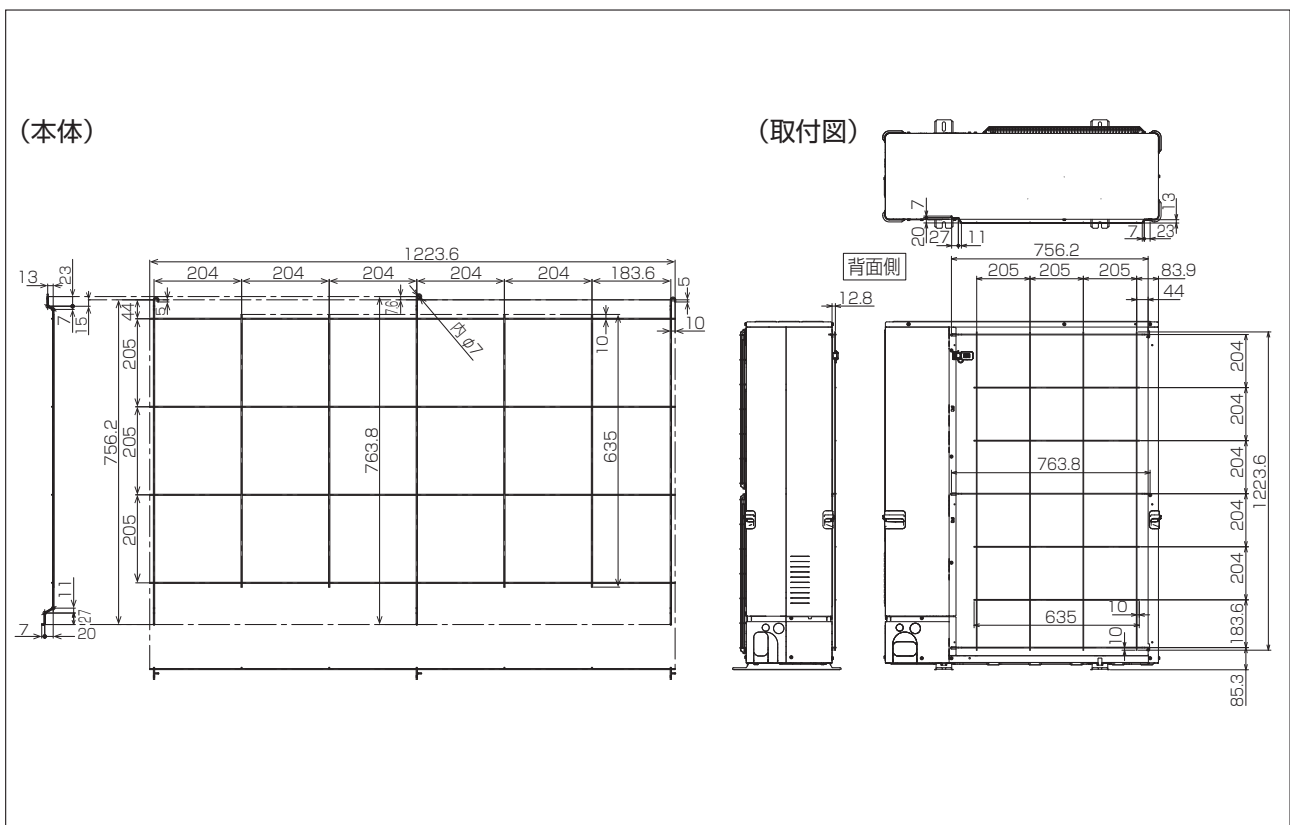
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA, PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP224・280KA8

仕様

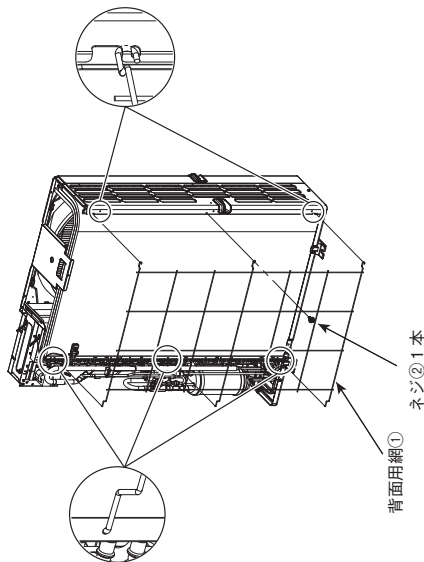
形名	PAC-SJ52RG		質量	0.42kg
色	アイボリー		鉄線ピッチ	最大 204 × 205mm
外装	マンセルNo	1Y8.5/0.5	部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 1本
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)

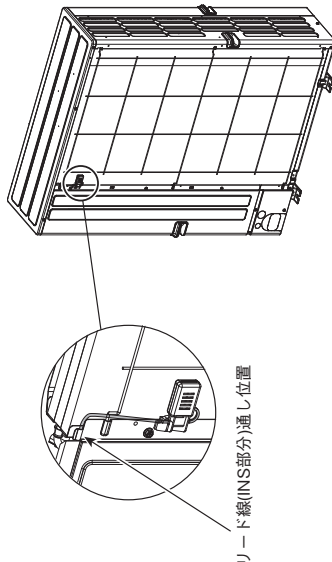


2 取付方法

- 1) センサーホルダー(ネジ1本)をはずしてください。
- 2) サービスパネル(ネジ2本)、トップパネル(ネジ6本)、カバーパネルフロント(ネジ2本)、カバーパネルリア(ネジ4本)、サイドパネルR(5×12ネジ:3本/4×10ネジ:3本)をはずしてください。サイドパネルRの4×10ネジは、電氣品箱に1本、パネルベッドに2本あります。
- 3) 背面用網①をネジ②にてサイドパネルRに取付けてください(右側中央部1ヶ所)。右側上下2ヶ所はサイドパネルRに引掛け、左側3ヶ所は熱交換サイドブレーットの穴に差し込んでください。



- 4) サイドパネルR(5×12ネジ:3本/4×10ネジ:3本)を取付けてください。
- 5) 外気温センサーのリード線は必ずNS部分が下図通し位置を通るように配線してください。
- 6) センサーホルダー(ネジ1本)を取付けてください。



PAC-SJ52RG
(室外ユニットKシリーズ用)

三菱パッケージェージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
△注意	取付け後、品質保証を行ない、異常がないことを確認することにも、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの、仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。
⚠警告	据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ● お客様自身で据付工事をされれば、水漏れや感電、火災等の原因になります。
⚠注意	据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 ● 据付工事に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意	電源配線は、電流容量に合った積層品の電線を使用すること。 ● 漏電や発熱、火災の原因になります。
⚠注意	ドリル配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。 ● 配管工事に不備があると、水漏れし、天井、床その他の部材等を濡らす原因になります。
⚠注意	冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。 ● 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、濡れれ等が発生し、天井、床、その他、大切なものを濡らす原因になります。 ● 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。
⚠注意	ボリタは効力の手の届くところに置かない。 ● 頭からかかるとときに口や鼻をかき窒息する原因になります。

1 部品の確認

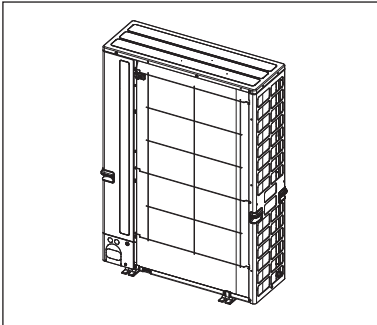
この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網.....1個	②ネジ(5×12).....1本
--------------	------------------

背面用網

● PAC-SJ53RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

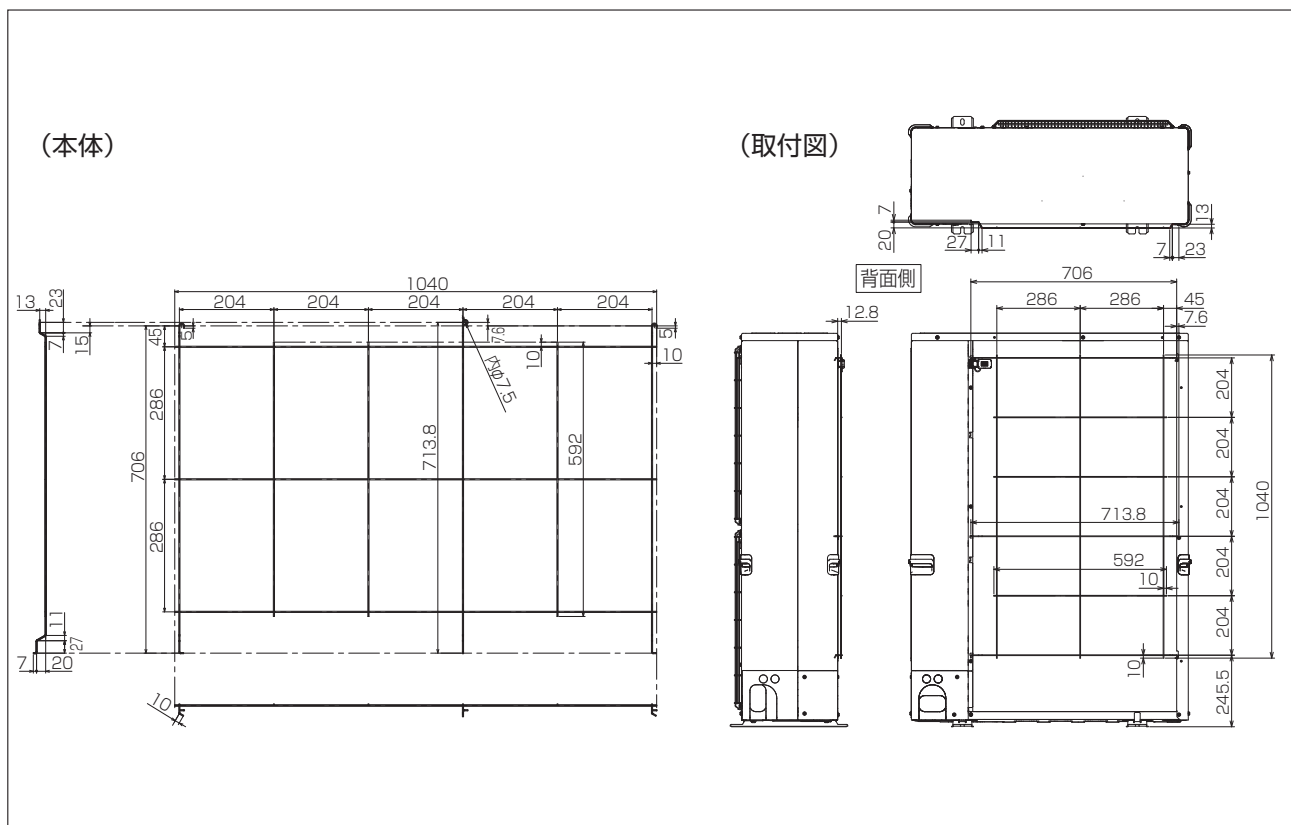
対象ユニット

- PUZ-ERP112 ~ 160LA3
- PU-CRP112 ~ 160LA3

仕様

形名	PAC-SJ53RG		質量	0.31 kg
色	アイボリー		鉄線ピッチ	最大 204 × 286mm
外装	マンセルNo	1Y8.5/0.5	付部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 1本
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	属材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	品表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)



BH79T669H04



三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-SJ53RG
(室外ユニットシリーズ用)

背面用網据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- △警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
- △注意 誤った取扱いをしたときに、設備または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの、仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。

- 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

電源配線は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。

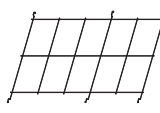

- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、濡たれ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。

- 設置工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

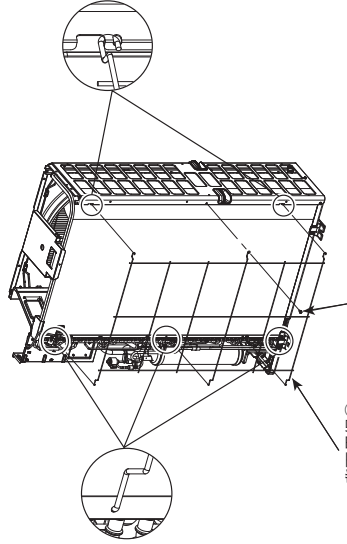
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網.....1個	②ネジ(5×12).....1本
	

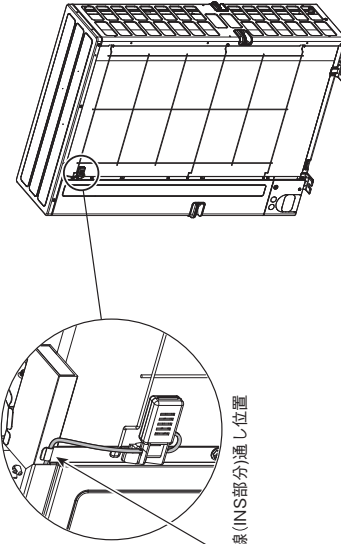
2 取付方法

- 1) センサーホルダー(ネジ1本)をはずしてください。
- 2) サービスパネル(ネジ2本)、トップパネル(ネジ6本)、カバーパネルフロント(ネジ1本)、カバーパネルリア(ネジ4本)、サイドパネルP(ネジ7本)をはずしてください。
サイドパネルPのネジは、電気品箱に2本、パネルヘッドに2本、背面側に3本あります。
- 3) 背面用網①をネジ②にてサイドパネル以下穴に取付けてください(右側中央部1ヶ所)。
右側上下2ヶ所はサイドパネルに引掛け、左側3ヶ所は熱交サイドプレートの穴に差し込んでください。



背面用網①
ネジ②1本

- 4) サイドパネルP(ネジ7本)を取付けてください。
- 5) 外気温センサーのリード線は必ずINS部分が下図通し位置を通してください。
カバーパネルリア(ネジ4本)、カバーパネルフロント(ネジ1本)、トップパネル(ネジ6本) サービスパネル(ネジ2本)を取付けてください。
- 6) センサーホルダー(ネジ1本)を取付けてください。

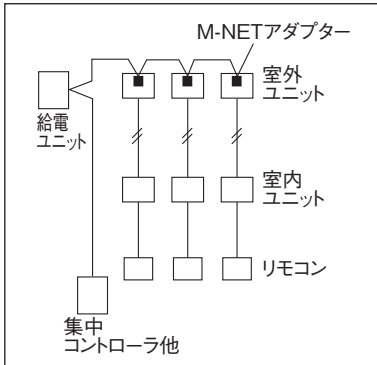


リード線(INS部分)通し位置

M-NET 接続用アダプター

● PAC-SJ18MA

使用目的 / 用途



●“M-NET 接続用アダプター” は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン（A 制御）を接続する際に使用します。

●『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

・ M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1 カ所に限りアースを接続してください。

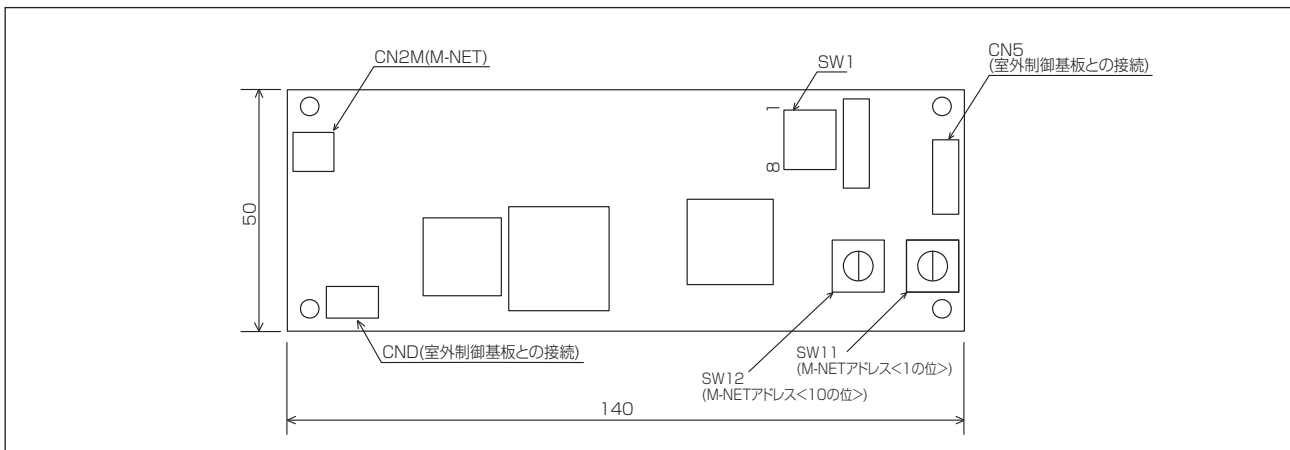
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ~ 63(S)KA8

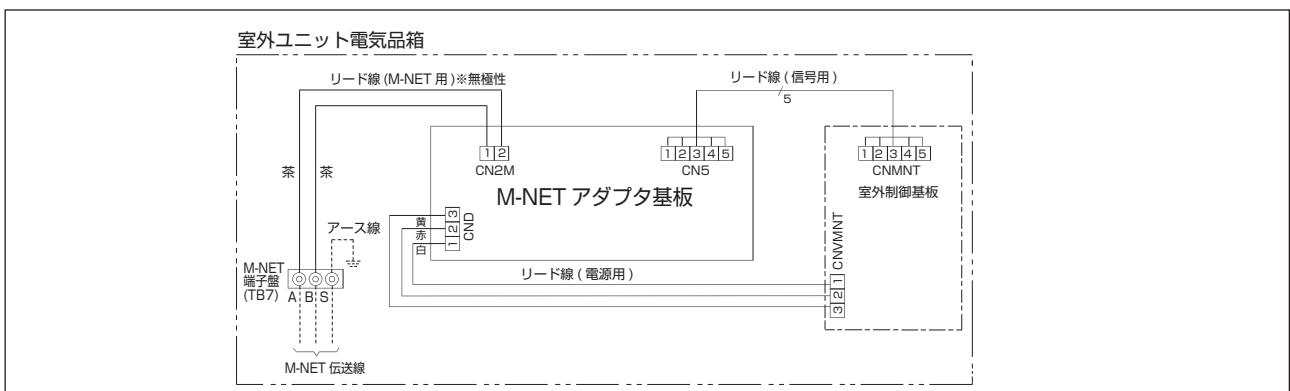
仕様

形名	PAC-SJ18MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子盤 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3 種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



M-NET接続用アダプタ据付説明書

このM-NET接続用アダプタは、**4**の機種一覧表に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、右記のとおり作業を行ってください。

BH79B225H02
(本マニュアル用に変更修正しています)

PAC-SJ18MA

M-NET伝送線の配線について

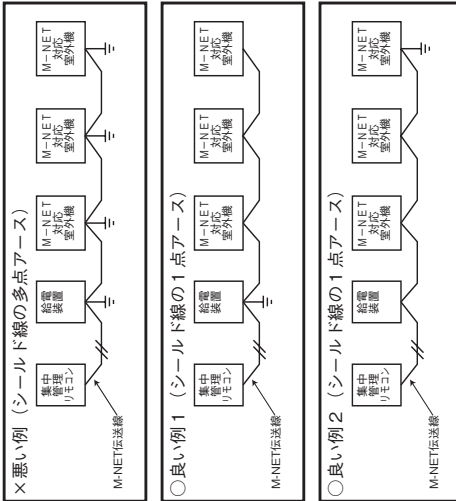
注意

M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1カ所に限りアース線を接続してください。

- ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。
室外機デジタル表示LED「Ecd」エラー
集中管理リモコンに「0403」エラー

シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないので、ノイズが侵入しません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いいたします。



1. 部品一覧

No	品名	形状	数量	No	品名	形状	数量
①	M-NET基板 (総線シート、サブポート付き)		1	⑦	リード線 信号用(5線)		1
②	M-NET基板取付板		1	⑧	リード線 電源用(3線)		1
③	取付ネジ (M4×8)		2	⑨	リード線 M-NET		1
④	M-NET端子盤		1	⑩	アース線・ネジ (M4×8)		各1
⑤	取付ネジ (M3×20)		1	⑪	結束バンド		2
⑥	端子盤用シール		1				

1

取付説明書

M-NET 接続用アダプター : PAC-SJ18MA

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定をM-NET基板のロータリースイッチSW11(10の位)、SW12(10の位)にて行ってください。
M-NETアドレスは、01~50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっております。

〈設定例〉

M-NETアドレスNo	01	02	50
スイッチ 設定			

お願い

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

注意

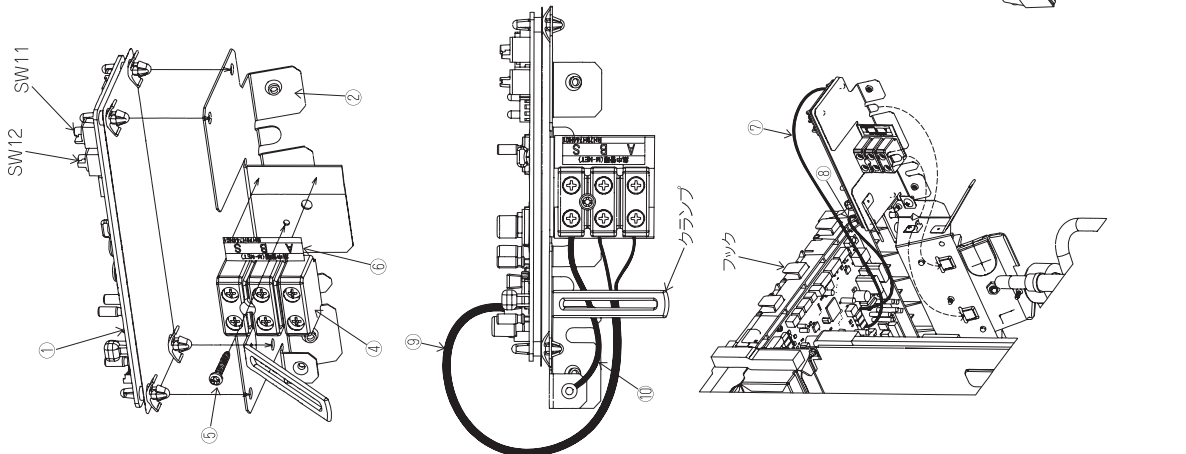
M-NETアドレスは必ず01~50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。また01~50以外に設定した場合もエラーとなることあります(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)。

2

機種一覧表	サービス型名	作業要領
【1】	MPUZ-ERP40 ~ 63(S)KA2	【3】ページ
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA3	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA5	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA6	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA7	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA3	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA5	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA6	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA7	
	PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA2	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA5	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA6	
PU-CRP40 ~ 63(S)KA7		
PU-CRP40 ~ 63(S)KA8		

3. 作業手順



- (1) ②の取付板に①の基板を図の向きに取り付けてください。
- (2) ②の取付板に④の端子台を⑤のネジで取り付けてください。
※端子台④には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。
- (3) 端子台④の横に⑥の端子台用シールを図の向きで貼り付けてください。
- (4) ⑨のリード線で、M-NET基板のCN2Mと、端子台④のA、B端子を接続してください。極性はありません。
※端子台のネジゆるみがないよう確実に接続してください。
※⑩のアース線を取り付ける場合はここで取り付けてください。
- (5) 取付板②の裏面のクランプで⑨のリード線を固定してください。
- (6) ⑦のリード線で、M-NET基板のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。
※事前に制御基板手前の配線と圧縮機配線のクランプを外しておくと作業しやすくなります。
- (7) ⑧のリード線で、M-NET基板のCNDと、室外制御基板のCNMNTを接続してください。
- (8) 電源、内外接続線端子台の板金裏に②の取付板を引っ掛け、③のネジで固定してください。
- (9) ⑦のリード線を基板ケースのフックに引っ掛け固定してください。
- (10) 必要に応じて⑦、⑧のリード線を⑪の結束バンドで束ねてください。



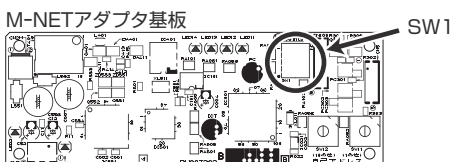
・PAC-SJ10/18/31MA SW1-2の設定方法

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-2はONのままとしてください。集中コントローラーダウン時、集中コントローラーとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にてSW1-2をOFFに設定してください。接続されている全ての集中コントローラーダウン時、集中コントローラーとの通信異常を検知すると異常停止します。

SW1-2 設定	機能	機能詳細	工場出荷時	スイッチ読み込み
ON 	室内機にMAリモコンやワイヤレスが接続されている場合、スイッチをONにしてください。 M-NET 集中コントローラー → アダプタ基板 SW1-2 ON → 室外機 → 室内機 → リモコン または MA リモコン	〈機能〉 室内機にMAリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているか、設定します。 ON:接続有り(工場出荷) OFF:接続無し	ON	常時
OFF 	室内機にMAリモコンやワイヤレスが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。 M-NET 集中コントローラー → アダプタ基板 SW1-2 OFF → 室外機 → 室内機 M-NET リモコン	〈注意〉 スイッチがONの場合、M-NETアダプタとM-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知せず、M-NETアダプタ(スリム室外)は運転を継続します。		

※SW1-3はONのままとしてください。

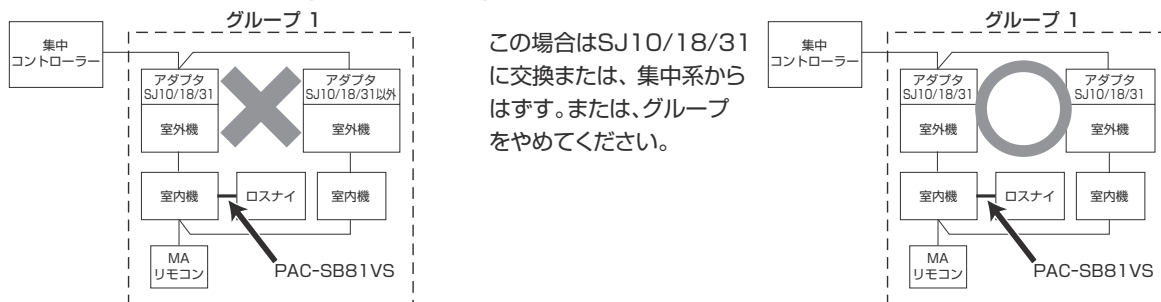


・ロスナイ連動時の注意事項

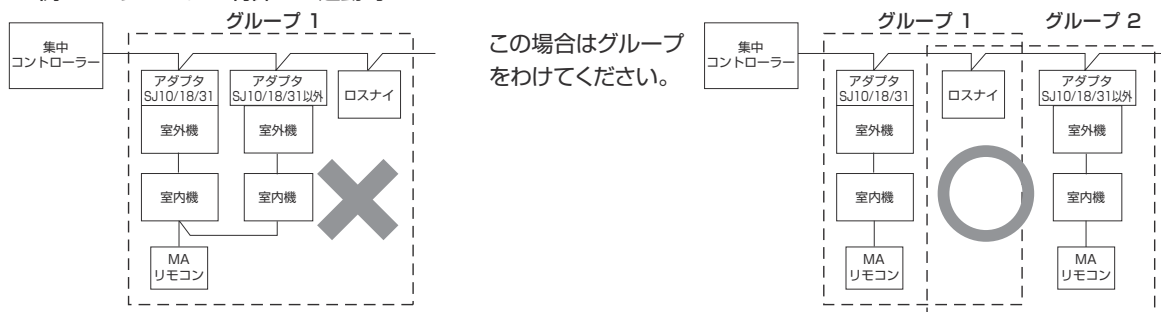
ロスナイとスリムを連動して使用する場合、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31MAとこれ以降の機種)と本型名以外(PAC-SH34MA等)のM-NETアダプタを同一グループにししないでください。この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31MAとこれ以降の機種)に交換してください。

- ・ロスナイ連動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA,-SG68MA,-SH08MA,-SG40MA,-SG98MA
- ・ロスナイ連動時に同一グループにできないシステム例

例1 ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS) での連動時



例2 フリープラン制御での連動時

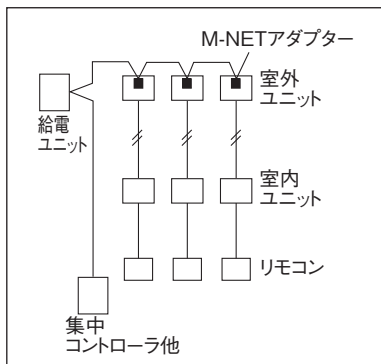


BH79T712H02

M-NET 接続用アダプター

● PAC-SJ10MA

使用目的 / 用途



- “M-NET 接続用アダプター” は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン（A 制御）を接続する際に使用します。
- 『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

- ・ M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1 カ所に限りアースを接続してください。

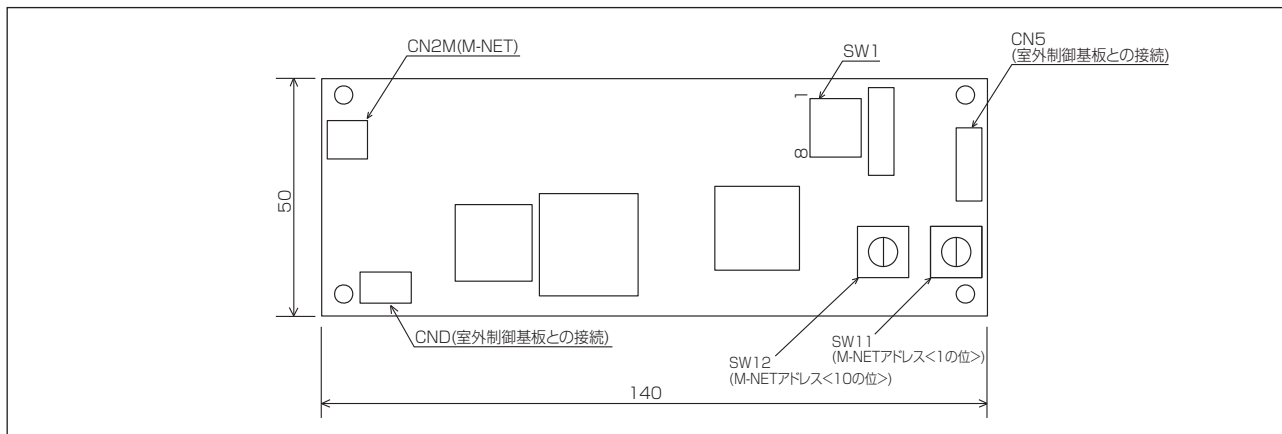
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA
- PUZ-ERP80(S)HA14
- PUZ-HRP80 ~ 160HA14
- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA
- PUZ-ERP224・280KA8
- PUZ-ZRP224・280KA8
- PU-CRP80(S)HA14

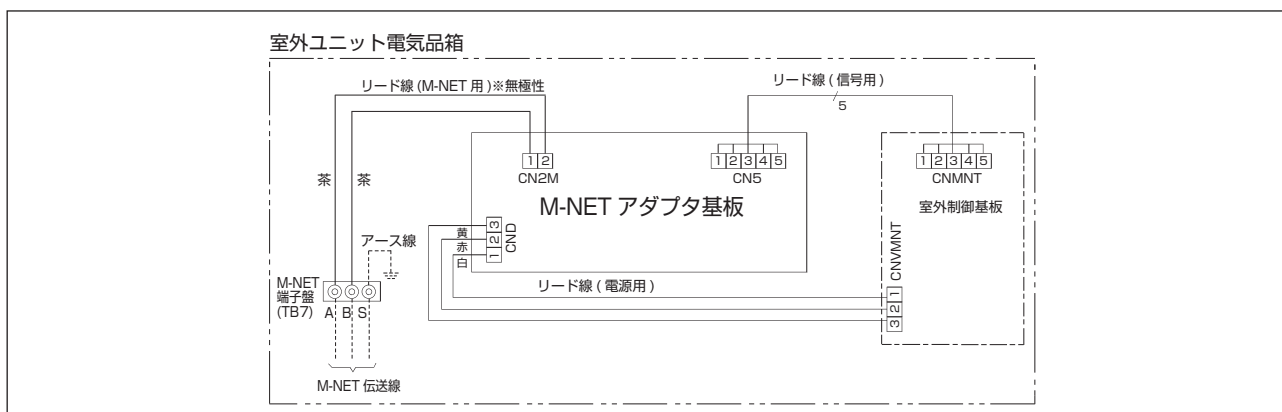
仕様

形名	PAC-SJ10MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取り付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子盤 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3 種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



室外ユニット

BH79B225H01

(本マニュアル用に変更・修正しています)

M-NET接続用アダプター取付説明書

このM-NET接続用アダプターは、**[8]**の機種一覧表に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、右記のとおり作業を行なってください。

PAC-SJ10MA

M-NET伝送線の配線について

⚠ 注意

M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1カ所に限りアース線を接続してください。

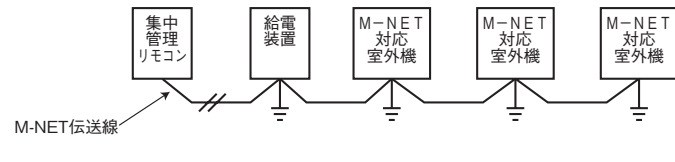
●ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。

室外機デジタル表示LED「Ed」エラー
集中管理リモコンに「0403」エラー

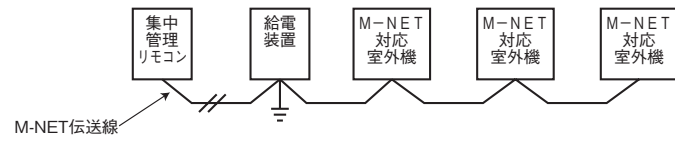
シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようお願いいたします。

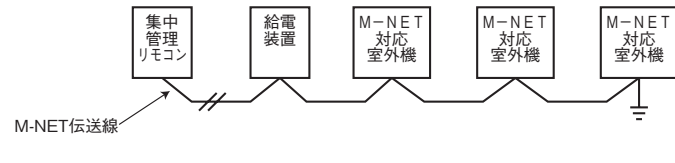
×悪い例 (シールド線の多点アース)



○良い例1 (シールド線の1点アース)



○良い例2 (シールド線の1点アース)



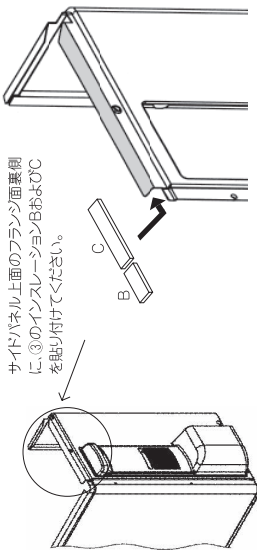
1. 部品一覧

No	品名	形状	数量	No	品名	形状	数量
①	M-NET基板 (絶縁シート、サポート付き)		1	⑦	端子台用シール		1
②	M-NET基板取付板		1	⑧	リード線 信号用(5線)		1
③	インスレーションA, B, C		各1	⑨	リード線 電源用線		1
④	取付ネジ (M4×8)		1	⑩	リード線 M-NET		1
⑤	M-NET端子台		1	⑪	アース線・ネジ(M4×8)		各1
⑥	取付ネジ (M3×20)		1	⑫	結束バンド		2

2. 作業手順

[1] グループ[1]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)

● M-NET基板に接続する配線を板金部品のエッジから保護するため、下記の作業前にパネル板金の端面へインスレーションを貼り付けてください。



(電気品箱上面より見る)

制御基板
パワー基板
ノイズフィルター
ノイズフィルター
端子台

- ① ノイズフィルター取り付け板金裏の曲げ部に③のインスレーションAを下から取り付けてください。
- ② ②の板の面取り部分がファン用(図の左側)に向くよう取り付け④のネジを取り付けてください。
- ③ ②の板の4角に①の基板(絶縁シート、サポート付き)をロータリースイッチが端子台側になるよう取り付けてください。
- ④ ⑤の端子台を⑥のネジで取り付けてください。
※端子台⑤には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。
- ⑤ 端子台⑤の横に⑦の端子台用シールを貼り付けてください。この時、Sが上、Aが下になるようにしてください。
- ⑥ ⑧のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。
- ⑦ ⑨のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCNNDと、室外制御基板のCNVMNTを接続してください。
- ⑧ ⑩のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCN2Mと、端子台⑤のA、B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。
- ⑨ (6)(7)(8)で接続したリード線を⑪の結束バンドで束ねてください。

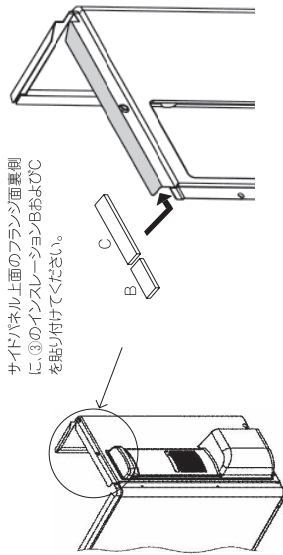
(注1) 必要に応じて⑪のアーセ線、ネジでM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
(注2) パネル類を取り付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

以後「3.M-NET基板のアドレス設定」の項にお進みください。

2

[2] グループ[2]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)

● M-NET基板に接続する配線を板金部品のエッジから保護するため、下記の作業前にパネル板金の端面へインスレーションを貼り付けてください。



(電気品箱上面より見る)

①基板
④ネジ
③インスレーションA
ターミナルベース
パワー基板
ターミナルベース
制御基板

- ① ターミナルベースのネジ穴部に裏側より③のインスレーションAを下から取り付けてください。
- ② ②の板の曲げ部分をターミナルベースのコーナー部に突き当てて位置決めした後④のネジで取り付けてください。
- ③ ②の板の4角に①の基板(絶縁シート、サポート付き)をロータリースイッチが端子台側になるよう取り付けてください。
- ④ ⑤の端子台を⑥のネジで取り付けてください。
※端子台⑤には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。
- ⑤ 端子台⑤の横に⑦の端子台用シールを貼り付けてください。
- ⑥ ⑧のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。
- ⑦ ⑨のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCNNDと、室外制御基板のCNVMNTを接続してください。
- ⑧ ⑩のリード線で、M-NET接続用アダプタ基板のCN2Mと、端子台⑤のA、B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。
- ⑨ (6)(7)(8)で接続したリード線を⑪の結束バンドで束ねてください。

(注1) 必要に応じて⑪のアーセ線、ネジでM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
(注2) パネル類を取り付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

以後「3.M-NET基板のアドレス設定」の項にお進みください。

3

[4] グループ【4】の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※②のM-NET基板取付板、③のインスレーションA、B、C、④の取付ネジは使用しません。

電気品箱の制御基板用ベース取付ネジ(2カ所)を外し矢印の方向にスライドさせながら電気品箱から取外してください。

(1) 制御基板用ベース裏面側(表面には制御基板が取付)にある①基板取付穴4カ所を確認してください。(矢印4カ所)

(2) ①基板(絶縁シート、サポート付き)をロータリースイッチが上になるよう取付けてください。

(3) ⑤の端子台を⑥のネジで取り付けてください。
※端子台⑤には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(4) ⑤の端子台⑤の下に⑦の端子台用シールを貼り付けてください。

(5) ⑧のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

(6) ⑨のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN2Mと、端子台⑩のA、B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。

(7) ⑩のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN2Mと、端子台⑩のA、B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。

(8) (注1) 必要に応じて⑩のアーヌ線、ネジでM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
(注2) パネル類を取り付けるときリード線を挟み込まないように十分注意してください。

以後「3.M-NET基板のアドレス設定」の項にお進みください。

[3] グループ【3】の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※②のM-NET基板取付板、③のインスレーションAおよびB、④の取付ネジは使用しません。

●M-NET基板に接続する配線を板金部品のエッジから保護するため、下記の作業時にパネル板金の端面ヘインスレーションを貼り付けてください。

板金の端面を包み込むように、③のインスレーションCを貼り付けてください。

(1) ①の基板(絶縁シート、サポート付き)を電気品箱側面に、ロータリースイッチが上になるよう取付けてください(矢印4カ所)。

(2) ⑤の端子台を⑥のネジで取り付けてください。
※端子台⑤には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(3) 端子台⑤の下に⑦の端子台用シールを貼り付けてください。

(4) ⑧のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

(5) ⑨のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN2Mと、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

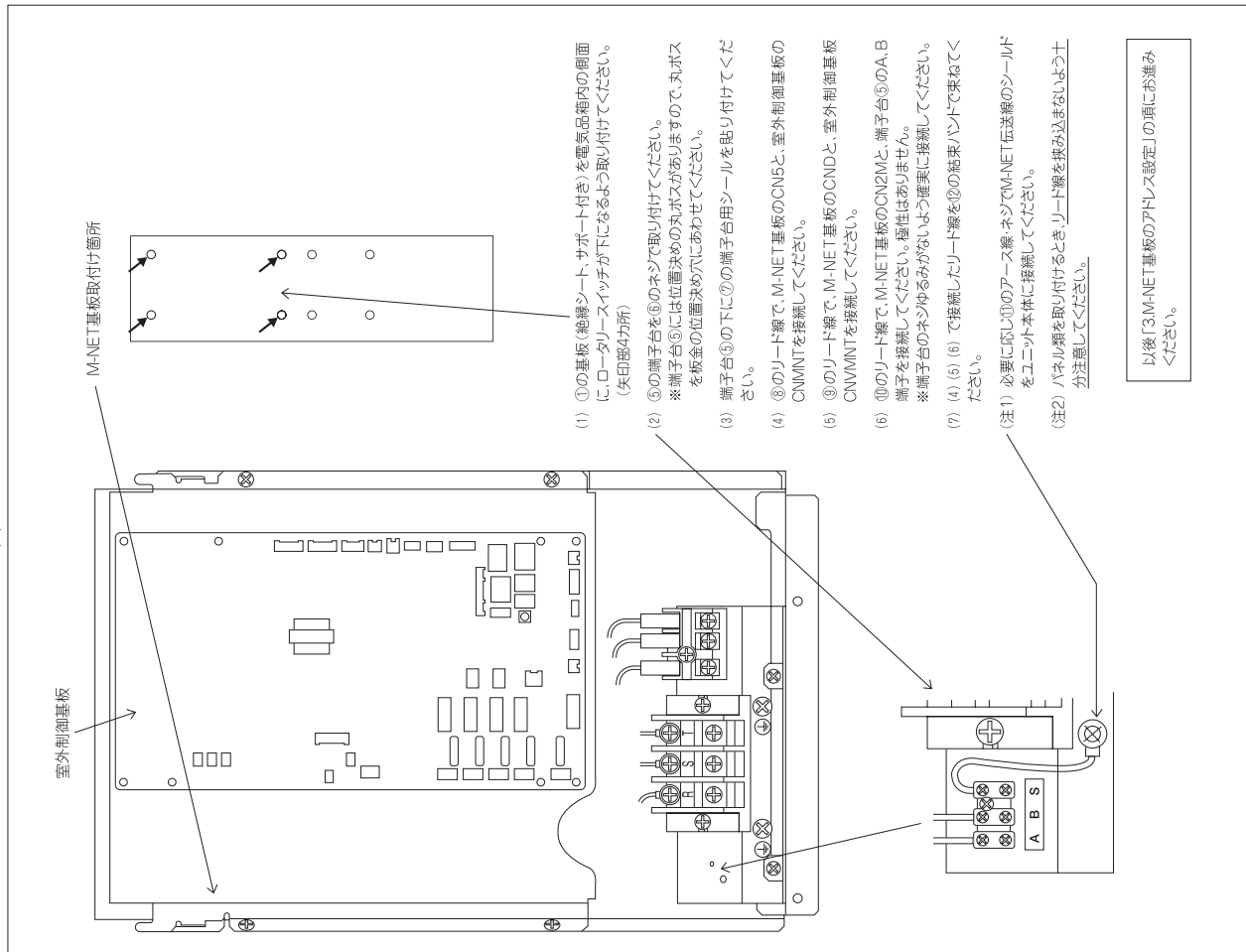
(6) ⑩のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN2Mと、端子台⑩のA、B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。

(7) (4)(5)(6)で接続したリード線を⑩の結束バンドで束ねてください。

(注1) 必要に応じて⑩のアーヌ線、ネジでM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
(注2) パネル類を取り付けるときリード線を挟み込まないように十分注意してください。

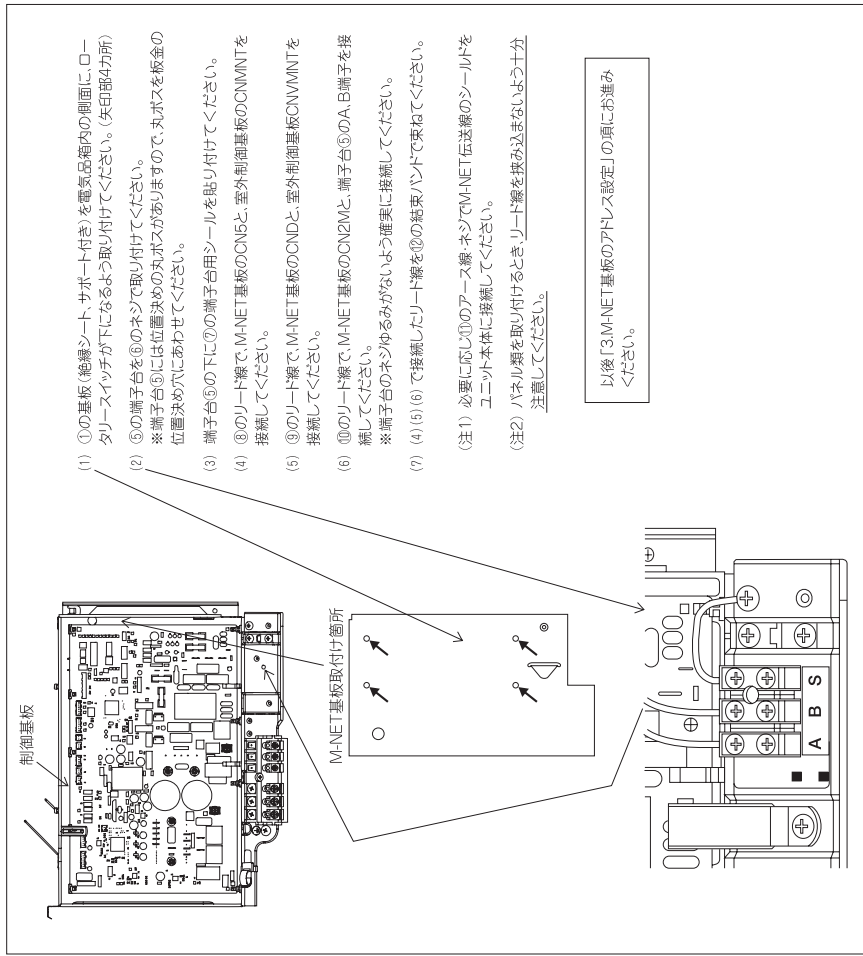
以後「3.M-NET基板のアドレス設定」の項にお進みください。

[5] グループ【5】の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※②のM-NET基板取付板、③のインスレーションA,B,C、④の取付ネジは使用しません。



6

[6] グループ【6】の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※②のM-NET基板取付板、③のインスレーションA,B,C、④の取付ネジは使用しません。



3. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチ SW11(10の位)、SW12(10の位)にて行ってください。
M-NETアドレスは、01~50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て「0(M-NETアドレス=00)」となっております。

お願ひ

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

注意

M-NETアドレスは必ず01~50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。
また01~50以外に設定した場合はエラーとなることがあります(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)。

※ PAC-SJ10MA SW1-2 の設定方法は、
PAC-SJ18MA 取付説明書 SW-1-2 の設定方法の項を参照ください。

<設定例>

M-NETアドレスNo	01	02	50
スイッチ設定	SW11 (10の位)	SW12 (10の位)	SW11 (10の位)

7

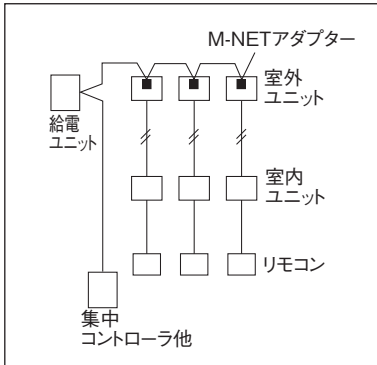
【機種一覧表】

グループ	サービス形名	作業要領	グループ	サービス形名	作業要領	グループ	サービス形名	作業要領						
[1]	PUZ-RP40 ~ 56(S)HA MPUZ-RP40 ~ 56(S)HA MPUZ-P40 ~ 63(S)HA-K	②ページ												
[2]	MPUZ-RP40 ~ 56(S)HA2 MPUZ-WRP40 ~ 56(S)HA MPUZ-WRP40 ~ 56(S)HA3 MPUZ-WRP40 ~ 56(S)HA3A MPUZ-WRP40 ~ 63(S)HA5 MPUZ-WRP40 ~ 63(S)HA6 MPUZ-ERP40 ~ 63(S)HA7 MPUZ-P40 ~ 63(S)HA MPUZ-P40 ~ 63(S)HA3 MPUZ-P40 ~ 63(S)HA3A MPUZ-P40 ~ 63(S)HA5 MPUZ-RP40 ~ 63(S)HA7 PUZ-RP40 ~ 63(S)HA9 PUZ-RP40 ~ 63(S)HA10 PUZ-SRP40 ~ 63(S)HA11 PUZ-SRP40 ~ 63(S)HA12 MPU-P40 ~ 63(S)HA2 MPU-P40 ~ 63(S)HA3 MPU-P40 ~ 63(S)HA3A MPU-P40 ~ 63(S)HA5 MPU-RP40 ~ 63(S)HA7 PU-RP40 ~ 63(S)HA9 PU-RP40 ~ 63(S)HA10 MDU-P50 ~ 63A-C	③ページ												
[3]	PUZ-RP63 ~ 160(S)HA MPUZ-RP63 ~ 160(S)HA MPUZ-P80 ~ 160(S)HA-K PUZG-P3 ~ 5MHA PUG-P3 ~ 5MHA	④ページ												
[4]	MPUZ-RP63 ~ 160(S)HA2 MPUZ-WRP63 ~ 160(S)HA MPUZ-WRP63 ~ 160(S)HA3 MPUZ-WRP63 ~ 160(S)HA3A MPUZ-WRP112HA4 MPUZ-WRP112HA4A MPUZ-WRP80 ~ 224(S)HA5 MPUZ-WRP112 ~ 160HA5A MPUZ-WRP160HA5S MPUZ-WRP80 ~ 280(S)HA6 MPUZ-ERP80(S)HA7 MPUZ-ERP80(S)HA8 PUZ-ERP80(S)HA9 PUZ-ERP80(S)HA10 PUZ-ERP80(S)HA11 PUZ-ERP80SHA12 PUZ-ERP80SHA13 PUZ-ERP80(S)HA14 MPUZ-ERP224 ~ 280KA MPUZ-ERP224 ~ 280KA2 PUZ-ERP224 ~ 280KA3 PUZ-ERP224 ~ 280KA4 PUZ-ERP224 ~ 280KA5 PUZ-ERP224 ~ 280KA6 PUZ-ERP224 ~ 280KA7 PUZ-EPR224 ~ 280KA8 MPUZ-HRP80 ~ 140HA MPUZ-HRP80 ~ 140HA3 MPUZ-HRP80 ~ 140HA5 MPUZ-HRP80 ~ 160HA6 MPUZ-HRP80 ~ 160HA7 MPUZ-HRP80 ~ 112HA8 PUZ-HRP80 ~ 160HA9 PUZ-HRP80 ~ 160HA10 PUZ-HRP80 ~ 160HA11 PUZ-HRP80 ~ 160HA12 PUZ-HRP80 ~ 160HA13 PUZ-HRP80 ~ 160HA14	⑤ページ	[4]	PUZ-ZRP80(S)HA9 PUZ-ZRP80(S)HA10 PUZ-ZRP80(S)HA11 PUZ-ZRP80SHA12 PUZ-ZRP80SHA13 PUZ-ZRP224 ~ 280KA3 PUZ-ZRP224 ~ 280KA4 PUZ-ZRP224 ~ 280KA5 PUZ-ZRP224 ~ 280KA6 PUZ-ZRP224 ~ 280KA7 PUZ-ZRP224 ~ 280KA8 PUZ-ZRMP80(S)HA PUZ-ZRMP112 ~ 140KA MPUZ-P80 ~ 160(S)HA MPUZ-P80 ~ 160(S)HA3 MPUZ-P80 ~ 160(S)HA3A MPUZ-P224 ~ 280HA4 MPUZ-P80 ~ 280(S)HA5 MPUZ-P224 ~ 280HA5A MPUZ-P140 ~ 160HA6 MPUZ-RP80(S)HA7 PUZ-RP80(S)HA9 PUZ-RP80(S)HA10 PUZ-SRP80(S)HA11 PUZ-SRP80(S)HA12 MPUZ-RP224 ~ 280HA7 MPUZ-RP280HA7A PUZ-RP224 ~ 280HA9 PUZ-RP224 ~ 280HA10 MPU-P80 ~ 160(S)HA MPU-P80 ~ 160(S)HA3 MPU-P80 ~ 160(S)HA3A MPU-P80 ~ 160(S)HA5 MPU-P140 ~ 160HA6 MPU-RP80(S)HA7 PU-RP80(S)HA9 PU-CRP80(S)HA11 PU-CRP80SHA12 PU-CRP80SHA13 PU-CRP80(S)HA14 PUZG-P3 ~ 5MHA2 PUZG-P3 ~ 10MHA5 PUZG-P3 ~ 10MHA6 PUZG-P3 ~ 10MHA7 PUZG-P3 ~ 10MHA9 PUZG-P3 ~ 10MHA10 PUZG-P3 ~ 10MHA12 PUG-P3 ~ 5MHA2 PUG-P3 ~ 10MHA5 PUG-P3 ~ 10MHA6 PUG-P3 ~ 10MHA7 PUG-P3 ~ 10MHA9 PUG-P3 ~ 10MHA10 PUG-P3 ~ 10MHA12 PUZ-RP88HA-NF PUZ-RP88HA-NF ₁ MPU-WRP100HAU MPU-WRP100HAU ₁ MPU-WRP100HA3U PUZN-ERP224 ~ 280KA PUZN-ERP224 ~ 280KA3 PUZN-ERP224 ~ 280KA4 PUZN-ERP224 ~ 280KA5 PUHZ-RP140 ~ 160THA PUHZ-RP140 ~ 160THA ₁ PUHZ-RP140 ~ 160THA ₂ PUHZ-RP140THA2 PUHZ-RP280THA2 PUHZ-RP250THA2 PUHZ-RP250TKA PUHZ-P160THA MDU-P90 ~ 160A-C	⑤ページ									
						[5]	MPUZ-RP224 ~ 280HA MPUZ-RP224 ~ 280HA2 MPUZ-WRP224 ~ 280HA MPUZ-WRP224 ~ 280HA3 MPUZ-WRP280HA5 MPUZ-P224 ~ 280HA MPUZ-P224 ~ 280HA2 MPUZ-P224 ~ 280HA3 MPUH-P224 ~ 280HA MPUH-P224 ~ 280HA2 PUZG-P8 ~ 10MHA PUZG-P8 ~ 10MHA2 PUG-P8 ~ 10MHA PUG-P8 ~ 10MHA2 PUHZ-RP280THA	⑥ページ						
						[6]	MPUZ-ERP112HA7 MPUZ-ERP112HA8 PUZ-ERP112HA9 PUZ-ERP112HA10 PUZ-ERP112HA11 MPUZ-ERP140 ~ 160KA MPUZ-ERP140 ~ 160KA2 PUZ-ERP140 ~ 160KA3 PUZ-ERP140 ~ 160KA4 PUZ-ERP140 ~ 160KA5 PUZ-ERP80HA12 PUZ-ERP80HA13 PUZ-ZRP112 ~ 160KA3 PUZ-ZRP112 ~ 160KA4 PUZ-ZRP112 ~ 160KA5 PUZ-ZRP80HA12 PUZ-ZRP80HA13 PUZ-ZRP112 ~ 160KA6 PUZ-ZRP112 ~ 160KA7 MPUZ-RP112 ~ 160HA7 MPUZ-RP140 ~ 160HA8 PUZ-RP112 ~ 160HA9 PUZ-RP112 ~ 160HA10 PUZ-SRP112 ~ 160HA11 PUZ-SRP112 ~ 160HA12 MPU-RP112 ~ 160HA7 MPU-RP140 ~ 160HA8 PU-RP112 ~ 160HA9 PU-RP112 ~ 160HA10 PU-CRP112HA11 PU-CRP140 ~ 160KA5 PU-CRP80HA12 PU-CRP80HA13 PUZN-ERP140 ~ 160KA PUZN-ERP140 ~ 160KA3 PUZN-ERP140 ~ 160KA4 PUZN-ERP140 ~ 160KA5 PUHZ-RP140/160TKA	⑦ページ						

M-NET 接続用アダプター

● PAC-SJ31MA

使用目的 / 用途



●“M-NET 接続用アダプター” は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン（A 制御）を接続する際に使用します。

●『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

・ M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1 カ所に限りアースを接続してください。

対象ユニット

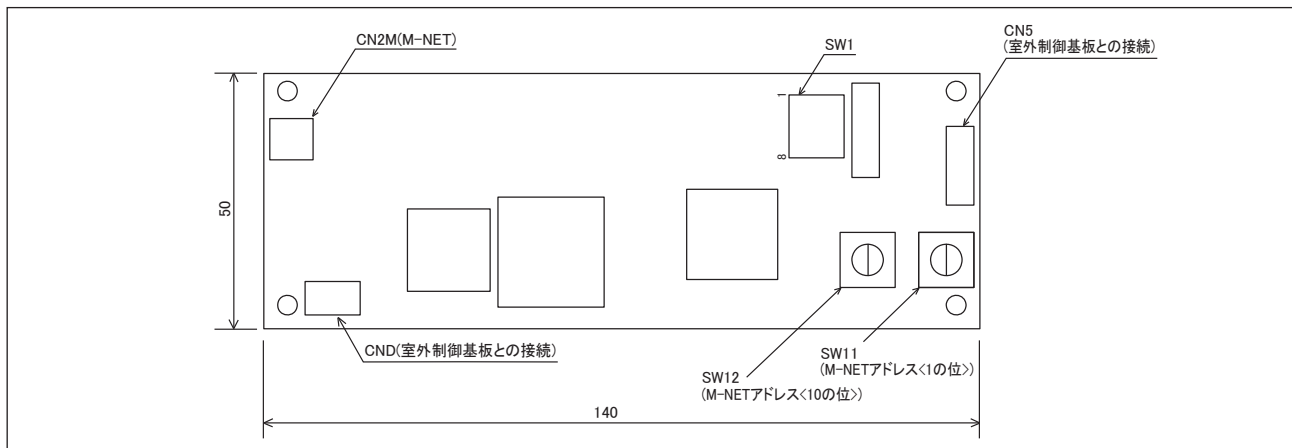
● PUZ-ERP112 ~ 160LA3

● PU-CRP112 ~ 160LA3

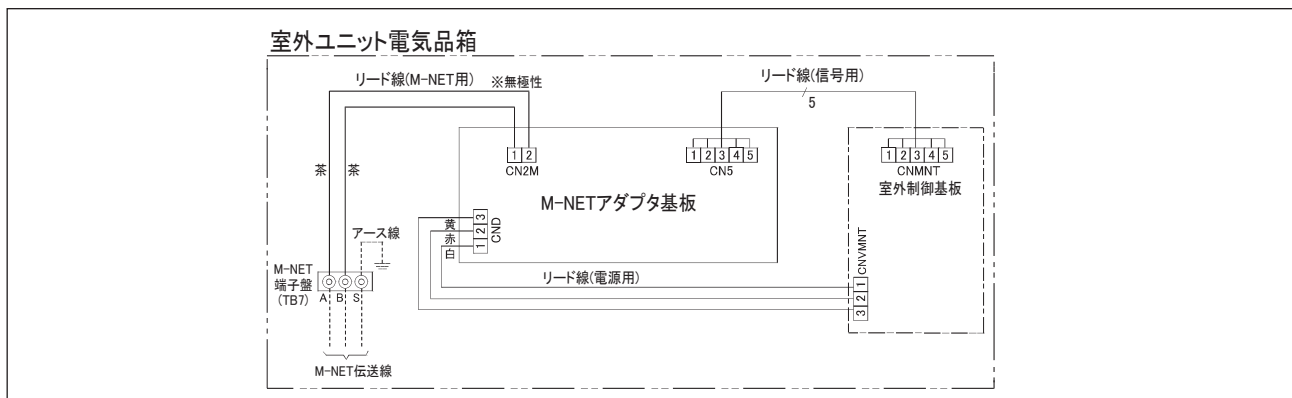
仕様

形名	PAC-SJ31MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子盤 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3 種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



室外ユニット

BH79B886H01
(本マニュアル用に変更・修正していません)

M-NET接続用アダプタ据付説明書

このM-NET接続用アダプタは、**[3]**の機種一覧表に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、右記のとおり作業を行なってください。

PAC-SJ31MA

M-NET伝送線の配線について

⚠ 注意

M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1カ所に限りアース線を接続してください。

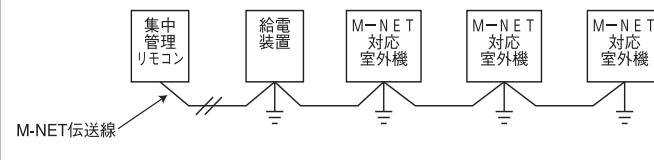
●ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。

室外機デジタル表示LED「Ed」エラー
集中管理リモコンに「0403」エラー

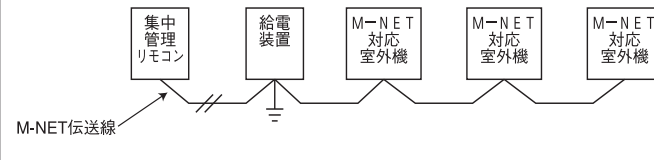
シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようお願いいたします。

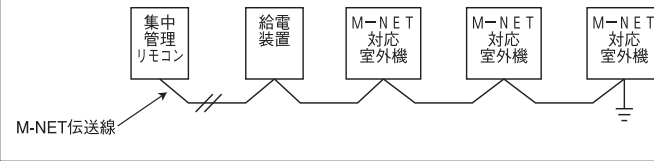
×悪い例 (シールド線の多点アース)



○良い例1 (シールド線の1点アース)



○良い例2 (シールド線の1点アース)



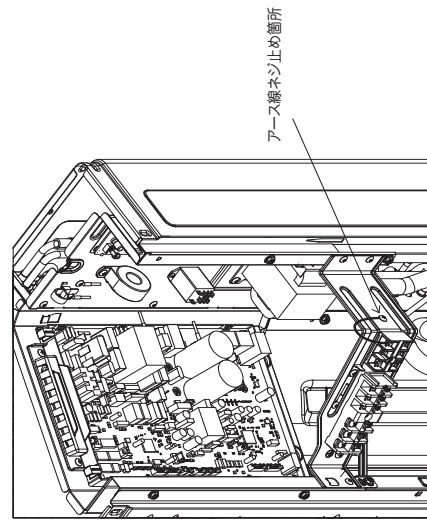
1. 部品一覧

No	品名	形状	数量	No	品名	形状	数量
①	M-NET基板 (絶縁シート、サポート付き)		1	⑥	リード線 電源用線	 長さ: 300mm	1
②	M-NET端子台		1	⑦	リード線 M-NET	 長さ: 400mm	1
③	取付ネジ (M4×25)		1	⑧	アース線・ネジ(M4×8)		各1
④	端子台用シール		1	⑨	結束バンド		2
⑤	リード線 信号用(5線)	 長さ: 280mm	1				

2. 作業手順

- (1) ①の基板(絶縁シート、サポート付き)を電気品箱に、ロータリースイッチが下になるように取り付けてください。(矢印部4ヶ所)
 - (2) ②の端子台を③のネジで取り付けてください。
※端子台②には位置決め用の穴が空いているので、丸ノコを板金の位置決め穴にあわせてください。
 - (3) 端子台②の下に④の端子台用シールを貼り付けてください。
 - (4) ⑤のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN6と、室外制御基板のCNMMTを接続してください。
 - (5) ⑥のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCNNDと、室外制御基板のCNVMMTを接続してください。
 - (6) ⑦のリード線で、M-NET接続用アダプター基板のCN2Mと、端子台②のA、B端子を接続してください。
極性はありません。
 - (7) (4)(5)(6)で接続したリード線を⑧の結束バンドで束ねてください。
- (注1) 必要に応じて⑧のアース線・ネジでM-NET電線線のシールドをユニット本体に接続してください。
- (注2) ハネル線を取り付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

以後「3.M-NET基板のアドレス設定」の項にお進みください。



2

3. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチSW11(10の位)、SW12(10の位)にて行ってください。
M-NETアドレスは、01～50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっております。

【お願い】

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取り付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取り付けてください。

【注意】

M-NETアドレスは必ず01～50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。
また01～50以外に設定した場合もエラーとなることがあります。
ります (例えばM-NET基板に「アドレス=51」を認て設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)。

〈設定例〉

M-NETアドレス	01	02	50
スイッチ設定	SW11 (10の位)	SW12 (10の位)	SW11 (10の位) SW12 (10の位)

※ PAC-SJ31MA SW1-2 の設定方法は 11-41 頁を参照ください。

【機種一覧表】

グループ	サービス形名	作業要領
【1】	PUZ-ERP112 ~ 160LA PUZ-ERP112 ~ 160LA2 PUZ-ERP112 ~ 160LA3 PU-CRP112 ~ 160LA PU-CRP112 ~ 160LA2 PU-CRP112 ~ 160LA3	②ページ

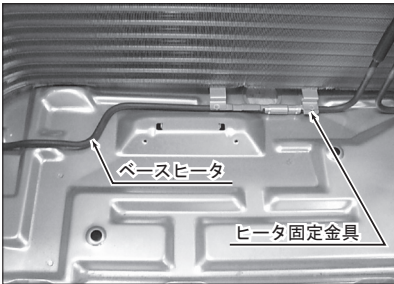
BH79T711H03

3

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ11BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内側下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトとの併設をおすすめします。

注意

- ・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

対象ユニット

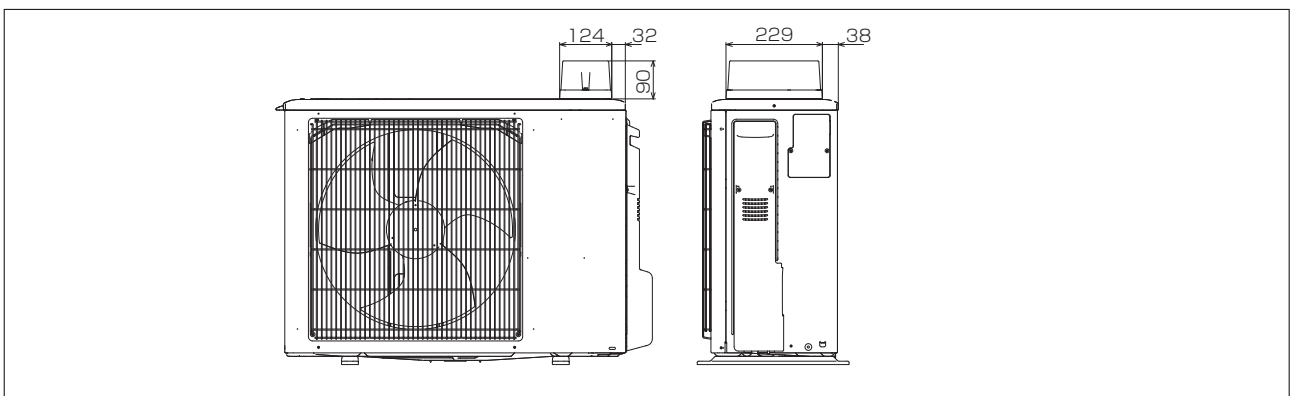
- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8

仕様

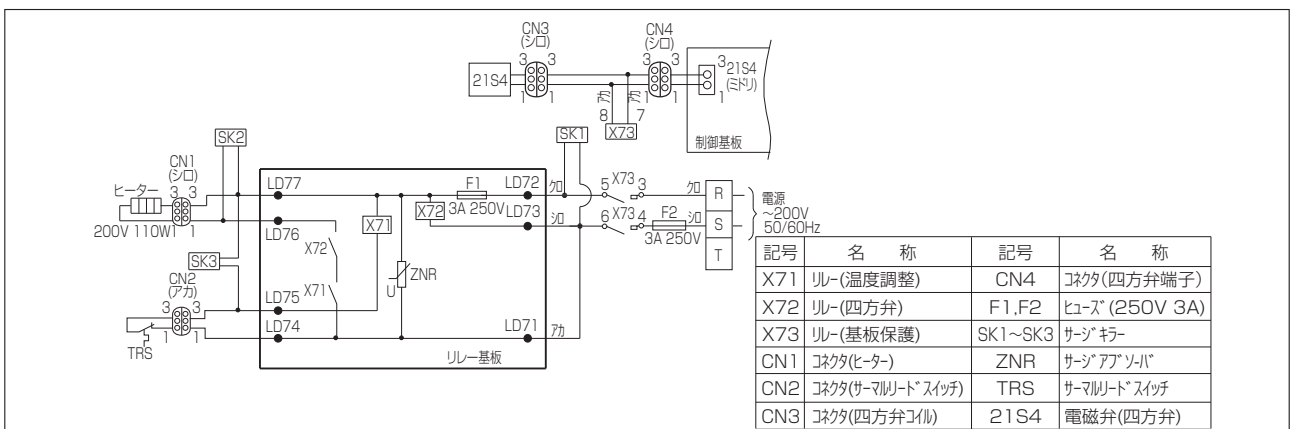
形名	PAC-SJ11BH		
凍結防止ヒーター	電源	単相 200V 50/60Hz	
	容量	110W	
	保護ヒューズ	3A 250V	
制御部カバー	外形寸法	227 × 124 × 90mm	
	外装	ホワイト	
	材質	耐熱性 ABS	
質量	3.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む)		

注) 本品を取付ける際は、付属のトップパネルも交換してください。

取付図 (単位: mm)



電気配線図





BH79D185H01

三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 取付説明書

別売形名	適用機種
PAC-SJ11BH(200V, 110W)	室外ユニット用 インバーターKシリーズ

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品名	①ベースヒータ	②ヒータ固定金具	③バンド	④外気温度センサー	⑤ベースヒータ制御部本体	⑥ファスナー	⑦配線名板	⑧フィルム	⑨アルミテープ
形状	1 set	1個	2本	1 set	1 set	2本	各1枚	1枚	3枚

2. 取付準備

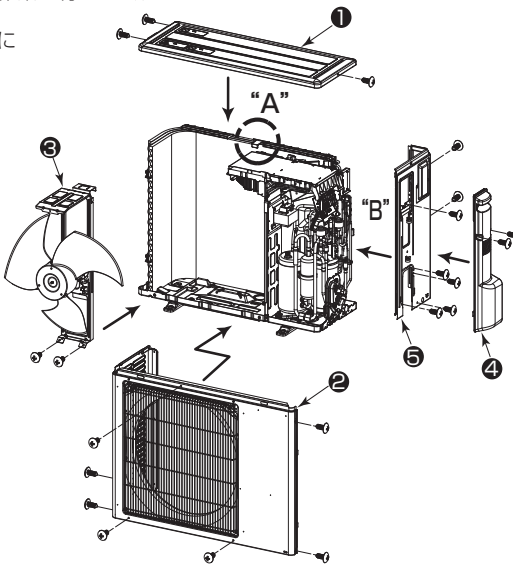
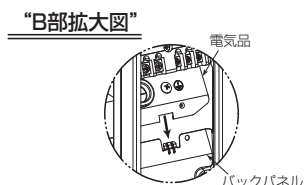
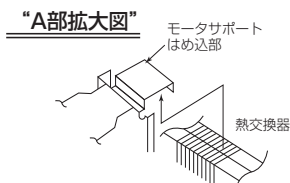
※ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。
- 熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ベースヒータ組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行ないます。

- 1 トップパネルの取外し
トップパネル取付ネジ(左2本、右1本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
- 2 フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ネジ(前3本、右2本、左2本)を外し、前側に引き出し取外してください。
- 3 モータサポートの取外し
モータサポート取付ネジ2本を外し、上側に持ち上げ熱交換器上部とのはめ合を外して前側に引出してください。
取外したモータサポートには、モータ用リード線が接続されていますので引張りがかからない状態でモータサポートを横置きにしてから次の作業を行ってください。
- 4 サービスパネルの取外し
サービスパネル取付ネジ(2本)を外し、下側にスライドさせてから取外してください。
- 5 バックパネルの取外し
バックパネル取付ネジ(右5本、後2本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
※バックパネルの爪が電気品に引っ掛かっていますのでご注意ください。

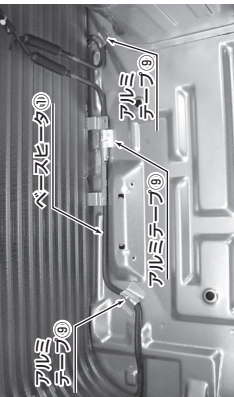
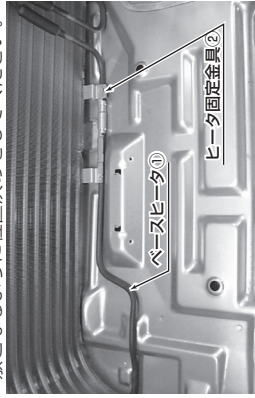


4. ベースヒーターの取付け

- 熱交換器本体を持ち上げながらベースの溝に沿ってベースヒーター①を下図のように位置決めし、仮置きしてください。

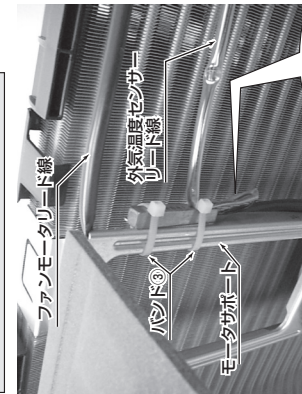


- 再び熱交換器を持ち上げヒーター固定金具②の凹部を、ベースのドレン穴近傍の凸部に合わせ下図位置に仮固定し、熱交換器の下敷となるように位置決めしてください。

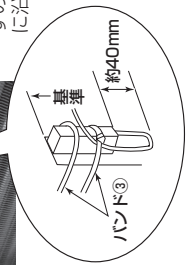


- 左図のように、ベースヒーター①を付属のアルミテープ④で3ヶ所所固定してください。

5. 外気温度センサーの取付け

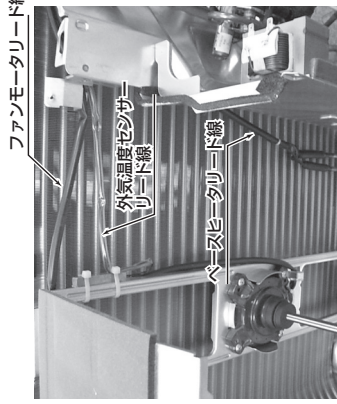


- 外気温度センサー④の感知部に貼付けの画面テープを離れ紙をはがし、モーターサポートのフレンジ上面を基準に、リード線を下方に向け貼り付けてください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU冊けし、上下2カ所をバンド④で固定します。下側のバンドに外気温度センサーの感知部、外気温度センサーのリード線、ファンモーターのリード線を固定し、上側は外気温度センサーの感知部、ファンモーターリード線を固定します。
- 外気温度センサーの感知部が外気温度センサー④の感知部に触れると正確な作動が出来なくなり、そのため、図の様にリード線をモーターサポート裏面に沿って固定してください。



6. 各リード線の固定

- 下図のように外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線をファスナー⑥で束ねた後、リカット部に各リード線を通し、クランプを介して既設のリード線と一緒に固定します。



7. 配線名板の貼付け

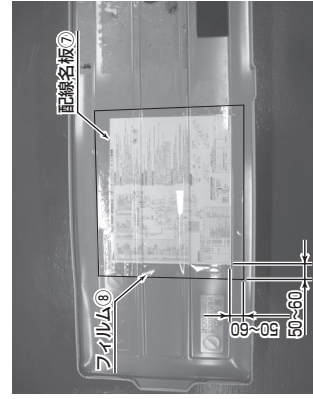
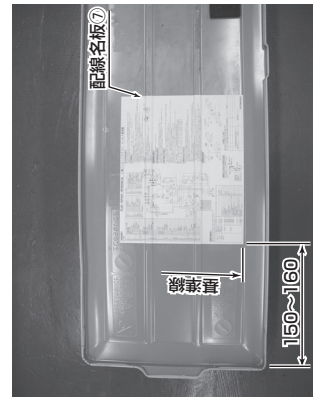
- ベースヒーター制御部本体⑤の裏側に配線名板⑦を貼付けます。尚、配線名板⑦は取外したトップパネル裏側に貼付けてある名板と同一品（同一形名品）を必ず選んでください。

- ※ 配線名板⑦の上にフィルム⑧を貼付けの際は、その端部にしわが発生しない様、丁寧に貼付けてください。しわ等が発生しますと、その隙間から水が入り込み配線名板⑦、フィルム⑧がはかれやすくなります。

- 配線名板⑦は下図仕様（基準線、寸法値）にしたがい貼付けてください。

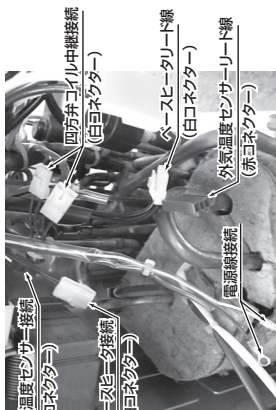


- 配線名板⑦を貼付けた後フィルム⑧を重ね貼りします。配線名板⑦の外形名辺50～60位の間隔を保つようにフィルム⑧を貼付けてください。



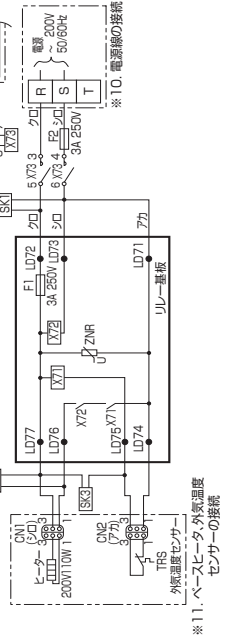
8. ベースヒーター制御部のリード線

- 図はベースヒーター制御部本体⑤を室外機本体に仮置きした状態を示します。各リード線については次の項に従い誤りないように接続してください。



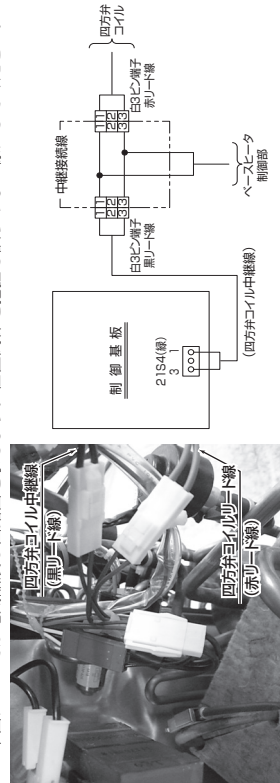
☆PAC-SJ11BH 電気配線図

右配線図を参考に9~11の作業(リード線接続作業)を行ってください。

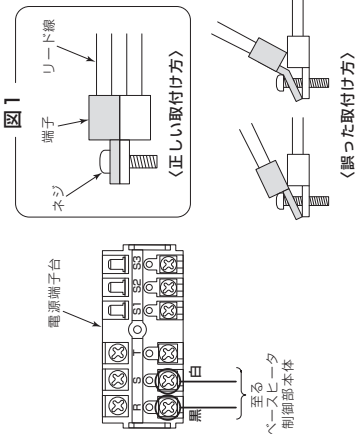


9. 中継接続線の接続

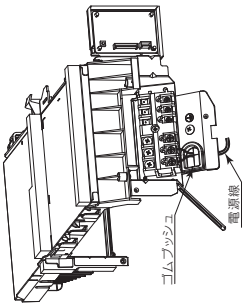
- 次の手順で作業を行ってください。
 - 四方弁コイルと四方弁コイル中継線の白コネクタを外してください。
 - 高、四方弁コイルは白の3ピン端子に赤のリード線、四方弁コイル中継線は白の3ピン端子に黒のリード線が接続されておりますので誤りがないように注意願います。
 - 四方弁コイル、四方弁コイル中継線、ベースヒーター制御部からのリード線をそれぞれ下記にしがい接続してください。
 - ※ 下記については電気品及び回路図を示します。位置関係把握し誤りがないようにしてください。



10. 電源線の接続



- ベースヒーター制御部リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に現地配線の端子と共締めしてください。
- ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。(図は三相配線の場合を示します)
- ※ 下図のように、電源線を接続する際は、電源線をゴムブッシュに通して接続してください。

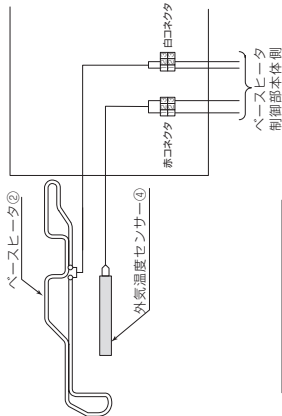


△ 警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

11. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 右図のとおり各製品のリード線端子部の色(ベースヒーター: 白、外気温度センサー: 赤)とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線端子を接続してください。



12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、リード線が冷媒配管等にあたらぬよう、アースナー⑧を使いリード線を固定してください。(11の図参照)

13. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

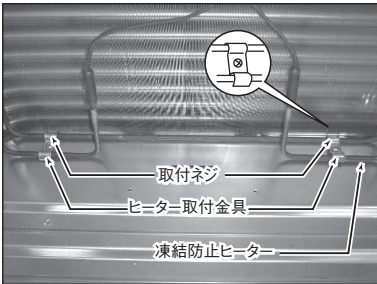
△ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SH35BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

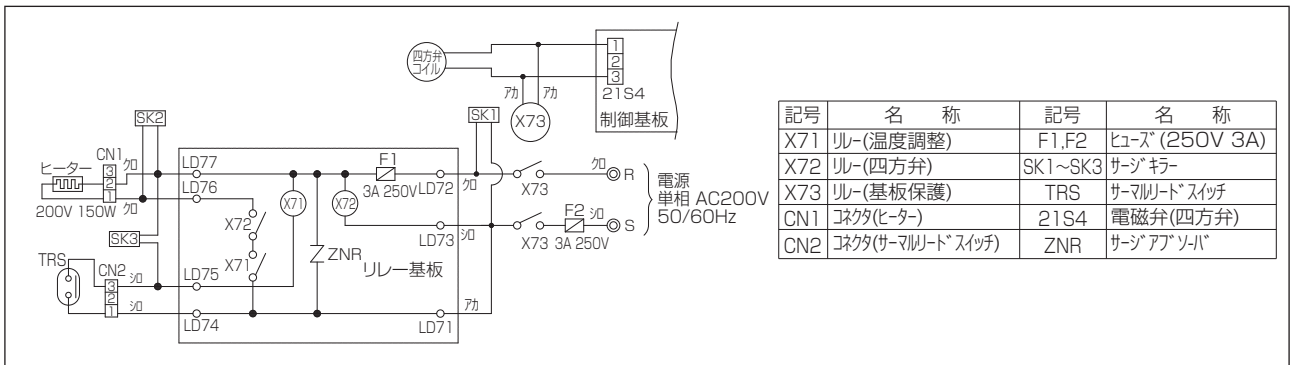
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA
- PUZ-ERP80(S)HA14
- PUZ-HRP80 ~ 160HA14

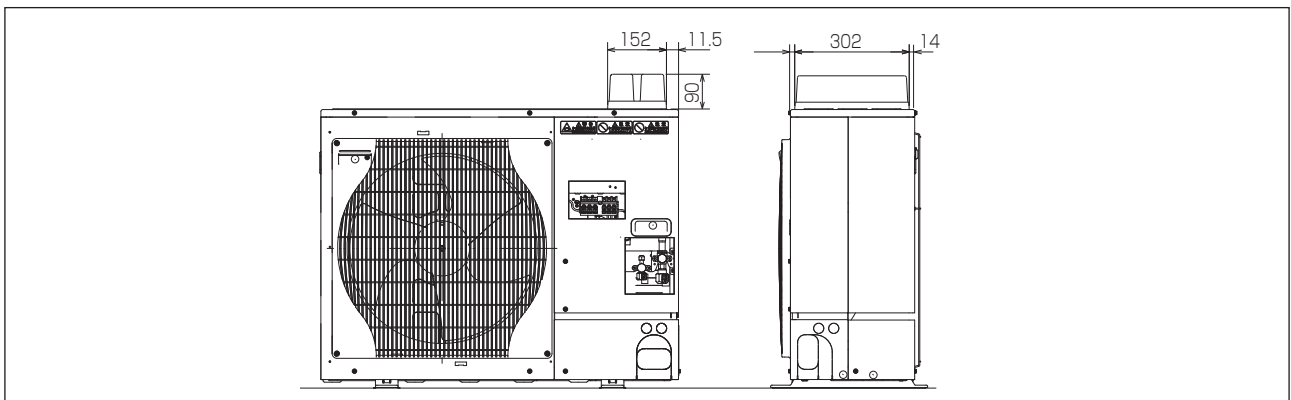
仕様

形名	PAC-SH35BH		制御部カバー	外形寸法	302 × 152 × 90mm
凍結防止ヒータ	電源	単相 200V 50/60Hz	質量	外装	ホワイト
	容量	150W		材質	耐熱性 ABS
	保護ヒューズ	3A 250V		4.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む)	

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット



RG79D170H01

三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ 取付説明書

別売品名	適用機種
PAC-SH35BH(200V, 150W)	室外ユニット用 インバーターHシリーズ

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット、熱交換器下部に発生する根氷の増加対策およびドレン抜穴の凍結による詰り防止を目的としたものです。
- 設置の多い地域で使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この欄の中には、この取付量の他に下記部品の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

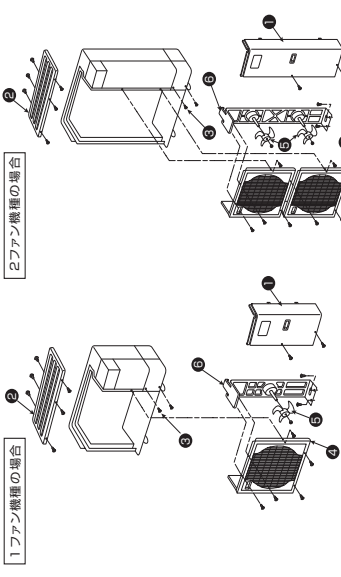
品名	①ベースヒータ	②ヒータ固定金具	③ネジ (4×10)	④バンド	⑤外気温度センサー
形状					
数量	1セット	2個	2個	7本	5本
品名	⑥ベースヒータ取付本体	⑦四方舟中継機	⑧圧着スリーブ	⑨ファンステー	
形状					
数量	1セット	1本	2個	5本	

2. 取付準備

- ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なう必要があります。
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

3. ベースヒータ組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行ないます。



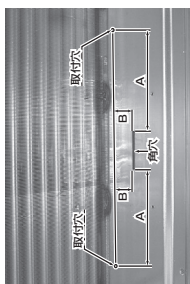
- 1 サービスパネルの取外し
前面3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- 2 トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前面2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- 3 カバーパネルネジ取外し
カバーパネルのネジを取外す。
- 4 フロントパネルの取外し
1ファン機種は5本、2ファン機種は6本のネジをそれぞれ取外し、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- 5 ファン取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- 6 モーターポート取外し
ファンモーターのコネクターを外した後、モーターポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。

取付説明書

凍結防止ヒータ : PAC-SH35BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

4. ベースヒータ取付穴の加工



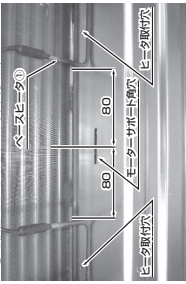
各部品を取り外した後、左図位置にベースヒータ取付用の穴を孔に加工してください。取付穴の位置は下表寸法に従い、誤りのないよう加工してください。

PAC-SH35BH	A	B
	135	21

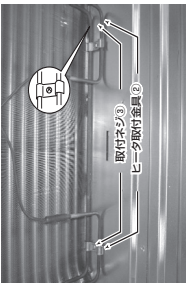
※上記寸法はモーターポート角穴を基準とした寸法値です。
※取付穴はφ3.0~φ3.1です。

5. ベースヒータの取付け

- モーターポートの角穴を中心にベースヒータ①を位置合わせてください。(下図参照)



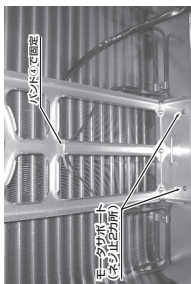
- ヒータ取付金具②と固定ネジ③で、ベースヒータを固定してください。



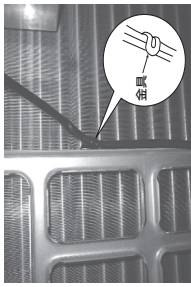
6. モーターサポート、ベースヒータリード線の固定

- 1ファン機種の場合

- モーターサポートにベースヒータリード線をバンド④を使用して中央1か所固定してください。

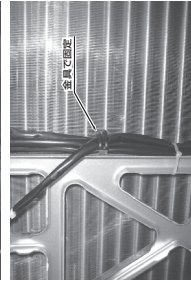
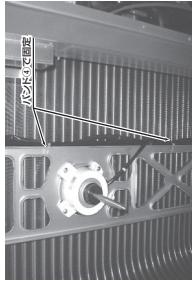
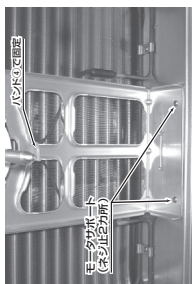


- ベースヒータリード線をファンモーター右側のファンモーターリード線用固定金具の下側にバンド④を巻いて固定してください。(1ファン機種は1か所固定)



2ファン機種の場合

- 2ファン機種は左図の様にベースヒータリード線を上下2か所にバンド④とファンモーターリード線固定金具で固定してください。

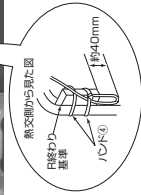
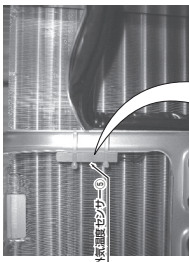


7. 外気温度センサーの取付け

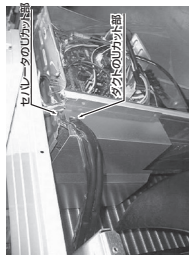
- 外気温度センサー⑥の感知部に貼付けの両面テープを貼り、図に示すマウンティングサポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。



- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置で切断し、上下2カ所をバンド⑦で固定してください。高、下側のバンド⑦は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。

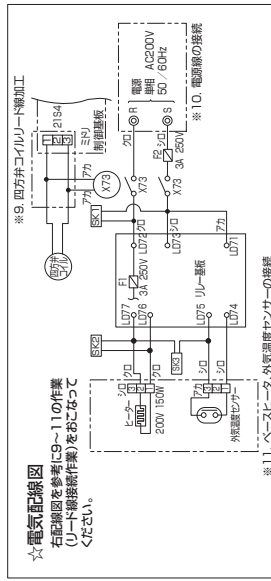


8. 各リード線の固定

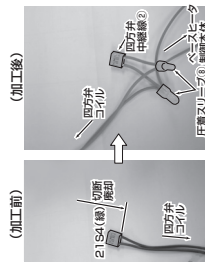


- 外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線を、セパレーターに取付けられたダクトのUカッター部に押し込み、セパレーターのUカッター部に押し込んでください。トップパネルを組込んだ際に、パネルとダクト、セパレーター間でリード線をはさめ込まないようにしてください。

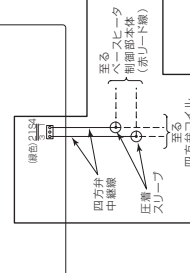
☆電気配線図
右記図を参考に9-11の作業
リード線接続作業をおこなってください。



9. 四方弁コイルリード線加工

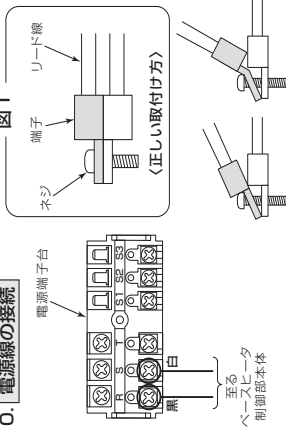


制御基板



- 次の手順で作業を行ってください。
 i) 電気品箱内にある制御基板内の、四方弁コイル(21S4のコンネクター) リード線を取外してください。(加工前参照)
 ii) 四方弁コイルリード線(緑)を切断し、リード線の先端は圧着スリーブ⑧で加工固定する為、15mmの皮むきを行ってください。
 iii) 皮むきをした四方弁コイルリード線、ベースヒーター制御部本体からの皮むきされた赤いリード線、四方弁中継線のそれぞれを圧着スリーブ⑧でカンシメ固定し、電気品箱内に収めます。(上右図、加工後参照)

10. 電源線の接続

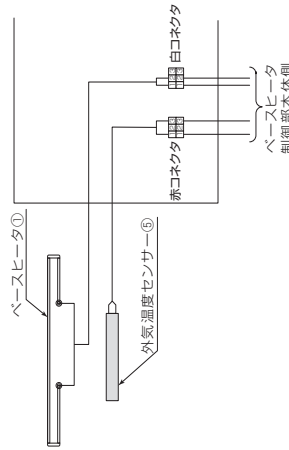


- ベースヒーター制御部リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と接続してください。
 ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

△警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

11. ベースヒーター、外気温度センサーの接続



- 各製品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線を電気品箱内で接続してください。

12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑨を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様に変更になっておりますので、場合によっては赤の場合があります。適宜リード線を兼ね電気品箱内に取付けてください。
 各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ取付けてください。

記線を電気品箱正面でまとめます⑨で固定



13. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
 ※ プロペラファンは必ず5.7±0.3N・m (5.7±3kg・cm) のトルクで締付けてください。

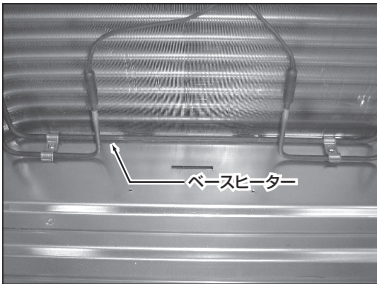
△警告

室外ユニットの外野パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ30BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター” は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

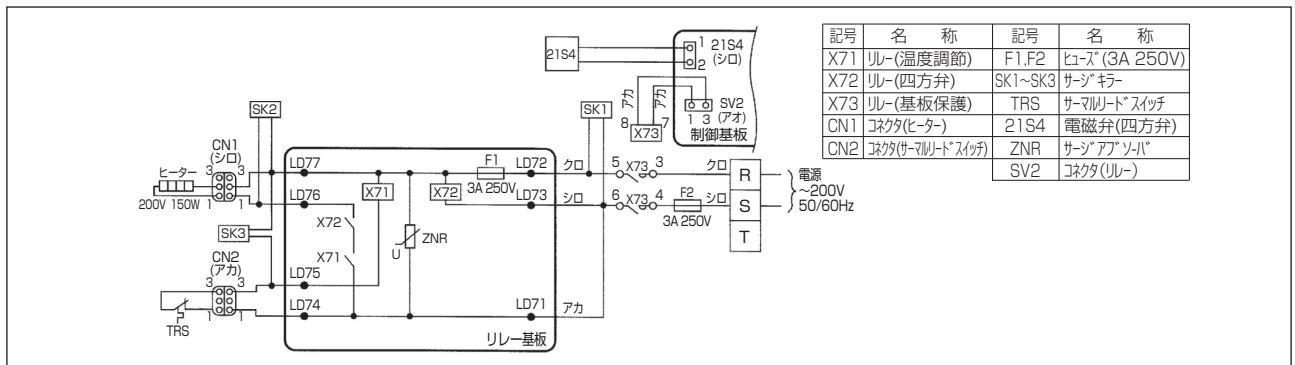
対象ユニット

- PUZ-ERP112 ~ 160LA3

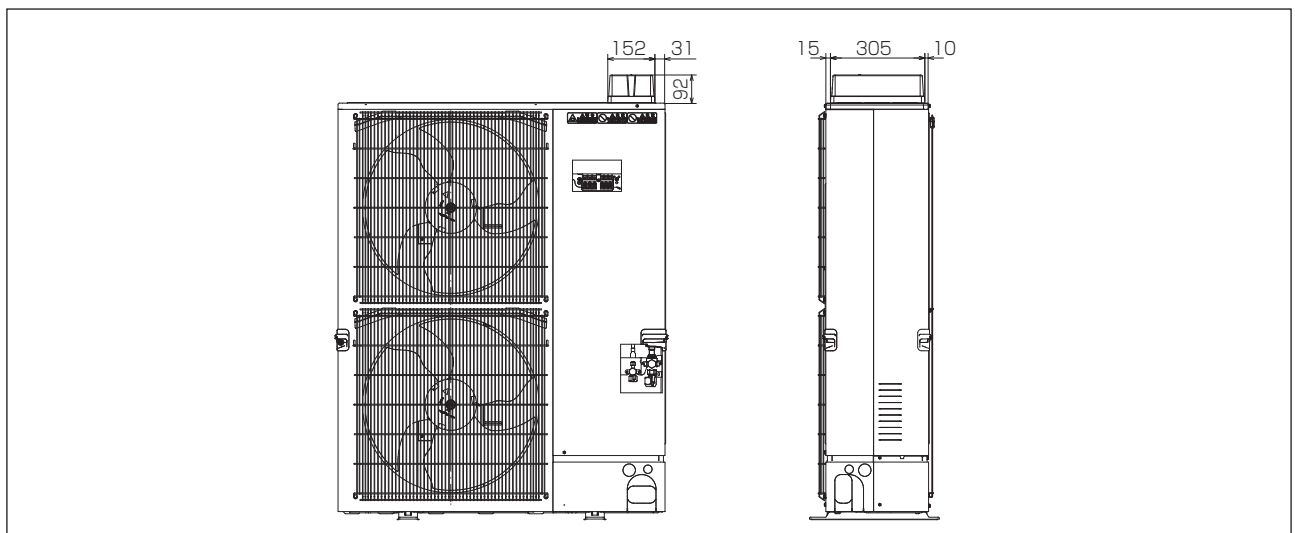
仕様

形名	PAC-SJ30BH		制御部 カバー	外形寸法	302 × 152 × 90mm
凍結 防止 ヒータ	電源	単相 200V 50/60Hz	外形 装	ホワイト	
	容量	150W		材質	耐熱性 ABS
	保護ヒューズ	3A 250V	質量		4.1kg (トップパネル・制御部カバーも含む)

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品
室外機用凍結防止ヒーター 取付説明書

RG79D170N01

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SJ30BH (200V, 150W)	室外ユニット用 インバーターシリーズ

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根水の抑制対策およびドレン抜穴の水結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品番 品名	①ベースヒーター	②ヒーター固定金具	③固定ネジ (4×10)	④バンド	⑤外気温度センサー
形状	1set	2個	2本	7本	1set
品番 品名	⑥ベースヒーター制御部本体	⑦ドレンカバー	⑧アルミテープ	⑨ファスナー	
形状	1set	5個 ※2列熱交換器機種のみ に使用	5枚 ※2列熱交換器機種のみ に使用	5本	

2. 取付準備

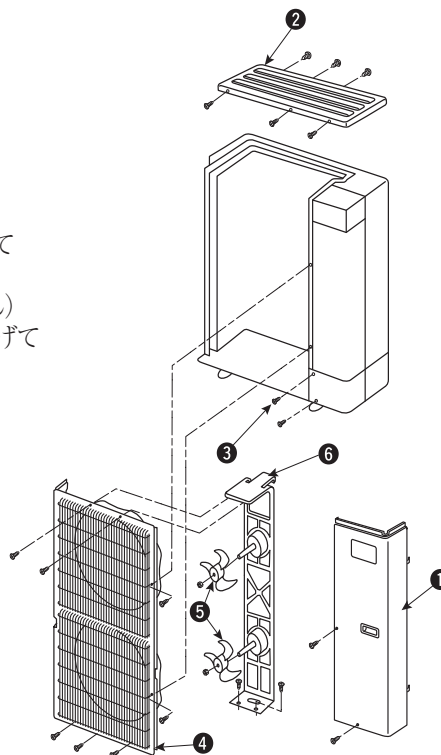
※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込準備を行ないます。

- ①サービスパネルの取外し
前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ②トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ③カバーパネルの取外し
カバーパネルのネジを取外す。
- ④フロントパネルの取外し
前面7本のネジをはずした後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑤ファンの取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑥モーターサポートの取外し
ファンモーターのコネクターを外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。



4. **ドレンカバの取付け**
 ※本品は2別熱交換器機種には、必ず取付けてください。
 ●熱交換器下部のドレン穴にドレンカバー⑦を右図のように取付けてください。
 ※ドレンカバーの取付けは、必ず取付けてください。
 ●ドレンカバーは、下図のようにアルミテープ⑧で固定し、前後のドレン穴について作業を行なってください。
 ※ドレンカバーの穴部が熱交換器下部に向いている位置であることを必ず確認してから確実に固定してください。

ドレン穴(取付所)
 ドレンカバー⑦
 角材の熱交換器下部に
 なるように取付けてください。
 アルミテープ⑧
 確実に固定してください。
 (57mm)

5. **ベースヒーターの取付け**
 ●モーターサポートの角穴部中心にベースヒーター①を配置してください。(下図参照)
 ヒーター取付穴
 ベースヒーター①
 モーターサポート角穴

6. **外気温度センサーの取付け**
 ●外気温度センサー⑤の感知部に貼付けた向面テープ離れ紙をはがし、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向けて取付けてください。
 外気温度センサー⑤

7. **各リード線の固定**
 ベースヒーターリード線を、モーターサポートの写真的位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とバンド④を結束し、セパレーター⑨から機庫内に引き込んでください。

モーターサポートの穴に
 リード線のバンド④で固定
 熱交換器から見た図
 W/S穴
 中心基準
 バンド④
 厚40mm
 外気温度センサー⑤
 外気温度センサー⑤
 熱交換器から見た図
 W/S穴
 中心基準
 バンド④
 厚40mm
 外気温度センサー⑤

☆電気配線図
 右配線図を参考に8～9の作業(リード線接続作業)を行なってください。

※8. 電源線の接続
 ※9. ベースヒーター・外気温度センサーの接続

8. **電源線の接続**
 ●ベースヒーター制御部⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と共締めしてください。
 ※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

リード線
 端子
 ネジ
 電源端子台
 白
 黒
 ベースヒーター
 制御部本体側
 <正しい取付け方>
 <誤った取付け方>

9. **ベースヒーター、外気温度センサーの接続**
 ●各製品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。

ベースヒーター①
 赤コネクタ⑤
 白コネクタ⑥
 ベースヒーター
 制御部本体側

10. **各リード線の固定**
 ●各リード線の接続後に、ファスナー⑩を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様には長さが異なる場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に取付けてください。
 各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ取付けてください。

ベースヒーター①
 赤コネクタ⑤
 白コネクタ⑥
 ベースヒーター
 制御部本体側

11. **再組立**
 ●以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
 ※フロベラファンは必ず57±0.3N・m(57±3kg・cm)のトルクで締付けてください。

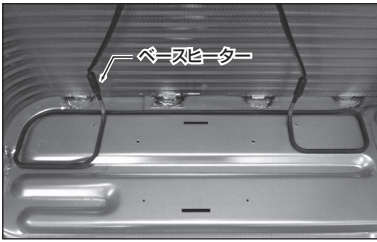
記録を電気品箱左側でまとめファスナー⑩で固定
 ベースヒーターのコネクタ(白色)
 外気温度センサーコネクタ(赤色)

△警告
 室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ29BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

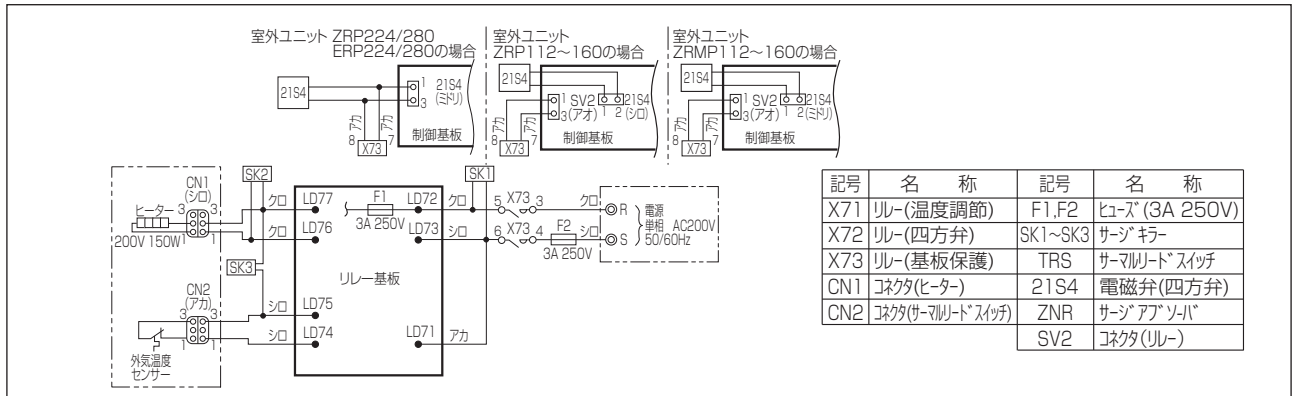
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA, PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP224・280KA8

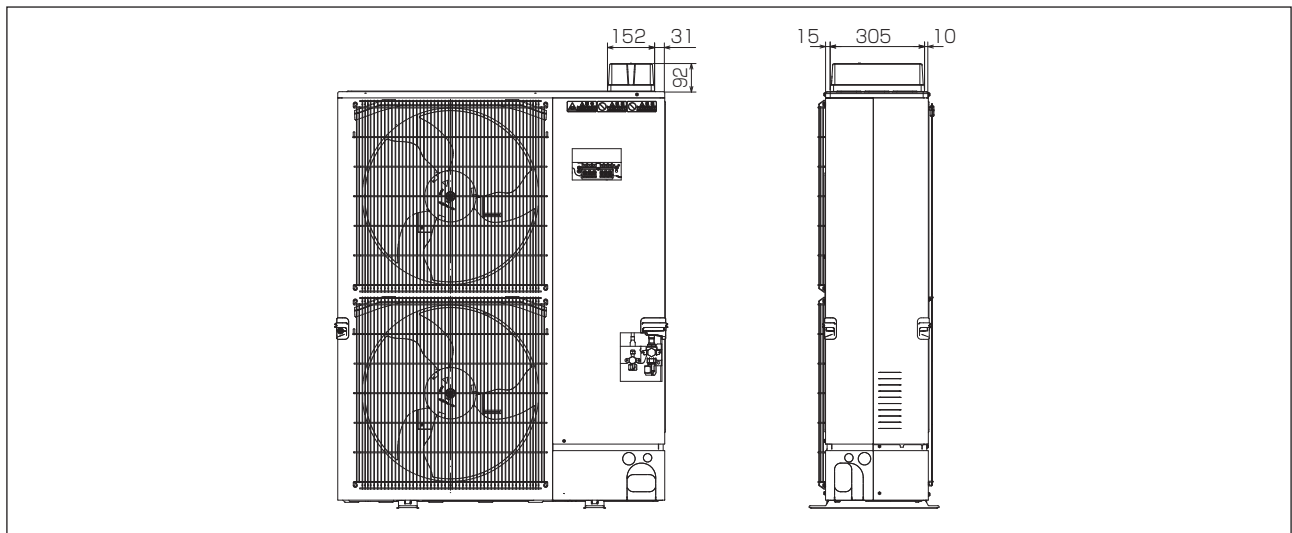
仕様

形名	PAC-SJ29BH		制御部カバー	外形寸法	302 × 152 × 90mm
凍結防止ヒータ	電源	単相 200V 50/60Hz	外形	外装	ホワイト
	容量	150W		材質	耐熱性 ABS
	保護ヒューズ	3A 250V	質量	3.9kg (トップパネル・制御部カバーも含む)	

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

RG79D170L02

別売部品名	適用機種
PAC-SJ29BH(200V, 150W)	室外ユニット用 インバーターシリーズ

取付けの前に

- 本製品は、寒冷期での室外ユニット熱交換器下部に発生する霜水の抑制対策およびドレン抜孔の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域で使用の際は、防雪タクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品番 品名	形状	数量	④ハンパド	⑤外気温度センサー	⑥ベースヒーター制御部本体 カバー
①ベースヒーター		1 set			
②ヒーター固定金具		2個			
③固定ネジ		4x10			
④ハンパド		7本			
⑤外気温度センサー		5枚			
⑥ベースヒーター制御部本体 カバー		1 set			
⑦四方枠中継線		1 set			
⑧圧着スリーブ		2個			
⑨フラスナー		5本			
⑩ドレンカバー		2個			
⑪アルミテープ		5枚			
※2列熱交換器機種 のみに使用		5枚			
※2列熱交換器機種 のみに使用		5枚			

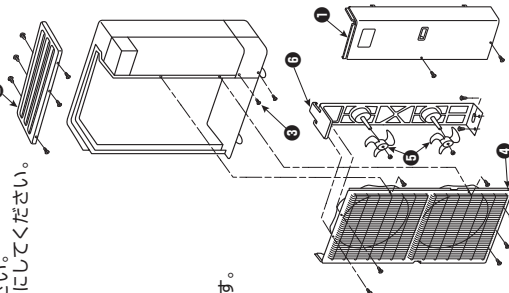
2. 取付準備

- 室外ユニット本体の電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行ってください。

3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込み準備を行います。

- ①サービスパネルの取外し
- ②前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ③トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
- ④前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ⑤カバーパネルの取外し
- ⑥カバーパネルのネジを取外す。
- ⑦フロントパネルの取外し
- ⑧前面7本のネジをはずした後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑨ファンカバーの取外し
- ⑩ファンカバーの固定ネジを取外し
- ⑪ファンカバーのコネクタを外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。



取付説明書

凍結防止ヒーター : PAC-SJ29BH

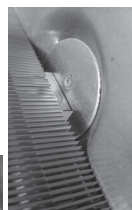
(本マニュアル用に変更・修正しています)

4. ドレンカバーの取付け

- 本品は2列熱交換器機種には、必ず取付けてください。
- 熱交換器下部のドレン穴部にドレンカバー⑩を、図示方向に向けドレン穴を覆います。
- ドレンカバーは、下図のようにアルミテープ⑪で固定し、計5ヶ所のドレン穴について作業を行ってください。
- ※ドレンカバーの穴部が裏側(熱交換器下側)に向いている位置であることを必ず確認してから確実に固定してください。

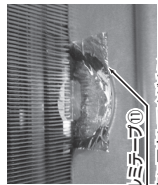


ドレン穴部(5ヶ所)



ドレンカバー⑩

角穴が熱交換器の下側に
なるように取付けてください。



アルミテープ⑪

確実に固定してください。
(5ヶ所)

5. ベースヒーターの取付け

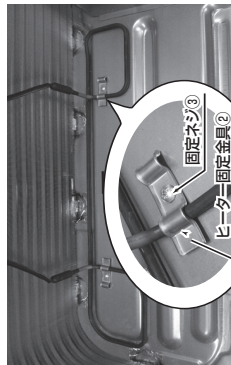
- モーターサポートの角穴部中心にベースヒーター①を置き、図示方向に向け固定してください。(下図参照)
- ヒーター固定金具②と固定ネジ③で、ベースヒーター①を固定してください。



ベースヒーター①

ヒーター取付穴

モーターサポート角穴

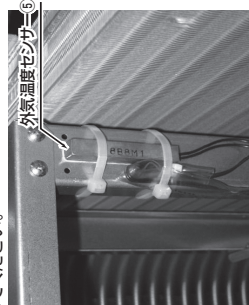


固定ネジ③

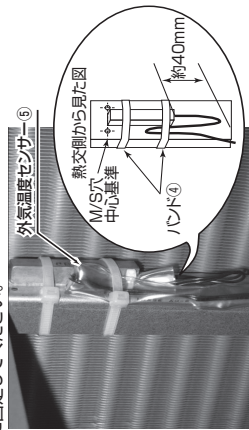
ヒーター固定金具②

6. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けの面テープを剥き、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でし曲げし、上下2カ所をハンパド④で固定してください。高、下側のハンパド④は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。



外気温度センサー⑤



外気温度センサー⑤

M/S穴
中心基準

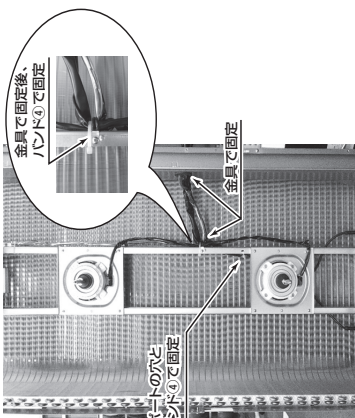
ハンパド④

約40mm

熱交換器から見た図

7. 各リード線の固定

ベースヒーターリード線を、モーターサポートの写真の位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモーターのリード線と一緒に固定金具で結束し、セパレーターの丸穴から機械室に引き込んでください。

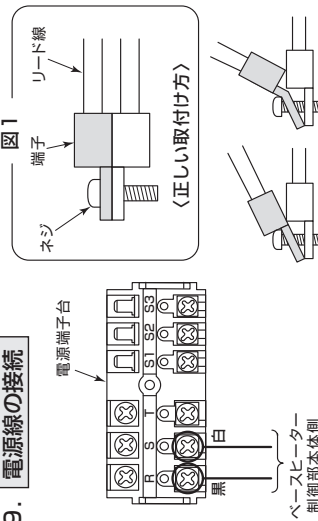


モーターサポートの穴とリード線をバンド④で固定

金具で固定

9. 電源線の接続

- ベースヒーター制御部本体⑥リード線からの電源線（黒色、白色）をそれぞれ室外ユニット電源端子台R/S相に既設の端子と共通化してください。
※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。



正しい取付け方

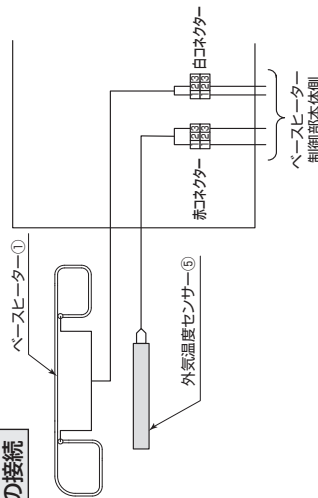
誤った取付け方

警告

端子の取付けは、緩みのないよう確実に締付けてください。また、外カが伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

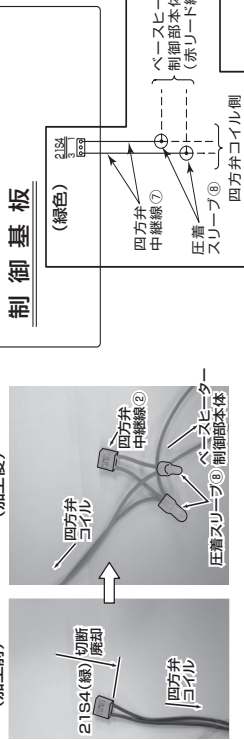
10. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 各部品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内に接続してください。



8. 四方井コイルリード線加工

※8. 四方井コイルリード線加工 室外ユニット ZRP224/280、ERP224/280、PUSYSシリーズ、KP140/160の場合



（加工前）

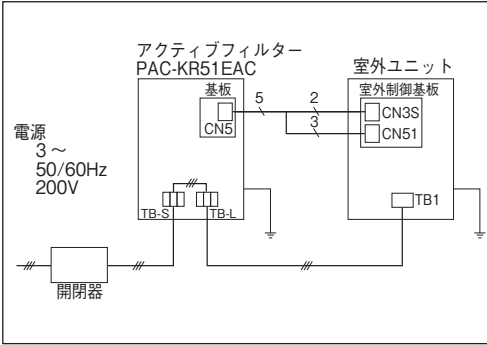
（加工後）

- 次の手順で作業を行なってください。
 - 電気品箱内にある制御基板内の、四方井コイル(21S4)のリード線を切断し、リード線の先端は圧着スリーブ⑧でカシメ固定する為、(加工前参照)
 - 四方井コイルリード線のコネクタ(緑)を切断し、リード線の皮むきを行なってください。15mmの皮むきを行なってください。
 - 皮むきをした四方井コイルリード線、ベースヒーター制御部本体⑥からの皮むきされた赤いリード線、四方井コイルの21S4(緑)の切断箇所をそれぞれ圧着スリーブ⑧でカシメ固定し、電気品箱内に収めます。(加工後参照)

高調波対策用アクティブフィルター

● PAC-KR51EAC

使用目的 / 用途



- 本品は、P224,P280 形用の高調波対策用アクティブフィルターです。
- 機器から発生する高調波電流を検出し、それを打ち消す極性の電流を能動的（アクティブ）に発生させます。

注意

- ・ 本品は屋内設置構造です。水滴がかからないようご注意ください。
- ・ 本品の各面は最低 150mm は他の機器および壁面と離してください。
- ・ 本品を複数台設置する場合には、縦方向に並べることは避けてください。

対象ユニット

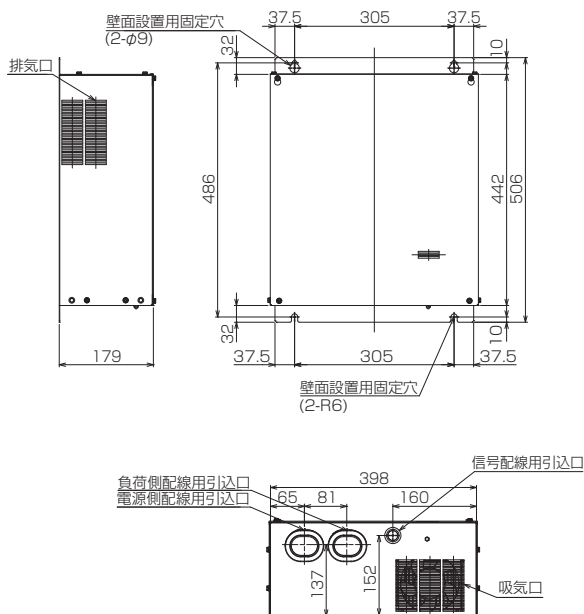
- PUZ-ZRP224 ~ 280KA8
- PUZ-ERP224 ~ 280KA8

仕様

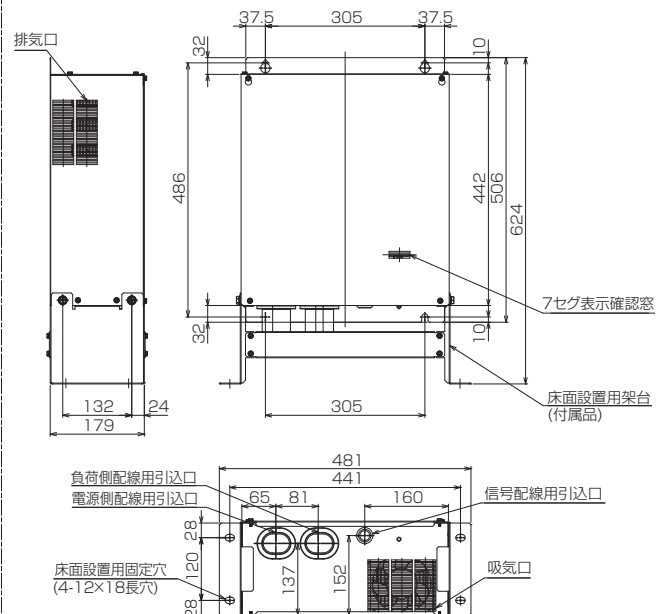
形名	PAC-KR51EAC		高調波低減	5次:3.0%以下、7次:1.8%以下、11次:1.8%以下、13次:1.3%以下、17次:1.6%以下、19次:1.2%以下、23次:1.4%以下、25次:1.1%以下
電源	定格 三相 200V (50/60Hz)			
周囲温度	使用周囲温度: -20℃~45℃ 保存周囲温度: -25℃~60℃			
定格補償容量	5kVA			
損失	250W ※定格負荷時、電源環境により変動あり		質量	15kg

外形図 (単位: mm)

本体制御箱外形図



床面設置用架台使用時



電源	3~ 200V±10% 50/60Hz
使用環境	温度: -20℃~45℃ 湿度: ~95%RH
定格補償容量	5kVA
定格負荷	特定需要家向けガイドラインの回路分類K33で13kW
高調波残存率 (定格負荷時)	5次:3.0%以下 7次:1.8%以下 11次:1.8%以下 13次:1.3%以下 17次:1.6%以下 19次:1.2%以下 23次:1.4%以下 25次:1.1%以下
製品質量	15kg

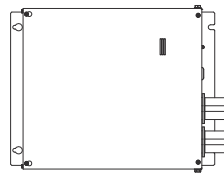

- 注1. 保守スペース・吸気・排気スペースとして、各面に150mm以上確保します。
- 注2. 本品は屋内設置構造です。機械室または盤内に設置し、水がかからないようご注意ください。また結露環境には設置しないでください。
- 注3. 接続する電源は、電圧不平衡率3%以下(JIS C 4421)を目安としてください。不平衡率が大きい場合、機器の能力が低下します。
- 注4. 動作中は、ACLからのシャリシャリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するような場所には据付しないようご注意ください。
- 注5. 据付には、M8ボルトをご使用ください。

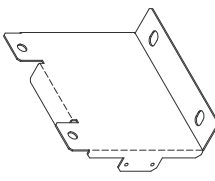
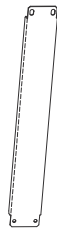
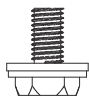
(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

この機器は以下の部品で構成されています。ご確認ください。

部品名	本体制御 BOX	据付・取扱説明書 (本書)	コネクター配線 (空調機間番号配線用)
概形図			6Pコネクター 5Pコネクター 3Pコネクター
個数	1	1	1

部品名	床面設置用架台板金	架台接続板金	ネジ (架台接続板金用Mネジ)
概形図			
個数	2	2	8

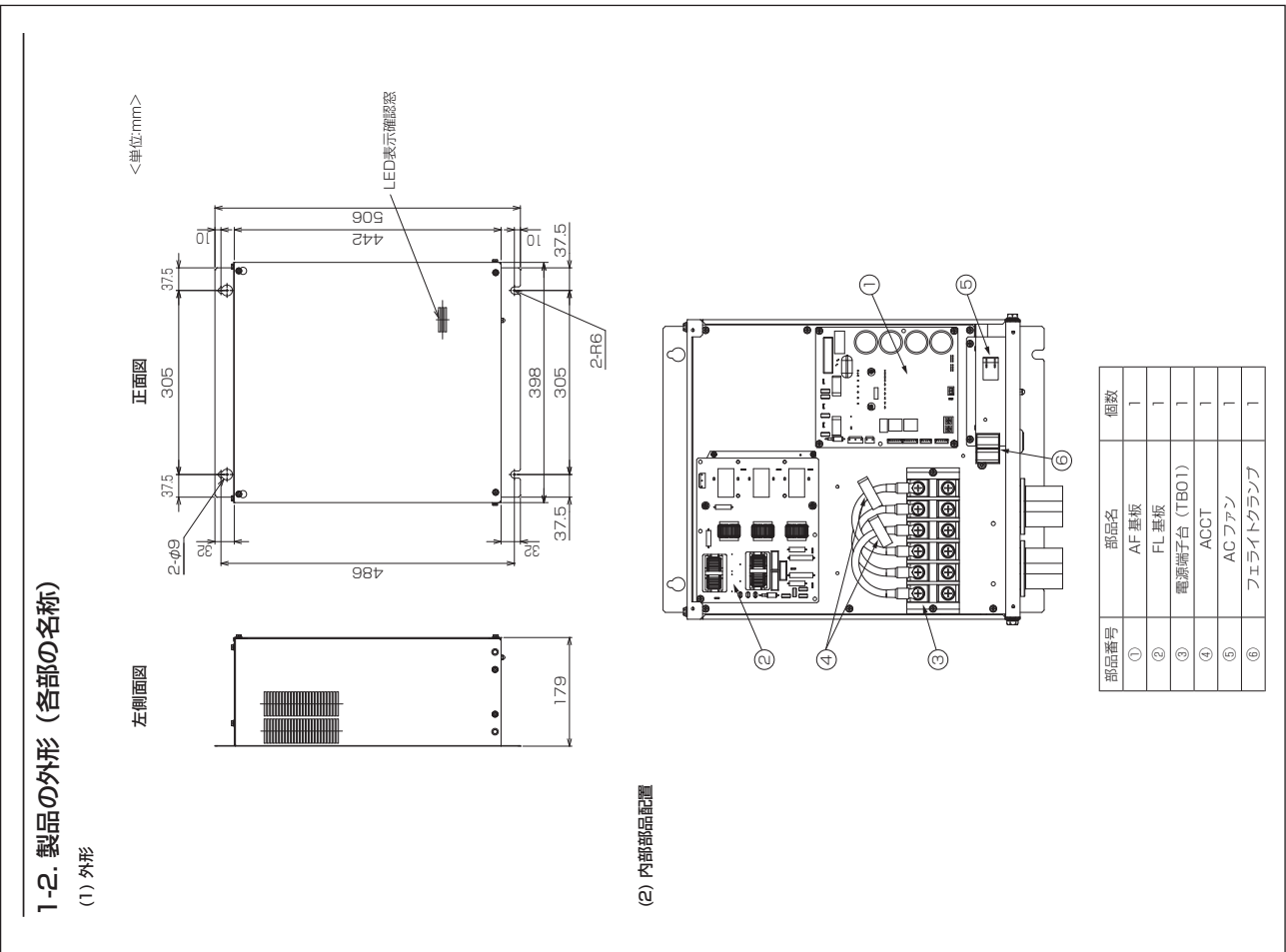
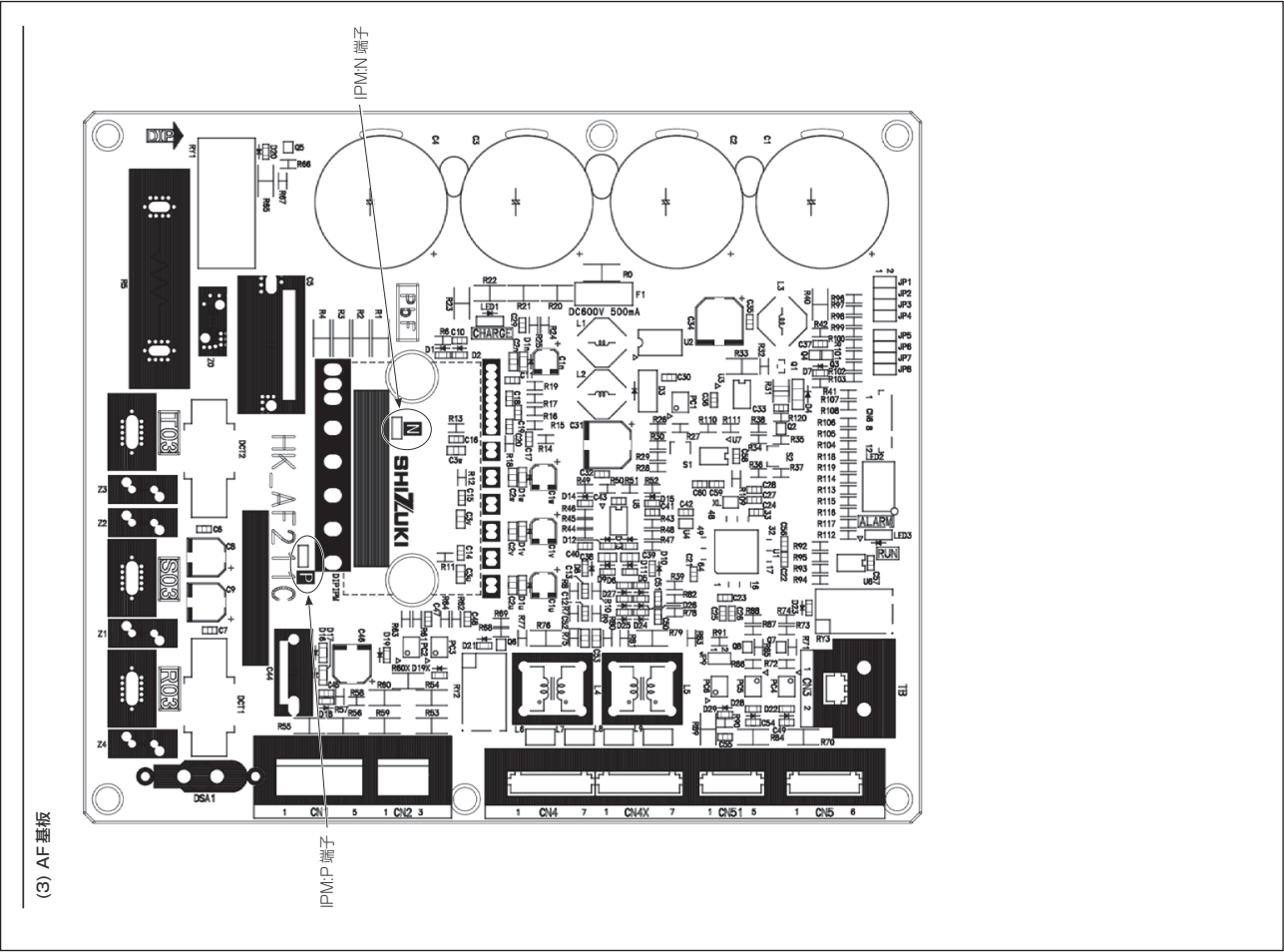


三菱電機 エアコン
別売部品 業務用
アクティブフィルター
形名
PAC-KR51EAC

据付・取扱説明書

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
・ご使用前に、この据付・取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この据付・取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要に応じてお読みください。
・「据付・取扱説明書」は大切に保管してください。
・室外ユニットに別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
・お客様自身では、据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
・この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

WT07394X02



3. 据付場所の選定

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところにユニットを設置しないこと。



据付禁止

可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

製品を可燃物に取り付けられないこと。



据付禁止

引火・火災のおそれあり。

専門業者以外の方が触れるおそれがあるところに機器を設置しないこと。



据付禁止

機器損傷・故障・感電・火災のおそれあり。

3-3-1. 据付場所の環境と制限

- ・本アクティブフィルターは、屋内設置構造です。
- ・本アクティブフィルターは、別置形です。室外ユニット本体の内蔵およびパネルへの取付けはできません。
- ・使用温度範囲は-20℃～45℃です。収納場所が温度範囲内に収まるようご検討ください。特にアクティブフィルターは定格運転時220W以下の損失が発生し、周囲温度を上昇させる原因となりますので、注意してください。
- ・配線取出口の開口部は閉鎖材など（現地手配）で必ず塞いでください。
- ・機材室または器内に設置してください。
- ・結露環境に設置しないでください。また水の掛からない場所に設置してください。
- ・アクティブフィルター動作中は、ACLからのシャリシャリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するようは場所には据付しないようご検討ください。

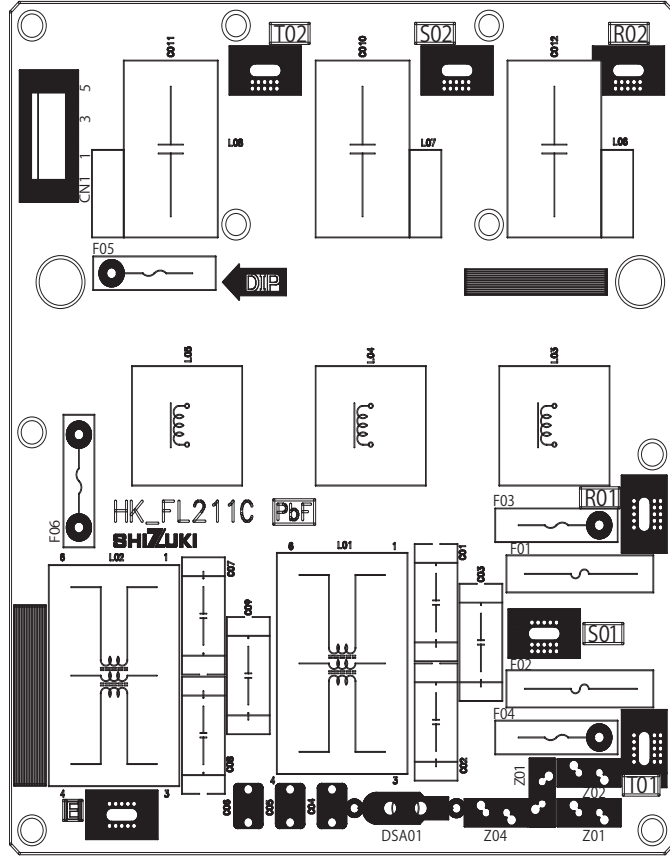
3-3-2. 必要スペース

- ・アクティブフィルターの各面は150mm以上他の機器および壁面と離してください。特に高温の機器と隣接させる場合には十分な距離を確保してください。アクティブフィルターの正面はメンテナンス用のスペースを確保してください。
- ・アクティブフィルターを複数台設置する場合には、上記距離を確保し、設置してください。アクティブフィルターは下部吸込み、左側面上部強制排気となるため、左側の機器が熱せられ、機器の寿命低下および故障の原因となります。

3-4. 保守・点検に関する事項

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全かつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

(4) FL基板



1-3. 製品の運搬

据付工事全般に対する注意事項

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ・けがのおそれあり。



運搬禁止

- ・本製品の重量は約15kgです。
- ・製品を運搬する際は本体をしっかりと持ち運んでください。
- ・製品に衝撃が加わらないようにしてください。

2. 使用箇所（据付工事の概要）

2-1. 使用部品の取付位置

壁面設置の場合、同梱部品の取付はありません。床面設置の場合、「床面設置用架台板金」を取付けてください。「床面設置用架台板金」の取付け方法は、4-1-2を参照ください。

4. 据付工事

強風・地震に備え、所定の据付工事を行

- うこと。
- ・不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。



配線取出し口の開口部は、塞ぐこと。

- ・小動物・塵埃・雪・雨水が内部に入り、機器が損傷・故障すると、漏電・感電のおそれあり。



(1) 据付要領

据付けに際し、工具としては、以下のものが必要となります。

- + ドライバ
- その他：据付固定に必要な工具

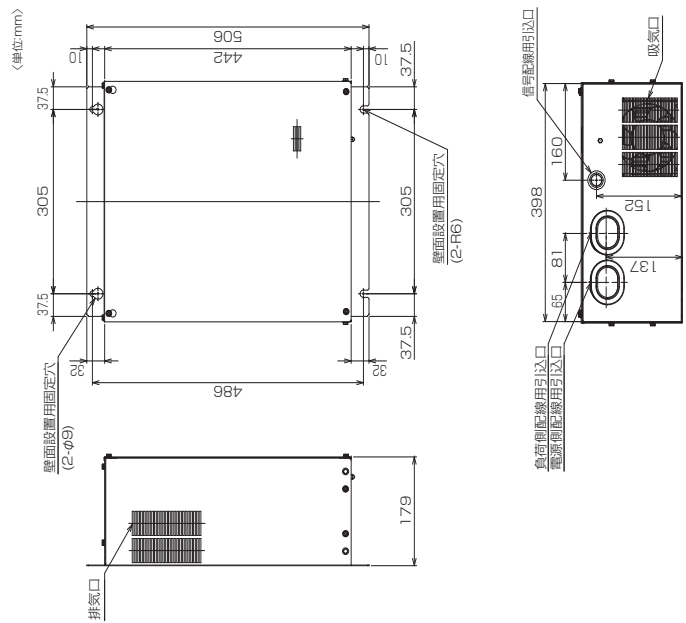
4-1-1. 建物工事の進捗と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

4-1-1-1. 壁面設置 (壁内設置)

据付けは、次の通り行ってください。

- ・据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・縦向き以外の取付けはできません。
- ・壁面接続には MB ボルト 4 本 (現地手配) を使用してください。アクティブフィルター本体の重量は約 15kg です。壁面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。(現地手配)



4-1-2. 床面設置

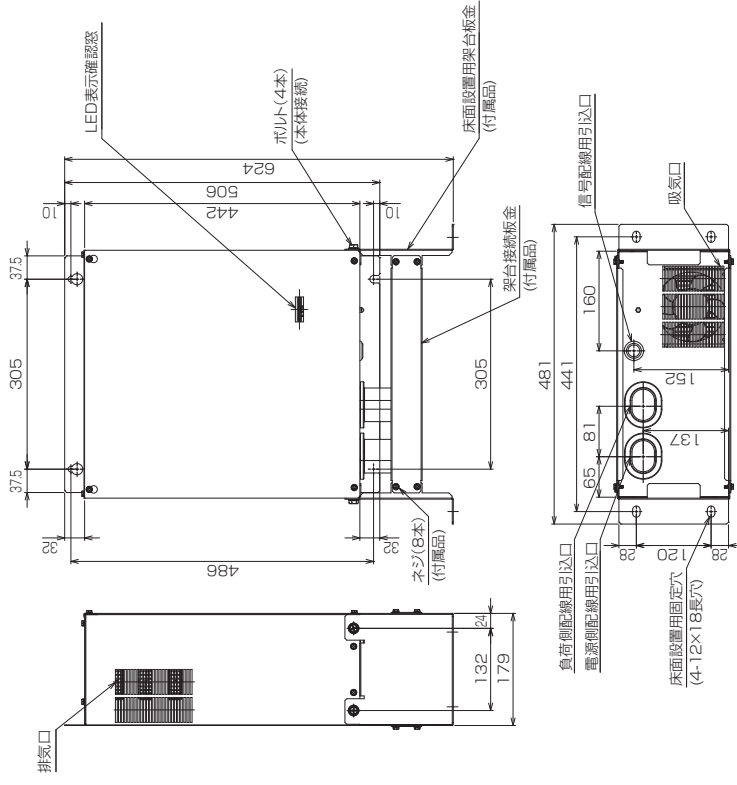
据付けは、次の通り行ってください。

- ・据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・縦置き以外の取付けはできません。
- ・床面接続には MB ボルト 4 本 (現地手配) を使用してください。アクティブフィルター本体の重量は約 15kg です。床面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。(現地手配)

手順

1. 下図のとおり床面に付属の床面設置用架台板金を取付ける。
2. 架台接続板金 (2個) にて2個の床面設置用架台板金の正面側、背面側を付属のネジ 8 本にて接続する。
3. この状態で、床面設置用架台板金に取付歪み等がないことを確認する。
4. アクティブフィルター本体両側面下部に付属のボルト 4 本を外す。
5. 本体制御BOXを下図のとおり床面設置用架台板金上に設置する。
6. 先ほど外したボルト 4 本でアクティブフィルター本体と床面設置用架台板金を接続する。

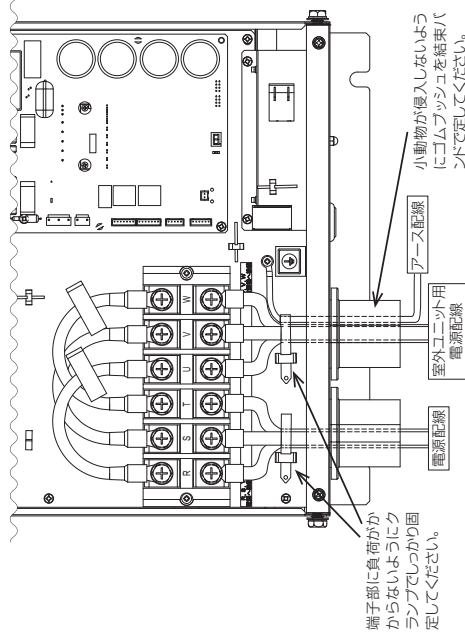
(単位:mm)



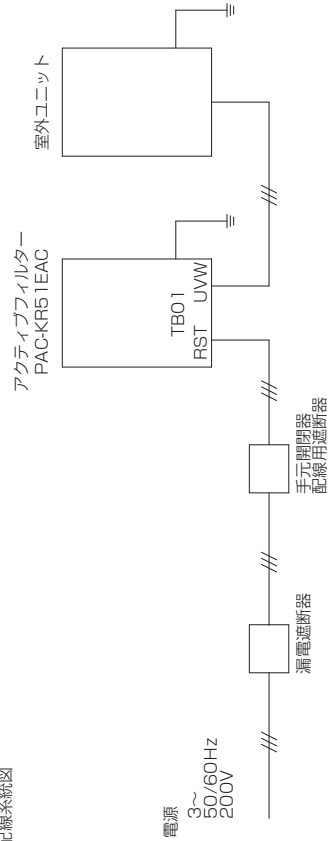
5-1-1. 電源配線方法

- ・「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付説明書に従ってください。
- ・アクティブフィルターおよび室外ユニットは、個別にD種接地工事を必ず実施ください。
- ・ユニット電源配線：端子台のR、S、Tに電源からの電源配線を接続。
端子台のU、V、Wから室外ユニット電源端子台に電源配線を接続。
D種接地工事を実施。

※ 必ず各相の相順を確認ください。



配線系統図



主電源およびアクティブフィルターと室外ユニット間の配線太さと開閉器容量
室外ユニットの取付説明書、システム設計・工事マニュアルに従ってください。
取付可能な室外ユニット台数は1台となり、また定格は13kWまでです。
規定以上の室外ユニットを取り付けた場合、アクティブフィルター破損の要因となります。
13kWを超える室外ユニットを取り付けた場合、高調波を適切に制御できなくなります。

5. 電気工事

5-1. 電気配線工事

電気工事に対する注意事項

<p>雨天の場合、サービスはしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショート、漏電、感電、故障、発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>工事完了後、電源端子部で絶縁抵抗を測定し1MΩ以上あることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故障、漏電、火災のおそれあり。 <p>指示を実行</p>
<p>保護具を身に付けて操作すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各基版の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。 ・主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。 <p>感電注意</p>	<p>D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感電・ノイズによる誤動作・発煙・発火・火災・腐食のおそれあり。 <p>アース接続</p>
<p>電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>指示を実行</p>	<p>配線端子のネジは規定のトルクで締めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネジ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>発火注意</p>

【お願い】

- ・ねじ類の締め付けは、確実に実施してください。

5-1-2. 駆動方法の選択

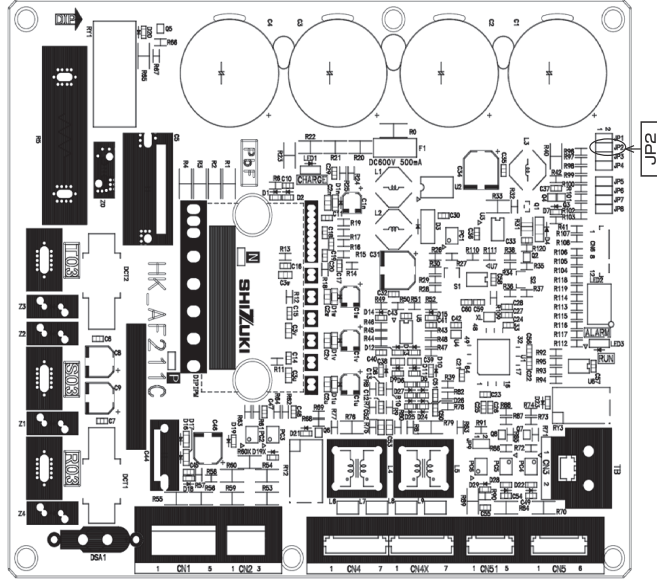
アクティブフィルターの運転/停止方法は以下の2種類から選択し、5-1-3. 項又は5-1-4. 項にて設定をお願いします。
 (1) 負荷電流運動: 室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、運転後4A以下にて停止する。
 (2) 空調機完全運動: 室外ユニットと室外機信号線を接続し、圧縮機の運転に連動してアクティブフィルターの運転/停止を制御する。

* 各方法には制約事項がありますので、ご注意ください。
 外部に信号を出力する場合は、「5-1-6. 外部出力仕様」を確認ください。

	基板上設定	室外ユニット側信号配線	室外ユニット側基板設定	異常表示
負荷電流運動	JP2 短絡	必要	不要	本体LEDのみ
空調機完全運動	JP2 オープン	必要 (現地手配)	必要	本体LED、 空調リモコン

5-1-3. 詳細設定: 負荷電流運動を選択の場合

- (1) AF 基板設定
 AF 基板上 JP2 に短絡コネクタが接続されていることを確認してください。
 (出荷時、短絡コネクタ接続)



(2) 室外ユニット間信号配線

アクティブフィルターと室外ユニットを接続する信号配線はありません。

(3) 室外ユニット側基板設定

室外ユニットにおける設定は、ありません。
 ※ 以上のよう設定することにより、室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、4A以下にて停止することができます。ただし、アクティブフィルターの検知する異常は室外ユニット用リモコンに表示しません。AF基板上LED表示、または外部出力信号を確認ください。
 また、AF基板上LED表示は、右に90°傾いた表示のため注意してください。
 (表示例)

- ・ 異常 LED 表示 '3' の場合、「」
- ・ 異常 LED 表示 'C' の場合、「」

[1] ネジ締め時、安全のために必ず守ること

配線端子のネジは規定のトルクで締めること。

- ・ ネジ締め・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

- ・ アクティブフィルター電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは下記トルクで確実に締めてください。

【ネジ締めトルク】

端子台 (TB01)・・・M8 ネジ: 6 ~ 7N・m

また、スプリングワッシャーが平行状態となっていることを確認してください。

※ネジが噛み込んだ場合は、規定トルクでネジ締めをしただけでは正常判断できません。

ねじ緩みがある状態



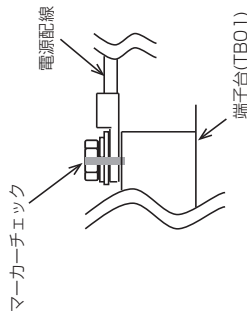
正常取付状態



スプリングワッシャーが平行状態

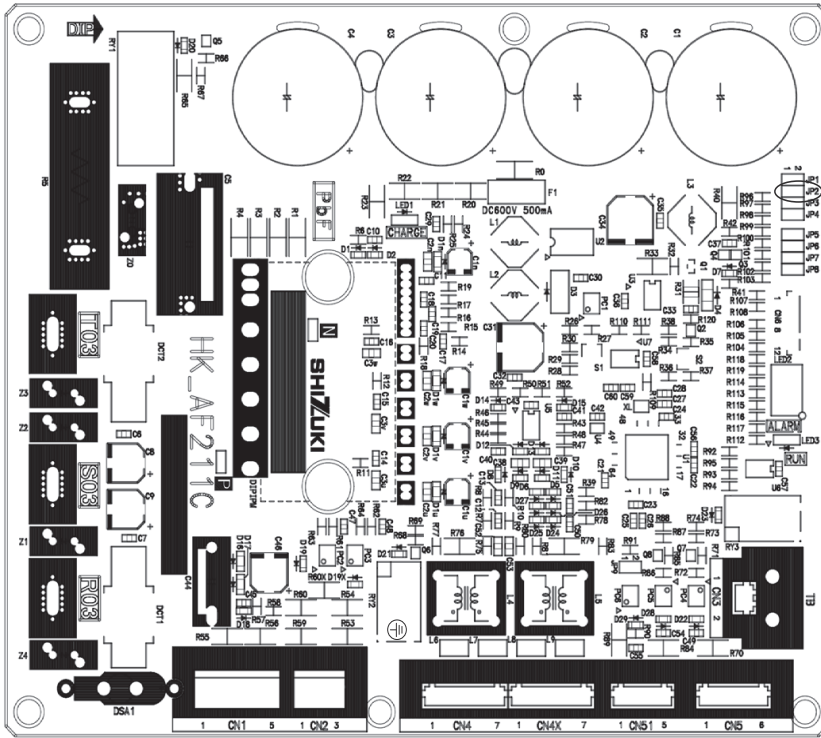
- ・ 斜め締めによりネジ山を潰すことのないよう十分に注意ください。

- ・ 仮締め後の本締めにネジ山を潰れることを防止するために、本締め後に油性マジックでネジ頭、ワッシャー、端子にチエックを入れてください。



5-1-4. 詳細設定：空調機完全連動を選択した場合

- (1) AF基板設定
出荷時はAF基板JP2に短絡コネクタが接続されています。
室外ユニット完全連動のため、短絡コネクタを取外してください。



(2) 室外ユニット間信号配線

- 電気配線図および付属の「コネクタ接続について」を参考に配線してください。
 - アクティブフィルターとの空調機間信号配線は付属コネクタ配線（約15cm）を使用し、機器間の配線は現出手配としてください。（導体断面積0.14mm²：AWG26以上、配線長200m以下とすること）
 - 各配線は付属コネクタ配線との接続部にて絶縁処理を確実に実施ください。
 - 室外ユニット間信号配線のAF基板側は、ユニット下部の穴より配線し、1-2.(2)構造の内部部品配置図に示したAF基板左下に位置するフェライトクランプに2ターニング巻き、配線クランプで固定してから、基板に接続ください。
 - またノイズによる振動作防のため、電源配線とは離して配線し、同一電線管内に入りたり、沿わせたりせず、独立して配線してください。
- ※2ターニングとは、下図のように、フェライトクランプに配線を2回通してください。



- ※ Mr.SLIM機種（PU-**-**）に本アクティブフィルターを接続する場合
室外ユニット間信号配線およびSW設定等については、別紙「Mr.SLIM接続説明書」に従って接続してください。
- ※コネクタ接続について
室外ユニット間信号配線の室外ユニット制御基板側の3種コネクタ配線は、スノーセンサー/ナイトモード/デマンドの3種類の入力信号の内の1つを選択することができます。

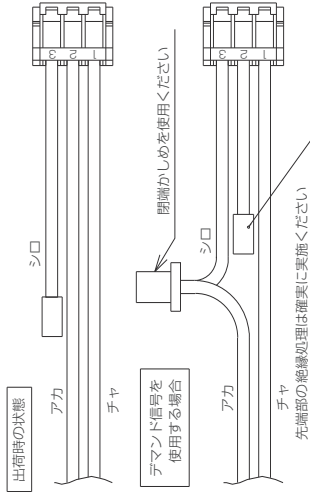
どの信号部をアクティブフィルター用として使用するかにより、下表のように接続変更してください。なお、アクティブフィルター制御に使用した入力信号部の機能は使用できなくなりますが、残りの機能は従来通り使用可能です。

使用入力信号	コネクタ位置	使用ピン位置	ピン位置変更
スノーセンサー	CN3S	1-2ピン	なし
ナイトモード	CN3D	1-2ピン	なし
デマンド	CN3D	1-3ピン	2ピン→3ピン

デマンド入力信号を使用する際には、ピン位置の変更が必要です。ピン位置の変更は、配線のつなぎ換えにて実施ください（下図参照）。

その際、配線の接続部および先端部の絶縁（テーピング）処理は確実に実施してください。
また、CN51部の外部出力信号（圧縮機ON/OFF出力および異常出力）を従来の用途で使用する場合には、AF基板上のCN51が渡り配線構成となっていますので、室外ユニット制御基板上のCN51の代わりにAF基板上のCN51を使用してください。

*デマンド入力信号使用時：空調機間信号配線3種コネクタの配線つなぎ換え要領



(3) 室外ユニット側基板設定

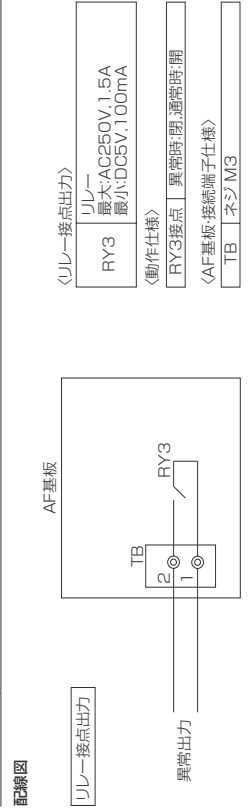
室外ユニットにおける設定は、以下のようにしてください。（必ず電源投入前に実施）

設定	室外制御基板 SW	CN51	接続	CN3D(CN3S)	接続
	3-8 ON	接続			接続

このように設定することにより、室外ユニットからの圧縮機ON/OFF信号に応じてアクティブフィルターをON/OFF制御すると共に、アクティブフィルターの稼働する異常をリモコン表示できるようになります。

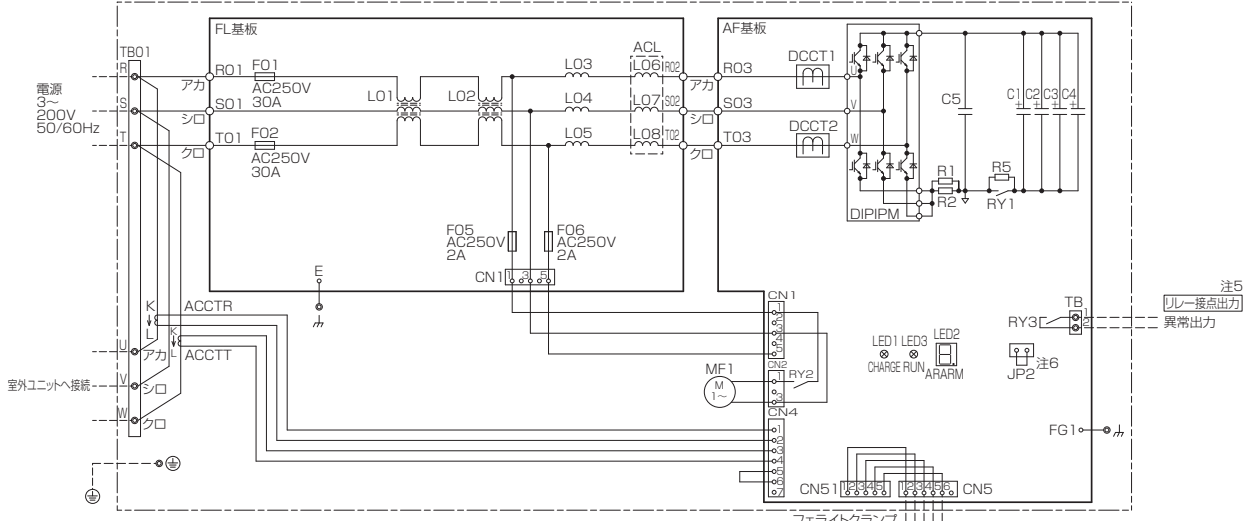
5-1-5. 外部出力仕様

- (1) 出力仕様
- | 機能 | 使用用途 |
|------|------------------------------|
| 異常出力 | 外部へアクティブフィルター異常状態の信号が取り出せます。 |
- (2) 配線図



5-1-6. 電気配線図

PAC-KR51EAC 電気配線図



AF基板上LED表示(LED2)と内容

LED表示	内容
0	ACCTコネクタ(AF基板-CN4)抜け
1	電源過電圧
2	電源不足電圧
3	直流母線過電圧(S/W検出)
4	直流母線過電圧(H/W検出)
5	直流母線不足電圧
7	IPMエラー(過電流、制御電源異常)
8	欠相/逆相
9	ACCT誤配線
A	瞬時停電
C	過電流
F	周波数(同期)異常
H	IPMエラー(過熱)
P	パワーリレー接点異常

- 注1 破線は現地配線を示します。
- 注2 一点鎖線は制御箱境界を示します。
- 注3 製品内には、多数の高電圧充電部がありますので、製品内の点検は、必ず電源を切り、10分以上放置後、IPMのP/N端子部の電圧が十分に下がっていること(DC20V以下)を確認してから行ってください。
- 注4 製品内には多数の高電圧がありますので、電源遮断後も十分注意してください。
- 注5 異常信号を外部出力する場合は、TBのリレー接点出力を使用してください。最大 AC250V, 1.5A 最小 DC5V, 100mA
- 注6 アクティブフィルターの起動方法による設定および接続の違いは右表「起動方法と設定および接続」を参照してください。
- 注7 連係配線使用時は、室外ユニットの插付取扱説明書に従ってください。

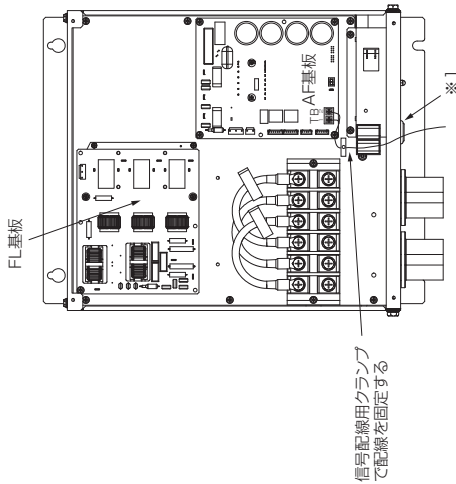
記号	名称
ACCTR, ACCTT	電流センサー
DCCT1, DCCT2	送風機用電動機(放熱板)
MF1	アース端子

＜起動方法と設定および接続＞

運転/停止方法選択	AF基板 JP2	連係用配線
負荷電流連動 注8	短絡	無
空調機完全連動	オープン	有

注8 負荷電流連動の場合には、空調機接続のリモコンはアクティブフィルターの異常表示はしません。

- (3) 配線方法
- AF基板の端子台TBに、使用用途に合わせてそれぞれ番号線を接続します。このとき番号線には丸端子(M3)を圧着し端子に接続してください。
- ※ 接続する配線は、電源配線と離して配線してください。
- ※ 接続するケーブル、ランプ等は、リレー接点出力を満足するものを現地手配してください。



※1 製品下部の信号配線用引込口(P.14参照)を通して外部に出します。

7. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

7-1. 試運転の方法

(1) 運転制御

アクティブフィルター運転中は、電源入力電流が正激波になるように制御します。また、アクティブフィルター運転中は、AF基板上のRUN(LED3)が点灯します。

- ・ 負荷電流変動を選択した場合
アクティブフィルターは室外ユニット制御基板に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、運転後4A以下にて停止します。
- ・ 空調機完全運動を選択した場合
運転・停止に依る信号は、以下のような状態になります。

運転指令信号 (室外ユニット制御基板CN51の圧縮機ON/OFF出力信号)

運転指令信号	AF基板CN5-3P(+), 4P(-)間電圧
運転指令	約12V
停止指令	約0V

運転状態信号 (室外ユニット制御基板CN3D/3Sのデマンド/ナイト/センサー入力信号)

運転状態信号	AF基板CN5-1P(+), 2P(-)間電圧
AF運転中	2~3V
AF停止中	約12V

基本的な動作状態は、以下ようになります。

部 位	室外ユニット停止中		室外ユニット運転中	
	正常運転中	異常リトライ待ち中	正常運転中	異常中
コンタクター(AF基板)	ON	ON	ON	OFF
ACファン	ON	ON	ON	OFF
アクティブフィルター制御動作	ON	OFF	ON	OFF
運転状態信号 RUN (LED3)	ON	OFF	ON	OFF

7-2. 試運転中の確認事項

7-2-1. 運転動作確認

保護具を身に付けて操作すること。



- ・ 各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
- ・ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

電源投入中には基板その他電気部品に直接手を触れないこと。触れる場合は必ず電源を切断後10分以上待ち、AF基板CHARGE(LED1)が消灯していることを確認すると共に、IPMのP, N端子間(P・8参照)の充電電圧が十分に低いこと(20V以下)を確認してから実施ください。
据付工事時に、電源相を正しく接続しており、異常発報がなくAF基板上のRUN (LED3) が点灯しアクティブフィルター本体より運転音(シャリヤリ音)がしている場合は、正常動作と考えられますが、さらに詳細に調べる場合は、運転中に以下のような方法で行ってください。

- 1) オシロスコープにて電源端子部にて線間電圧確認
波形の線間アンバランスが小さく、電圧=0V近傍に著しい歪みがないこと
- 2) 電流プローブ+オシロスコープにて、電源入力電流波形確認
各相電流波形がほぼ正弦波状であること
- 3) 高調波モニター機器(指月電機製: HM 5600等)にて電源入力電流高調波測定
各相電流とも5次高調波歪みが基本波成分の10%以下であること
波形モニターにて、各相電流波形がほぼ正弦波状であること

7-2-2. 想定内動作

以下のような動きは、異常(想定外動作)ではありません。

動作	原因
運転中シャリヤリ音が聞こえる	高調波電流により、内部のACLから音が発生します。
起動時に高調波抑制量が少ない	過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。
負荷急変時に高調波抑制量が減少することがある	10秒程度で通常運転となります。
LEDに異常表示されるが約5秒後に運転再開する	過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。
アクティブフィルター停止中もACファンが回り続ける	内部異常検知に対し、リトライ機能を持たせています。 5回連続して検知した場合、異常停止状態となります。 リトライ停止中(約5秒間)は、ACファンを回し続けます

7-2-3. 異常表示

異常は、アクティブフィルターが検知するものと、室外ユニットが検知するものの2種類があります。ただし、負荷電流変動を選択した場合、室外ユニットにて異常検知および表示はしません。

アクティブフィルターが検知する異常 (AF制御基板上LED (LED2) での詳細確認内容)

LED表示は右に90°傾いた表示となるため、確認時注意してください。

アクティブフィルター検知異常 (LED表示)	異常内容
0	ACCT コネクター (AF基板-CN4) 抜け
1	電源過電圧 (AC250V以上)
2	電源不足電圧 (AC160V以下)
3	直流母線過電圧 (S/W検出、DC390V以上)
4	直流母線過電圧 (H/W検出、DC420V以上)
5	直流母線不足電圧 (DC201V以下)
7	IPMエラー (過電流81.8~92.7A、制御電圧10.3~12.5V)
8	欠相/逆相
9	ACCT 誤配線
A	瞬時停電
C	過電流 (S/W検出: 62.5A以上3回連続、H/W検出: 85A以上1回)
F	周波数(同期)異常
H	IPM 過熱エラー (95℃以上)
P	パワーリレー接点異常

アクティブフィルターにはリトライ機能(最大4回)があります。上記異常を検知した場合、約5秒間停止した後リトライ運転を行います(この時、室外ユニットは停止しません)。リトライ運転を実施しても同種の異常が5回連続する場合(異常猶予期間は起動後90秒間)、アクティブフィルターは異常停止し、運転信号状態が「停止」(=室外ユニットがアクティブフィルター異常検知)となります。(室外ユニットは停止しません)
異常停止後は、不具合補修し、電源再投入してください。

室外ユニットが検知する異常 (室外ユニット完全運動を選択の場合のみ検知)

M/NET系表示異常	異常コード	異常内容
異常猶予	0C-4171	アクティブフィルター異常検知(上記)
異常	0C-4121	インターフェース異常(運転状態信号不整合: コネクター抜け等)

1) 度目の異常検知では異常猶予となり、室外ユニットが一全停止し、3分後に再起動をします。異常猶予期間は10分で、猶予期間中に再度異常検知した場合アクティブフィルターが異常停止となります。なお、リモコンには異常コードが表示されますが、室外ユニットは運転を継続します。
Mr.SLIM線種の異常表示は、別紙「Mr.SLIM接続説明書」で確認してください。

応急運転 (室外ユニット完全運転を選択の場合のみ)
 応急運転としては、以下の方法があります。目的に応じて、適用ください。


応急運転動作	室外ユニット制御基板	AF 基板
AF 搭載設定 SW ※	CN5-1	CN3S(CN3D)
AF 異常無損	SW3-8 OFF	未接続
AF 常時運転	SW3-8 OFF	未接続
AF 停止	SW3-8 OFF	未接続

AF 異常無損では、室外ユニットの圧縮機 ON/OFF 出力信号に応じてアクティブフィルタが動作しますが、アクティブフィルタが異常停止しても室外ユニットは運転を継続します。
 アクティブフィルタの異常は、通常どおり AF 基板の LED (LED2) により判定することができます。
 ※ Mr.SLIM 機種の設定 SW は、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」で確認してください。

7-2-4. 異常状態とメンテナンス

保護具を身に付けて操作すること。

・各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
 ・主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

異常状態は電源を切る前に AF 基板上の LED(LED2) 表示により確認できます。
 以下の表により、現象別に上段から順に確認し、対応をとってください。

分解作業は、電源を切ってから 10 分以上待って、AF 基板上 CHARGE(LED1) が消灯していることを確認すると共に、IPM の P、N 端子間 (P.4 参照) の充電電圧が十分低いこと (20V 以下) を確認してから行ってください。

異常現象	推定原因	調査方法	調査 NG 時対応
4121 異常 LED 表示 : "0"	コネクタ抜け・接触不良 電源環境不良	CN4 接続確認 CN4-5P:6P 短絡線確認 再運転	不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換
4121 異常 LED 表示 : "1", "2", "3", "4", "5"	配線はずれ 突入電流防止抵抗不良	機器内の配線接続確認 AF 基板にセメント抵抗値 $\approx 10 \Omega$ 再運転	不具合部補修 AF 基板交換
4121 LED 表示 : "7"	AF 基板不良 ACCT 不良 主リアクトル不良	抵抗チエック (※ 1) 各リアクトルの抵抗チエック (※ 2) 地絡確認 再運転	AF 基板交換 ACCT 交換 FL 基板交換
4121 LED 表示 : "8"	誤検知・誤動作・他 電源環境不良	電源電圧確認 (※ 4) 再運転	AF 基板交換 AF 基板交換
4121 LED 表示 : "9"	電源配線の 主回路ヒューズ切れ LED 表示 : "C" に同じ	電源接続状態確認 ヒューズ同端導通確認	不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項目へ
4121 LED 表示 : "A"	誤検知・他 取付位置不良	電源電圧確認 (※ 4) 据付説明書確認	不具合部補修
4121 異常 LED 表示 : "C"	ACCT 不良 電源環境不良	抵抗チエック (※ 1) 電源電圧確認	ACCT 交換 (※ 3)
4121 異常 LED 表示 : "F"	AF 基板不良 電源環境不良	電源発生確認 電源周波数確認 定格 $\pm 5\%$ 以内	AF 基板交換

取付説明書

高調波対策用アクティブフィルタ : PAC-KR51EAC

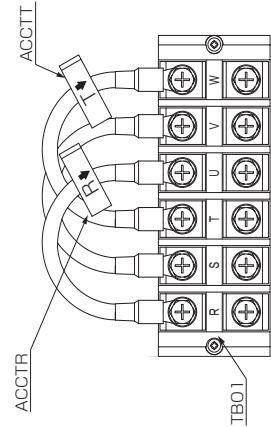
異常現象	推定原因	調査方法	調査 NG 時対応
4121 異常 LED 表示 : "H"	AC ファン不良 風扇閉塞 接触不良 駆動回路不良 電源配線の欠相 主回路ヒューズ切れ ヒューズ切れ確認 信号配線コネクタ抜け AF 基板不良・他 地絡 対地間抵抗 $> 1 M \Omega$ FL 基板不良 AF 基板不良	コネクタはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 CN1, CN2 確認 運転時 CN2:1P:3P 間配線なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 CN3D CN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 $> 1 M \Omega$ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認	不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換
ブレーカ遮断	電源回路不良 地絡 室外ユニット側不良	対地間抵抗 $> 1 M \Omega$ アクティブフィルタの電源接続をはずして運転	FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因
特性不良	電源不良 ACCT 不良 主リアクトル不良 AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接続不良 電源電圧波形確認 電源インピーダンス	電源不良 (※ 1) 抵抗チエック (※ 1) 各リアクトルの抵抗値チエック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認	個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 個別対応 (電源) 不具合部補修 FL 基板交換 個別対応 (電源)

※ 1 ACCT 故障判定
 CN4 コネクタを外し、端子間抵抗チエック : $110 \Omega \pm 20 \Omega$
 1-2pin 間 (U相)
 3-4pin 間 (W相)

※ 2 リアクトル抵抗チエック
 FL 基板を取り外し、リアクトル側 (基板裏側) のリード部に確認。
 3 つの抵抗値がバラバラしている事を確認。

※ 3 ACCT 交換
 ・ 交換時、ACCT の向きに注意してください。
 ・ 交換後、電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは所定のトルクで確実に締めてください。(P.19 参照)

※ 4 電源の電圧アンバランスが 3% (JIS C 4421) を超える場合、「IPM エラー」[欠相 / 逆相] 異常が発生する可能性があります。

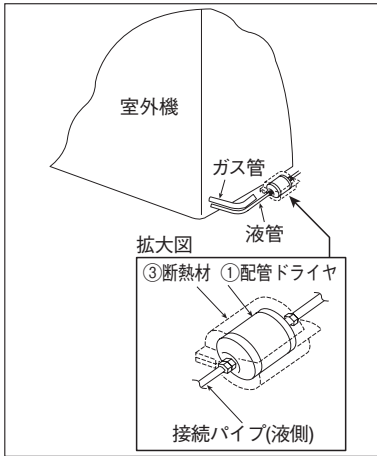


電圧アンバランス = $\frac{\text{最大線間電圧} - \text{最小線間電圧}}{\text{平均線間電圧}} \times 100 [\%]$

配管用ドライヤ

- PAC-SG81DR
- PAC-SG82DR
- PAC-SG85DR

使用目的 / 用途



- “配管用ドライヤ”は、冷媒配管内の水分などを取り除き、毛細管詰まり・圧縮機の故障を防止するために取り付ける部品です。
- 水分混入量等、冷媒回路内の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3～7cc)

注意

・本品は冷媒配管の液側(細い方)途中にフレア接続にて取り付けてください。

対象ユニット

【PAC-SG81DR：液管φ6.35用】

【PAC-SG82DR：液管φ9.52用】

【PAC-SG85DR：液管φ12.7用】

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA
- PUZ-ERP40～63(S)KA8
- PU-CRP40～63(S)KA8

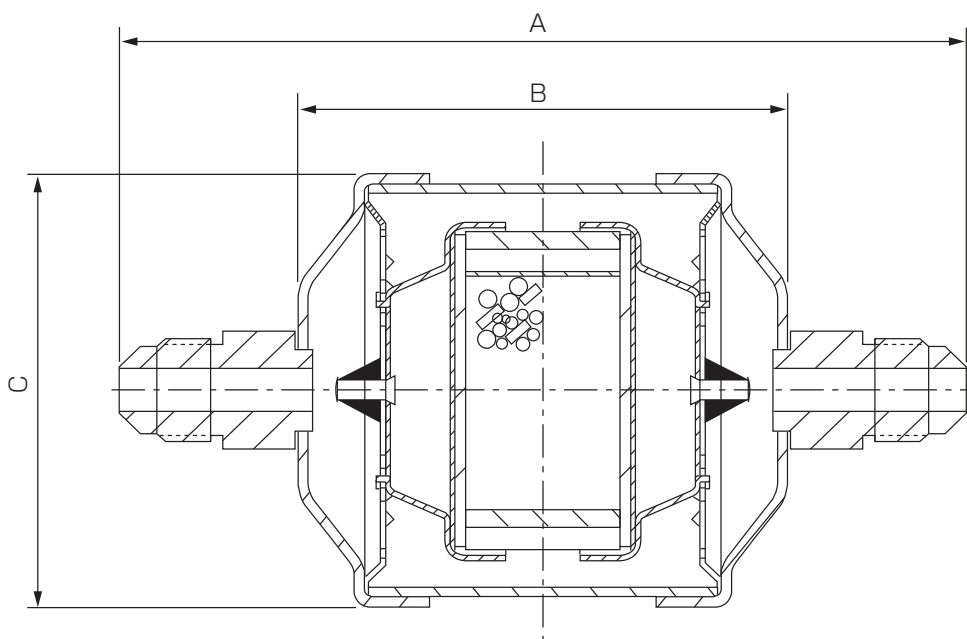
- PUZ-ZRMP80(S)HA,ZRMP112～160KA
- PUZ-ZRP224KA8
- PUZ-ERP80(S)HA14,ERP112～160LA3
- PUZ-ERP224KA8
- PU-CRP80(S)HA14,CRP112～160LA3
- PUZ-HRP80～160HA14

- PUZ-ZRP280KA8
- PUZ-ERP280KA8

仕様

形名	PAC-SG81DR	PAC-SG82DR	PAC-SG85DR
配管サイズ	液側 φ6.35 フレア	液側 φ9.52 フレア	液側 φ12.7 フレア
適用冷媒	R407C / R410A / R32		

外形図 (組立図) (単位：mm)



形名	接続部	A	B	C
PAC-SG81DR	1/4(φ6.35)フレア	122±1.6	76±1.5	φ67±0.8
PAC-SG82DR	3/8(φ9.52)フレア	151±1.6	97±1.5	φ67±0.8
PAC-SG85DR	1/2(φ12.7)フレア	177±1.6	117±1.5	φ80±0.8



三菱電機パッケージエアコン別売部品 据付工事説明書

Mr. SULLUM 配管ドライヤ (代替フロン用)


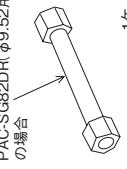
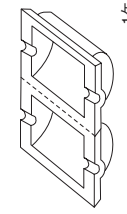
形 名
PAC-SG81DR 液管外径φ6.35用
PAC-SG82DR 液管外径φ9.52用
PAC-SG85DR 液管外径φ12.7用

(据付け前に必ず室外ユニットに付属されている
据付工事説明書の指示に従ってください。)

取付要領 (下記の説明をよく読んで組み込んでください。)

- ご注意**
- この別売部品は、冷媒配管内の水分を取り除き圧縮機の故障を防止するために取付ける部品です。ただし、水分混入量等冷媒回収時の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3~7cc)
 - 配管ドライヤは、冷媒配管の液側の途中にフレア接続にて取付けてください。
 - 配管ドライヤは、ユニット外への取付けが可能です。ユニット内への取付けの場合は、取付けスペースが確保できる場合のみ可能となります。

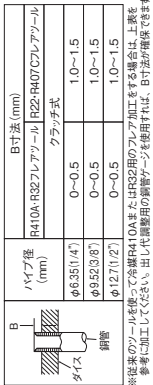
この箱の中には、この説明書他に下記の部品が入っていますのでご確認ください。

①配管ドライヤ	②接続パイプ	③断熱材
 1ヶ	 1ヶ PAC-SG81DR(φ6.35用) の場合 PAC-SG82DR(φ9.52用) の場合 または PAC-SG85DR(φ12.7用) の場合	 1ヶ

1 取付準備

- 室外機のパネル取外し、冷媒配管及び、真空引き等の要領はユニットの据付工事説明書を参照ください。
- パネル取外し
 - サービスパネルとカバーを取外してください。
- 配管接続
 - 配管を曲げる際、曲げR(R100~R150)を充分にとり、折らないように注意してください。
 - 配管は圧縮機に接触しないように施工してください。(集塵、振動の原因になります)
 - 現場対応の接続パイプはフレア加工をしてください。
 - フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を薄く塗付してください。

銅管外径(mm)	フレア部加工寸法φA(mm)	パイプ径(mm)	B寸法(mm)
φ6.35	8.7~9.1	φ6.35(1/4")	0~0.5
φ9.52	12.8~13.2	φ9.52(3/8")	0~0.5
φ12.7	16.2~16.6	φ12.7(1/2")	0~0.5



銅管外径(mm)	銅管力(N・m)(kgf・cm)
φ6.35	1.4~1.8(1.40~1.80)
φ9.52	3.4~4.2(3.40~4.20)
φ12.7	4.9~6.1(4.90~6.10)

(トルクレンチによる適正な締め付け)

*参考のツールを使って冷媒R410AまたはR32用のフレア加工をする場合は、上表を参考加工してください。出し代確認用の配管テープを使用すれば、B寸法が確保できます。

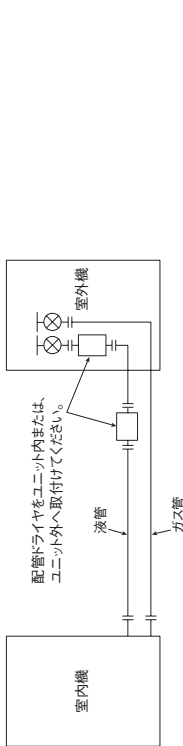
取付説明書

配管用ドライヤ : PAC-SG81DR, SG82DR, SG85DR

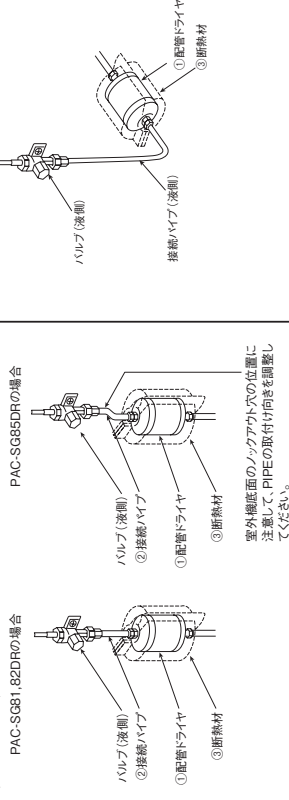
(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 配管ドライヤの取付け

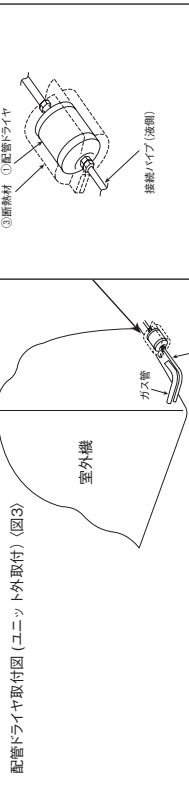
- 配管ドライヤをユニット内に取付ける場合には、スペースに応じて(図1,図2)を参照しドライヤを取付けてください。また、ドライヤ取付けのスペースがない場所には、ユニット外の取付けとなります。(図3)



配管ドライヤ取付図(図1) (ユニット内取付)



- ユニット外へ取付ける場合は延長配管の任意の場所に取付けてください。接続パイプは現場にて製作対応してください。



- 断熱工事(つゆ垂れ防止)
 - ドライヤ取付後、ドライヤ部分に断熱材を巻き付けてください。
 - ※断熱材の縫目にはテープピンを施して隙間が生じないように施行してください。
 - その他配管部分も断熱材を巻き付けてください。

- 以上で配管ドライヤの取付けは完了です。元通りにサービスパネル等を取付けてください。

4 試運転

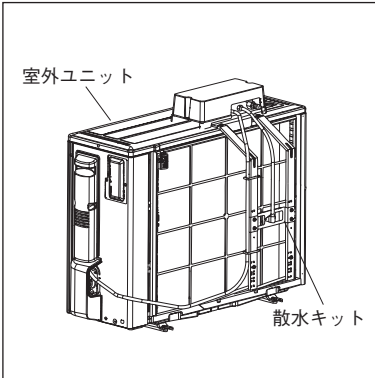
- ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行ない、ガス洩れチェック、運転チャェック、運転チャェックを必ず実施してください。

RG79N505H01

散水キット

● PAC-SJ12ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ～ 63(S)KA
- PUZ-ERP40 ～ 63(S)KA8
- PU-CRP40 ～ 63(S)KA8

仕様

形名	PAC-SJ12ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	1ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ 水圧：0.14 ～ 0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14 ～ 0.3MPa（硬質塩ビ管の場合） 水温：10 ～ 30℃		
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13		

消費電力削減値

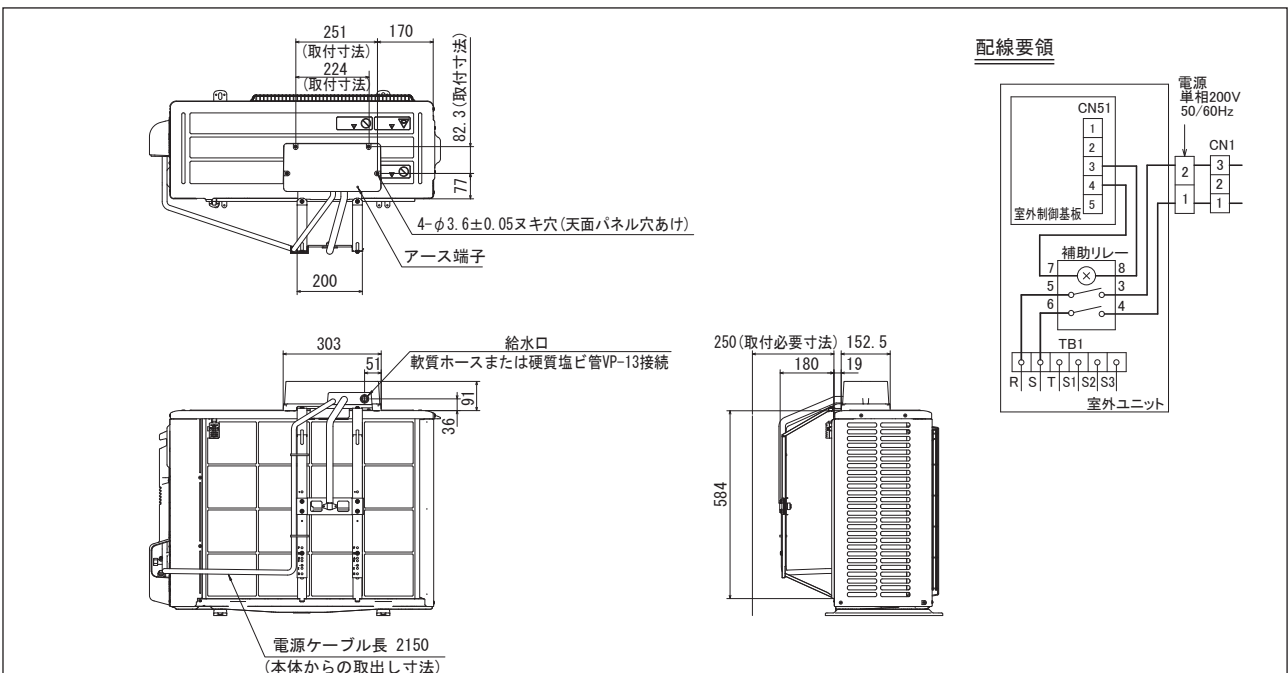
性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ（散水時）を示します。
（室外機形名 PAC-SJ12ESS：P63形の場合）

* 消費電力削減値は周波数一定の場合を示します。

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)				
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		
形名	性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量		
PAC-SJ12ESS		0.17kW (12.0%)	6.6 l/h	0.19kW (13.5%)	13.2 l/h	0.20kW (14.0%)	6.6 l/h	0.25kW (17.6%)	13.2 l/h

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上のDIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位：mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別売部品名	適用機種
PAC-SJ12ESS	室外ユニット用 Kタイプ

取付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にボースを使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
給水管に硬質塩ビ管を使用する場合は 0.14MPa～0.3MPa
上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、慎重に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- ▲ **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- ▲ **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
- 取付け完了後、試運転を行ない、異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。**
 - お客様自身で取付けをされ不備がある場合、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
 - 部品に不備がある場合、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。**
 - 接続や固定に不備がある場合、火災の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。**
 - 万一ガスが漏れてユニットの周辺にたまった場合、爆発の原因になることがあります。

アース工事を行なう。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備がある場合、感電の原因になることがあります。

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

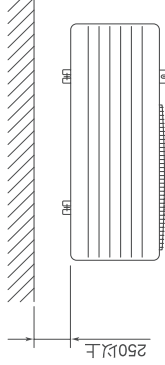
1. 部品の確認

品番 品名	個数	形 状	①制御部本体 カバー	②スプレアー 取付アングル	③スプレー取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水栓ソケット
品番 品名	3	形 状	⑦バンド	⑧補助リレー	⑨ネジ	⑩アッスナー	⑪ケーブルストラップ	
品番 品名	1	形 状						

2. 取付手順

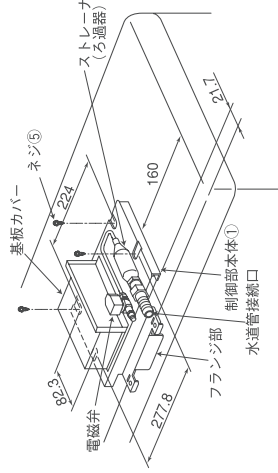
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物（壁など）とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー（白色）を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当て、下図寸法にして置いた後ドリル等で天板に下穴（φ3.6±0.05）を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤（3ヶ所）で制御部本体を固定してください。

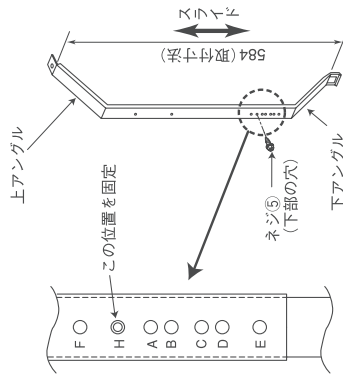


注意

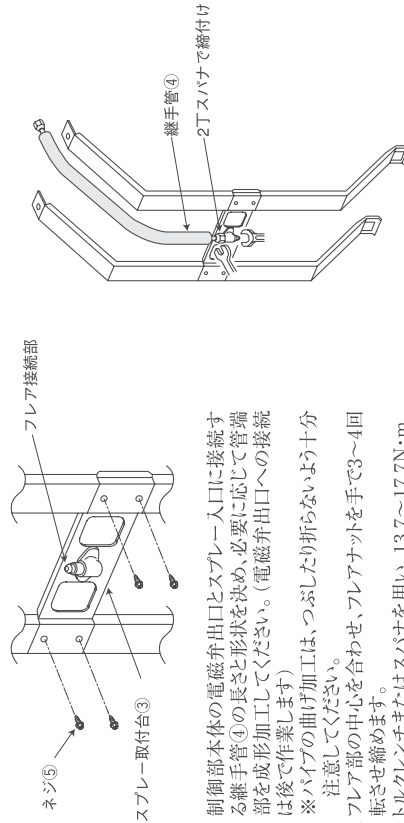
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け

- ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
1. スプレー取付けアングル②をスライダさせ、上アングルのアルファベットHの穴と下アングルの下部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付け台③をフレア接続部が上向きになるようにセットし、スプレー取付けアングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)

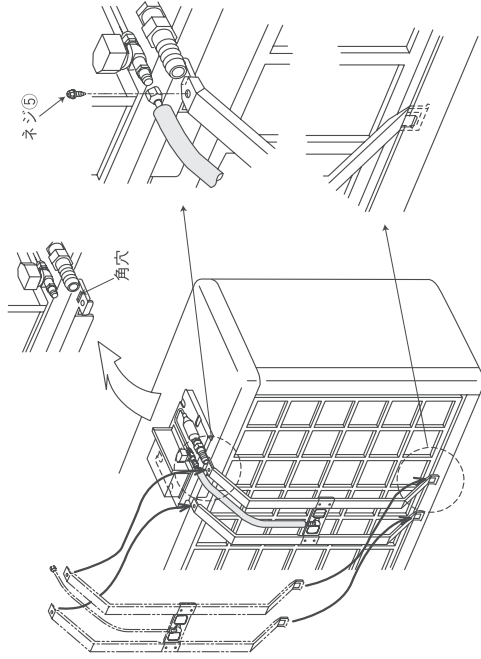


3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
※パイプの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。
4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スハナで締付けてください。

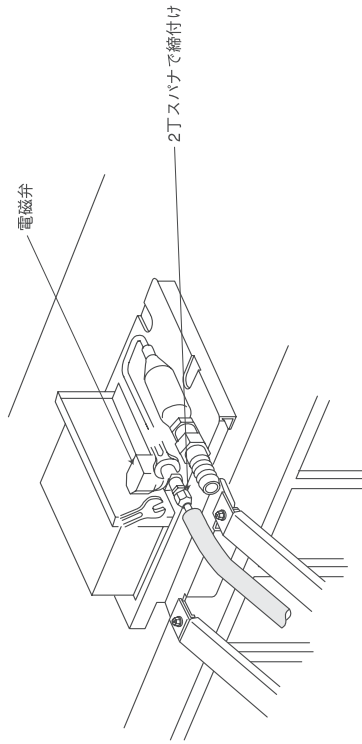
△ 注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スハナで締付けてください)

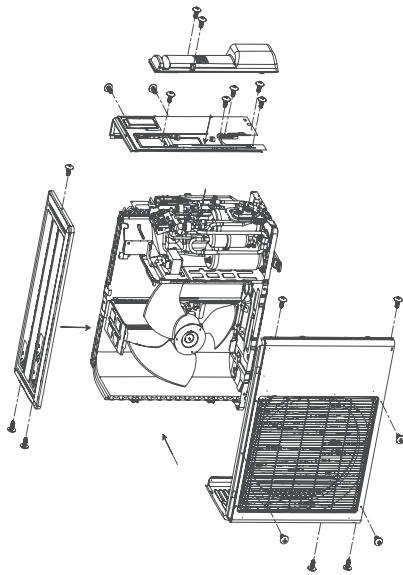


△ 注意

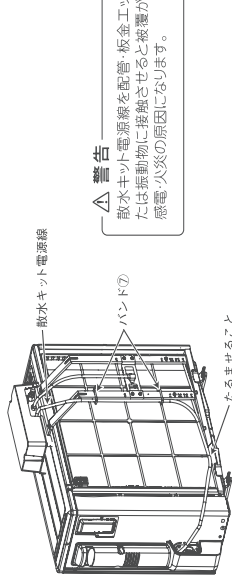
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

3. 配線手順

3-1 室外ユニットサードベースパネルの取外し 室外ユニットのパネルを下記の通り、取外してください。



3-2 配線作業 散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう下図のように取り廻し、アングルにバンド⑦で2ヶ所結束します。

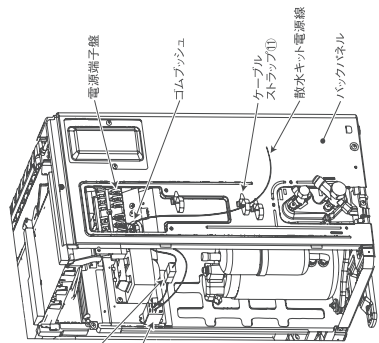


警告 散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると絶縁が破れ、感電・火災の原因となります。

3-3 結線作業

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑧を接続して結線してください。

1. 室外機電気品箱の指定位置(右図参照)に補助リレー⑧を付属のネジ⑨にて固定してください。
2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑧のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取付けてください。
※ 散水キット電源線、電源端子盤に接続するリード線は、ゴムブック⑩を通して接続してください。
3. バックパネルにケーブルストラップ⑪を右図の通り取付け、取付けたケーブルストラップ⑪に散水キット電源線を通して固定してください。
4. 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑩を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。



注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

注意

散水キット電源線と補助リレー⑧のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に収めてください。張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因となります。

警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

4. 給水管の接続

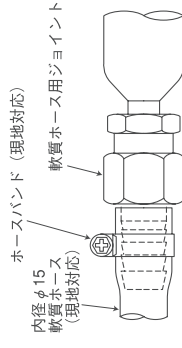
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※ 複数取付けの場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

注意

供給水圧・水量が足りないことと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

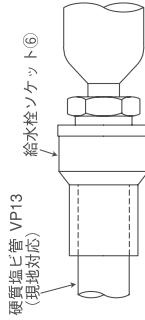
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑬を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スプAnaで行なってください。



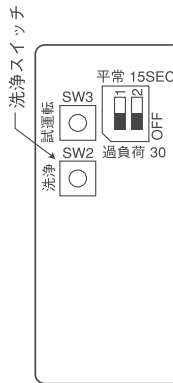
警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因となります。

故障診断
異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時:LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード
本製品には、室外ユニットのフィンを洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)

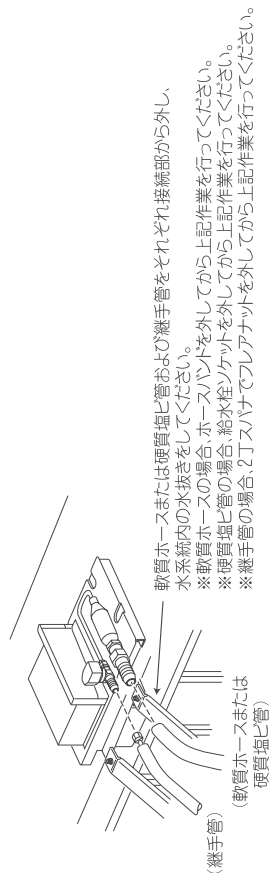


最後に基板カバーおよびカバー（白色）を取付けてください。

ご使用になるお客様へ

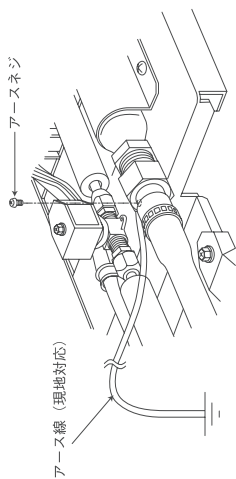
日常点検
供給水の水质によってはスプレー部分がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

冬期の水抜き
冬期に水系統内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



フィンの養生について
室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行ってください。

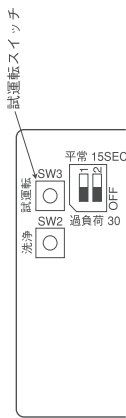
5. アース工事
アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。
室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



警告
アース工事をなう。アース線は、ガス管・水道管・遊動針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試験運転
基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試験運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。
(試験運転スイッチを押すと10分間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試験運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換えスイッチの設定
本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた下記設定を行ってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換えスイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。

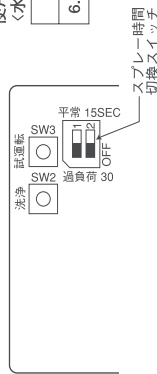


6-3 スプレー時間切換えスイッチの設定
散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています)

スプレー時間切換えスイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。
例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。

使用水量の目安
(水圧:0.15MPa)

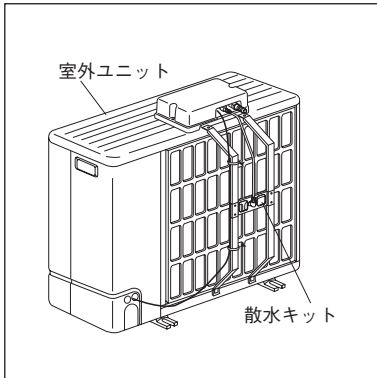
15秒	30秒
6.6ℓ/h	13.2ℓ/h



散水キット

● PAC-SH36ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA
- PUZ-ERP80(S)HA14
- PU-CRP80(S)HA14

仕様

形名	PAC-SH36ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	1ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ	水圧:0.14～0.25MPa(給水管ホースの場合) /0.14～0.3MPa(硬質塩ビ管の場合) 水温:10～30℃	
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13		

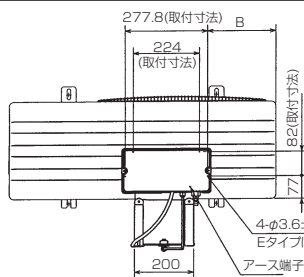
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SH36ESS:PUZ-RP80HA)

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)			
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル	
形名	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量
PAC-SH36ESS	0.20kW (12.0%)	6.6 ℓ/h	0.22kW (13.5%)	13.2 ℓ/h	0.23kW (14.0%)	6.6 ℓ/h	0.29kW (17.6%)	13.2 ℓ/h

◎平常/過負荷モードの切換え、及び散水時間の切換えは基板上のDIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)

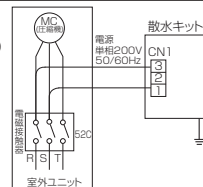


変化寸法表

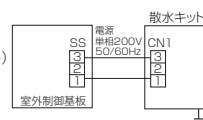
ユニット形態	能力クラス	A	B
PUZ-ZR(M)P,ERP,CRPタイプ	40～63	567	149
	80・112	902	183

配線要領

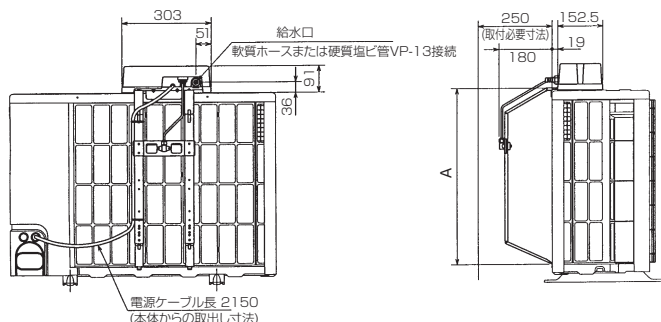
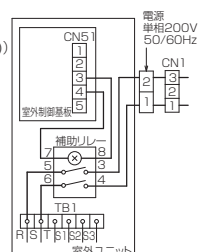
(一定速機種用)



(インバータ機種用
補助リレー未使用時)



(インバータ機種用
補助リレー使用時)



三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット取付説明書

別売部品名	適用機種
PAC-SH36ESS 室外ユニット用 Eタイプ、Fタイプ、Gタイプ、Hタイプ	

取付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.3MPa、給水管にホースを使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
 - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。
- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
- 取付け完了後、試運転を行ない、異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。**

 - お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水濡れや感電、火災等の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**

 - 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水濡れの原因になります。
- 配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。**

 - 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。**

 - 万一ガ스가漏れてユニットの周囲にたまると、爆発の原因になることがあります。
- アース工を行なう。**

 - アース線は、ガス管・水道管・配管計・電柱のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

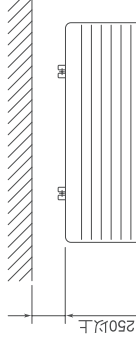
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	形状	品番	品名	個数	形状
①	制御部本体	1	カバー	⑤	ネジ	15	
②	スプレール	2		⑥	給水栓/ケット	1	
③	スプレー取付台	1		⑦	バンド	3	
④	継手管	1		⑧	リード付端子	1	
⑨	リード付端子	1		⑩	補助リレー	1	
⑪	ネジ	2		⑪	ネジ	1	
⑫	絶縁材	1		⑫	ファスナー	4	
⑬	インバータ機種のみ使用	1					

2. 取付手順

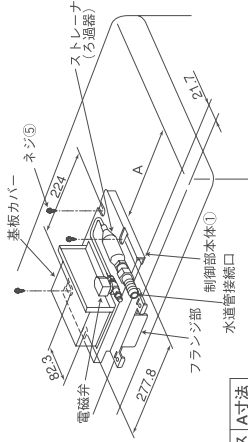
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物（壁など）とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー（白色）を外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて置き、A寸法（変換寸法表参照）にした後、ドリル等で天板に下穴（Eタイプ…φ3.5±0.03、その他の機種…φ3.6±0.05）を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付原の両面テープと、付属のネジ⑤（3ヶ所）で制御部本体を固定してください。



（A寸法変化表）

ユニット形態	能カクラス	A寸法
PU (H)	Eタイプ	203
PU (H)	Fタイプ	40～80
PU (H)	Gタイプ	202
(M) PUZ	Gタイプ	40～80
MPU (H)	P-HAタイプ	40～56
MPUH	P-HA2タイプ	40～56

[MPU※-HA*タイプの場合] MPU (H) φ40-56HA、MPUH (H) φ40-56HA2を線く

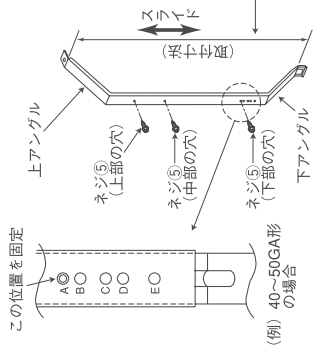
ユニット寸法	A寸法
幅800×奥行300×高さ600	139
幅950×奥行330×高さ740	173
幅950×奥行330×高さ943	173

注意

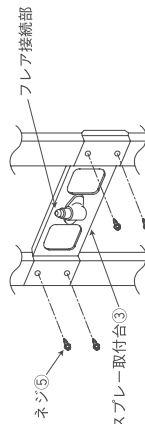
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付取付アングルの取付け

※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
 1. スプレー取付アングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(A~F)対応表参照)と下アングル(上部~下部 対応表参照)をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付台③をフレア接続部が上向きになるようにセットし、スプレー取付取付アングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
 ※バブアの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
 5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。
 ※必ず2丁スパナで締付けてください。

注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

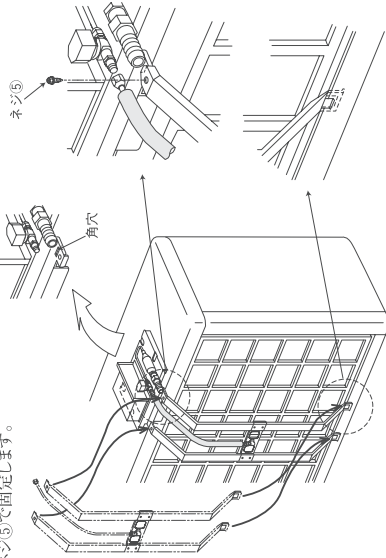
《 固定位置対応表 》

ユニット形態	能力クラス	固定位置
PU(H)	40~50	B (607) 下穴:下部
PU(H)	56~80	B (810) 下穴:中部
PU(H)	40~50	D (630) 下穴:下部
PU(H)	56~80	E (860) 下穴:中部
PU(H)	40~50	A (599) 下穴:下部
PU(H)	56~80	A (802) 下穴:中部
(M)PUZ	40~80	A (802) 下穴:中部
MPU(H)	P・HAタイプ	40~56 A (599) 下穴:下部
MPUH	P・HA2タイプ	40~56 A (599) 下穴:下部

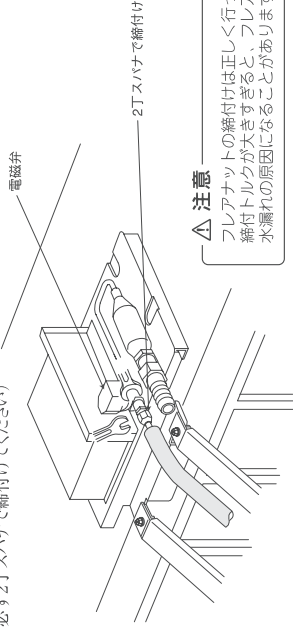
ユニット寸法	固定位置
幅800×奥行300×高さ600	F (567) 下穴:下部
幅950×奥行330×高さ740	G (699) 下穴:上部
幅950×奥行330×高さ943	A (902) 下穴:上部

[MPU*・HA*タイプの場合] MPU(H)・P40~56HA、MPUH・P40~56HA2を除く
 ※カッコ内の数字は取付け寸法を示します。スライド調整後必ず上表寸法の確認をしてください。

6. スプレー取付取付アングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っかけ、次に上部のワメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
 8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スパナで締付けてください)



注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

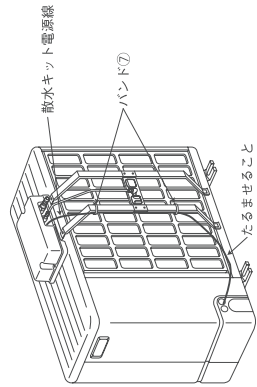
3. 配線手順

3-1 室外ユニットサービスマネルの取外し

室外ユニットのサービスマネルを外し、次に側面にある電源線取出穴(クックアウト)をあけてください。
 ※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

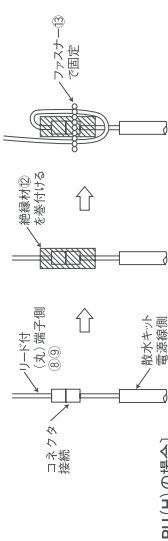
3-2 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッチおおよび配管等に絶対接触しないよう取り廻し下部の配管穴を通してアングルにバンド⑦で結束します。



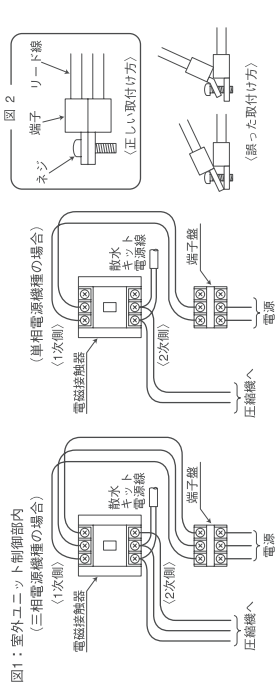
3-3 結線作業

リード付(丸)端子コネクタ⑧⑨の接続は、下記手順にて取付けてください。



(M)PU(H)の場合

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付丸端子⑧を接続して結線してください。
 1. 散水キット電源線は、室外ユニット制御部内の電磁接触器の2次側へ既存の端子と共締めしてください。
 (機種によって異なりますが、一例を下記に示します)
 ※端子の向きは、必ず図2の上記に取付けてください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をフラスナー⑬を使用して束ねてください。

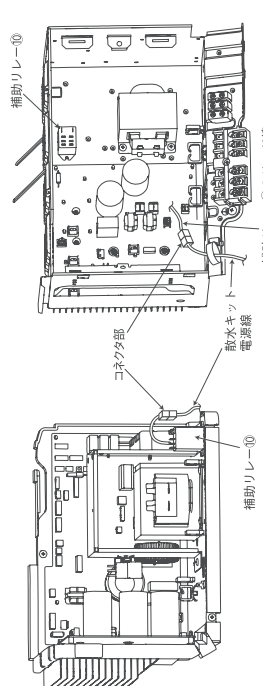


(M)PUZ:室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が有る機種の場合

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑨を接続して結線してください。
 1. 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後、リード付端子⑨の端子部を、室外制御部基板に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をフラスナー⑬を使用して束ねてください。
 (注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

(M)PUZ:室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が無い機種の場合

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続して結線してください。
 1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑭にて固定してください。



2. 制御本体部Dのカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、室外制御部基板上的コネクタ、電源端子線に取り付けてください。
 3. 各リード線を引き回す際には、フラスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上的電子部品と接触しないようにしてください。

⚠ 注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
 ノイズによる誤動作の原因となります。

⚠ 注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に取付けてください。
 張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

⚠ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

⚠ 警告

電磁接触器への端子の接続は、図のように正しく取付けること。誤った取付けをすると接触面積不足による発火・焼損の原因となります。

4. 給水管の接続

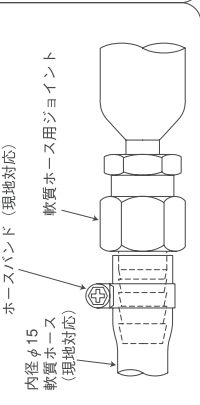
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
 ※殺菌剤取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

⚠ 注意

供給水圧・水量が足りない時噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

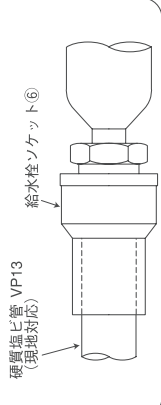
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スリヤで行ってください。

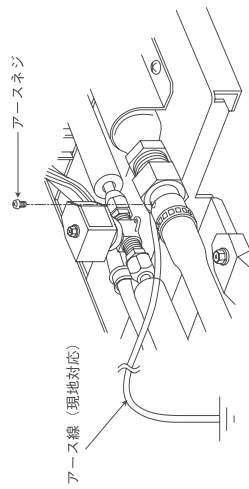


⚠ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気に水がかかり、感電・火災の原因となります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。
 室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。
 このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



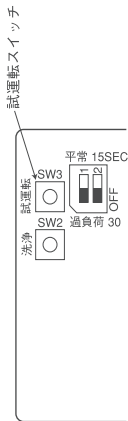
△ 警告

アース工事をなう。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。
 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

6. 試運転

基板カバーのネジをを外してください。 ※ 下図において■はスイッチの位置を示します。

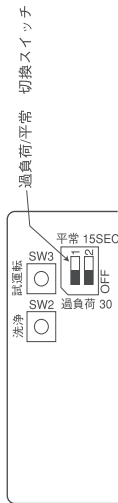
1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御本体の基板上にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほほは均一の粒子で広がるかを確認してください。
3. 試運転スイッチを押すと10分間噴霧、10分間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切替スイッチの設定

本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行なってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷 / 平常切替スイッチ (DIPスイッチ: 1) を操作し過負荷 (外気温40℃作動) の場合はOFF側、平常 (外気温32℃作動) の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切替スイッチの設定

散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています)

スプレー時間切替スイッチ (DIPスイッチ: 2) を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。
 例えば水温が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。

使用水量の目安

水圧: 0.15MPa	15秒	30秒
	6.6ℓ/h	13.2ℓ/h



スプレー時間切替スイッチ

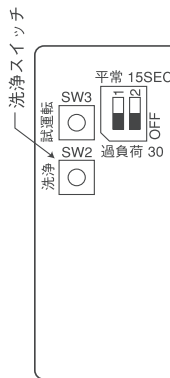
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行なってください。(正常運転時: LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
 (洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー (白色) を取付けてください。

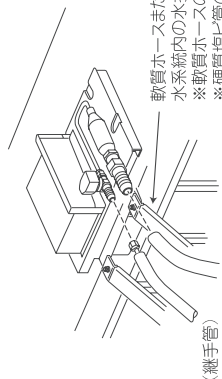
ご利用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

冬期の水抜き

冬期に水系内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系内の水抜きをしてください。



(継手管)
 (軟質ホースまたは硬質塩ビ管)

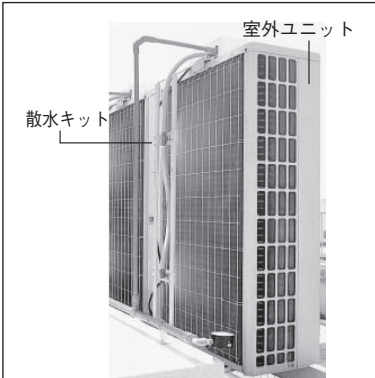
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。

散水キット

● PAC-SG71ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-HRP80 ～ 160HA14

仕様

形名	PAC-SG71ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	2ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ	水圧：0.14 ～ 0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14 ～ 0.3MPa（硬質塩ビ管の場合） 水温：10 ～ 30℃	
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース	内径 15mm /	硬質ホース VP13

消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SG71ESS:PUZ-RP160HA)

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)			
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル	
性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量
PAC-SG71ESS	0.41kW (10.3%)	10.5 ℓ/h	0.52kW (13.0%)	21.1 ℓ/h	0.58kW (14.5%)	10.5 ℓ/h	0.72kW (18.0%)	21.1 ℓ/h

◎平常／過負荷モードの切換え、及び散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)

変化寸法表

PUZ(H)の場合

変化寸法	A	B
能力クラス ユニット形態	90~160	90~112 125~160
EG/EKタイプ	1216	213 263
FA/FKタイプ	1230	212 277
GA(M)タイプ	1208	230 290

PUZの場合

変化寸法	A	B
能力クラス ユニット形態	112	
GAタイプ	1208	290

(M)PUZの場合

変化寸法	A	B
能力クラス ユニット形態	112~160	
HAタイプ	1309	183

配線要領

(一定速機種用)

(インバータ機種用 (補助リレー未使用時))

(インバータ機種用 (補助リレー使用時))

室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別売品名	適用機種
PAC-SG71ESS	室外ユニット 27ファン機種用 Eタイプ、Fタイプ、Gタイプ、Hタイプ

取付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 晴露時の水圧は、十分圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.3MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、ファンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- ▲ **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- ▲ **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。
- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

▲ 警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。**
 - お客様自身で取付けをされ不備がある、取品によっては水濡れや感電、火災等の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
 - 部品に不備がある、感電、火災、ユニット落下によるケガ、水濡れ、原因になります。
- 配線は、所定の電線を併用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。**
 - 接続や固定に不備がある、火災の原因になります。

▲ 注意

- 製品の運搬・据付けは充分注意して行う。**
 - 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPVレドなど所定の位置以外をもちて製品を動かさないでください。
 - 素手で部品、端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護器具をご使用ください。
- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。**
 - 万一ガスが漏れたときにユニットの周囲にたまる、燃焼の原因になることがあります。
- アース工事を行なう。**
 - アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話線のアース線に接続しない。アース工事に不備がある、感電の原因になることがあります。

RG79A932H17

取付説明書

散水キット:PAC-SG71ESS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

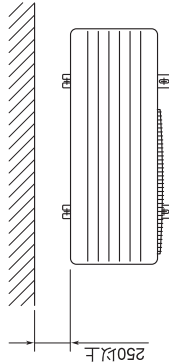
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番 品名	個数	形状	②スプレ- 取付けアングル	③スプレ- 取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水栓ノット	⑦バンド
①制御部本体 カバー	1		2	2	2	15	1	3
⑧リード丸端子 ※インバータ以外の 機種のみ使用	1		⑨リード端子 ※インバータ機種 のみ使用	1	⑩補助リレー	⑪ネジ	⑫絶縁材	⑬アースナー
⑧リード丸端子 ※インバータ以外の 機種のみ使用	1		⑨リード端子 ※インバータ機種 のみ使用	1	⑩補助リレー	⑪ネジ	⑫絶縁材	⑬アースナー
⑧リード丸端子 ※インバータ以外の 機種のみ使用	1		⑨リード端子 ※インバータ機種 のみ使用	1	⑩補助リレー	⑪ネジ	⑫絶縁材	⑬アースナー

2. 取付手順

2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障壁物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

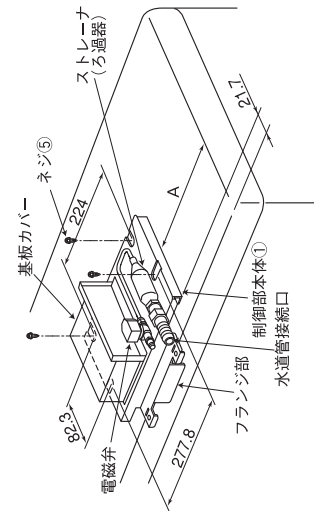
1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて置き、A寸法(変化寸法表参照)にした後、ドリル等で天板に下穴(EK/EGタイプ…φ3.5±0.03、その他の機種…φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の画面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。

《A寸法変化表》

ユニット形態	能力クラス	A寸法
PU(H)	EG/EKタイプ	90～160
PU(H)	FA/FKタイプ	90～160
PU(H)	GA(M)タイプ	112～160
PUZ	GAタイプ	112～160

[MPU(H)-HA、(M)PUZ-HA、PUSY-E/Gタイプの場合]

ユニット寸法	A寸法
幅950×奥行330×高さ1350	173



▲ 注意

指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)

7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットの中心を手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スパナで締付けてください)

注意
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

室外ユニットのカービシパネルを外し、次に側面にある電源線取出穴(リックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

3. 配線手順
3-1 室外ユニットカービシパネルの取外し
3-2 配線作業
散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう取り廻し下部の配管穴を通してアングルにバンド⑦で結束します。

警告
散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると破壊が破れ、感電・火災の原因になります。

たるませること

2-3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(A~F対応表参照)と下アングル(上部~下部 対応表参照)をネジ⑤で固定してください。

この位置を固定

上アングル

下アングル

ネジ⑤(上部の穴)

ネジ⑤(中部の穴)

ネジ⑤(下部の穴)

フライト

取付位置

単位(mm)

ユニット形態	能カクラス	固定位置	スレべり
PU (H) EG/EKタイプ	90~160 B (1216)	下穴:中部	570
PU (H) FA/FKタイプ	90~160 C (1230)	下穴:中部	582
PU (H) GA(M)タイプ	112~160 A (1208)	下穴:中部	561
PUZ GAタイプ	112~160 A (1208)	下穴:中部	561

【MPU (H)-HA、(M) PUZ-HA、PUSY-E/Gタイプの場合】

ユニット寸法	固定位置	スレべり
幅950X奥行330X高さ1350	A (1309)	下穴:上部
		上部
		562

※カッコ内の数字は取付け寸法を示します。
スライド調整後必ず上表寸法の確認をしてください。

2. スプレー取付け台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルにネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)

3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
※パイプの面加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。
4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スパナで締付けてください。

注意
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

ネジ⑤

スプレー取付け台③ (フレア接続部・上下)

スプレー取付け台③ (フレア接続部・上)

継手管④ 2丁スパナで締付け

フレア接続部

スプレー取付け台③ (フレア接続部・上)

2. 制御本体①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取り付けてください。
3. 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

△ 注意
室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
ノイズによる誤動作の原因となります。

△ 注意
散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内にて収めてください。
張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

△ 警告
室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

△ 警告
端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

△ 警告
電磁接触器への端子の接続は、図のように正しく取付けること。誤った取付けをすると接触面積不足による発火・焼損の原因になります。

4. 給水管の接続
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※複数取付けの場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

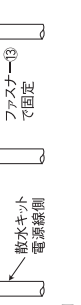
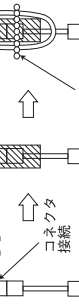
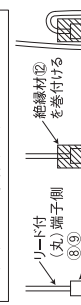
△ 注意
供給水圧・水量が足りないこと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

軟質ホース使用の場合
市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。

硬質塩ビ管使用の場合
軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2スリットで行なってください。

警告
給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因になります。

3-3 結線作業
配線方法対応表で選択された配線方法にしたがって配線してください。



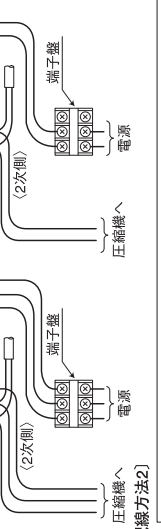
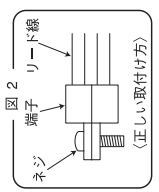
ユニット型名	室外機制御基板上コネクタSS(シロ)	室外機製造番号	配線方法
PU(H)	有リ	—	1
(M)PUZ	有リ	—	2
PUZ-K	有リ	29U*****以前	3
	有リ	2XU*****以降	2
PUSY	有リ	29U*****以前	3
	有リ	2XU*****以降	2

〈補足〉製造番号の見方 □U*****
製造月(4,5,6,7,8,9,X,Y,Z,1,2,3)
例) 29U*****-2012年9月製造、型名2XU*****-2012年10月製造

〔配線方法1〕

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付丸端子⑧を接続して結線してください。

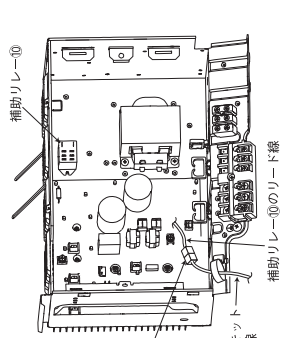
1. 散水キット電源線は、室外ユニット制御部内の電磁接触器の2次側へ既存の端子と共締めしてください。(機種によっては異なりますが、一例を示します)
- ※端子の向きは、必ず図2のように取付けてください。
2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。



〔配線方法2〕

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑨を接続して結線してください。

1. 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後、リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板上に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。
- (注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。



〔配線方法3〕

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続してください。

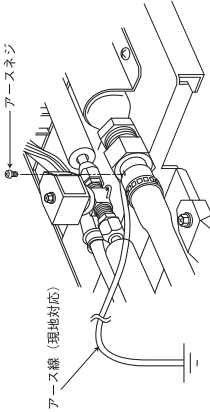
1. 室外機電気品箱(右図参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑭にて固定してください。



5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。

室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



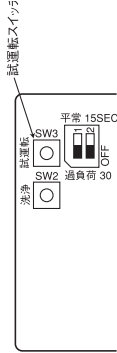
△ 警告

アース工事を行なう。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

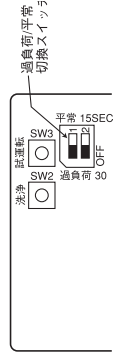
1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板上にある試運転スイッチを押してスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。(試運転スイッチを押すと10分間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

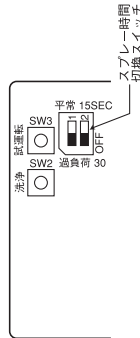
本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた下記設定を行なってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換スイッチ (DIPスイッチ: 1) を操作し過負荷 (外気温40℃作動) の場合はOFF側、平常 (外気温32℃作動) の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています) スプレー時間切換スイッチ (DIPスイッチ: 2) を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



使用水量の目安 (水圧:0.15MPa)

形名	15秒	30秒
PAC-SG71ESS	10.5 l / h	21.1 l / h

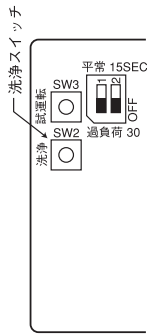
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上的LEDが以下の内容を表示しますので点検を行なってください。(正常運転時:LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

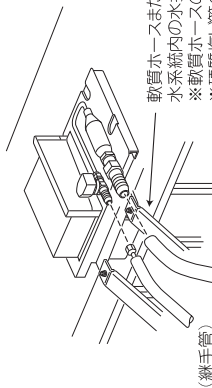
ご使用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部分がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

冬期の水抜き

冬期に水系統内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から外し、水系統内の水抜きしてください。
 ※軟質ホースの場合、ホースバンドを外してから上記作業を行ってください。
 ※硬質塩ビ管の場合、給水シケットを外してから上記作業を行ってください。
 ※継手管の場合、2丁シキでフレアナットを外してから上記作業を行ってください。

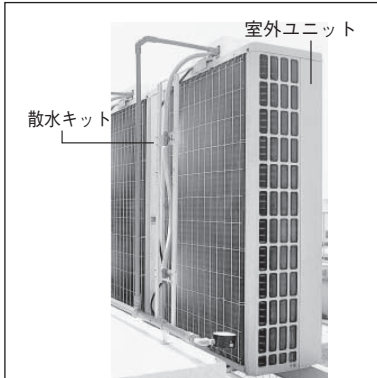
ファンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。

散水キット

● PAC-SJ02ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注 意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA
- PUZ-ZRP224・280KA8
- PUZ-ERP112～160LA3
- PUZ-ERP224・280KA8
- PU-CRP112～160LA3

仕 様

形 名	PAC-SJ02ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	2ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ	水圧：0.14～0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14～0.3MPa（硬質塩ビ管の場合）	水温：10～30℃
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース	内径 15mm / 硬質ホース	VP13

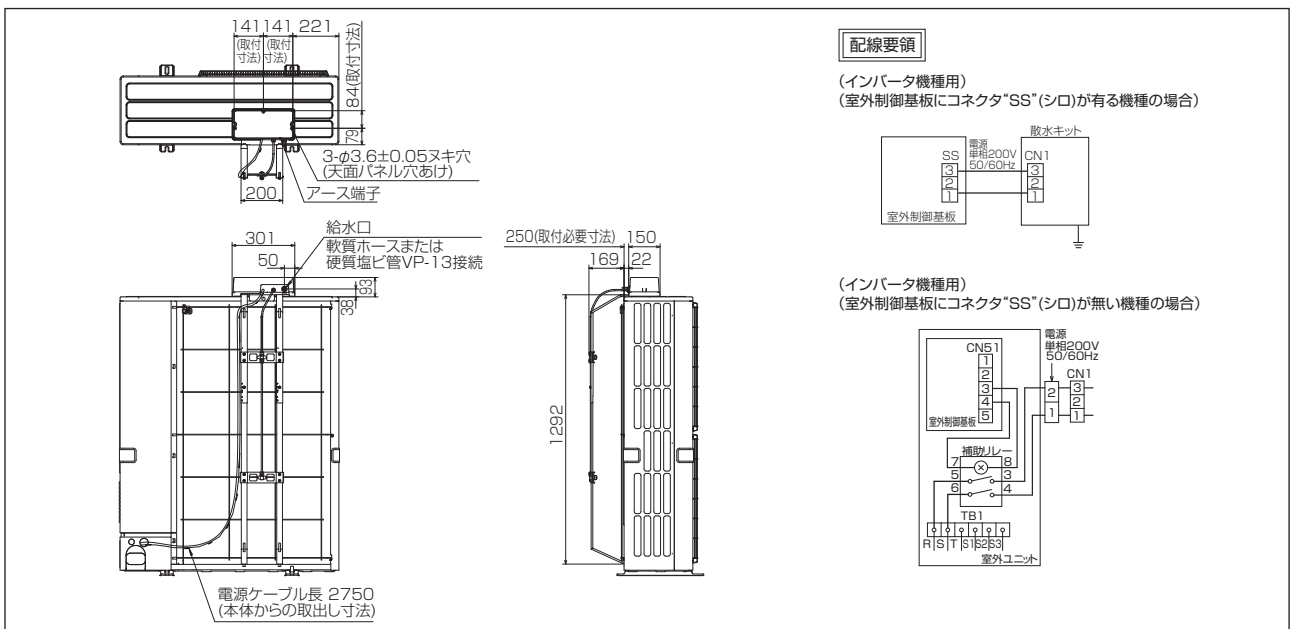
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(参考データ P160形搭載時)

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)			
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル	
形 名	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量
PAC-SJ02ESS	0.41kW (10.3%)	10.5 ℓ/h	0.52kW (13.0%)	21.1 ℓ/h	0.58kW (14.5%)	10.5 ℓ/h	0.72kW (18.0%)	21.1 ℓ/h

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット取付説明書

※取付け前には本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- | 別売部品名 | 適用機種 |
|-------------|-----------------------|
| PAC-SJ02ESS | 室外ユニット 2ファン機種用 K/Lタイプ |
- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
 - 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30°Cで、ご使用ください。
 - 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
 - 給水管にホースを使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.3MPa
 - 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
 - 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

△ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

△ 注意 誤った取扱いをしたときに、傷身または財産などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

△ 警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備がある、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。

- 部品に不備がある、感電、火災、ユニット落下によるケガが水漏れの原因になります。

配線は、所定の電線を使用し確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

△ 注意

製品の運搬・据付けは充分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
- 素手や部品、端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまる、爆発の原因になることがあります。

アース工事を行なう。

- アース線は、ガス管、水道管、配管、電線のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

RG79A932H18

取付説明書

散水キット: PAC-SJ02ESS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

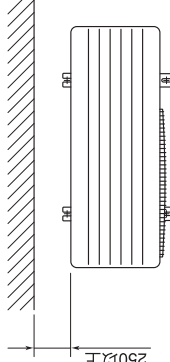
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

1. 部品の確認		この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。							
品名	個数	①制御部本体	②スプレア取付けアングル	③スプレア取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水栓/ノケット	⑦バンド	
形状		カバー		フレア接続部違いが各1個ずつ	長さ違い、各1本ずつ				
品名	個数	⑧リード付丸端子	⑨リード付端子	⑩補助リレー	⑪ネジ	⑫絶縁材	⑬ファスナー		
形状		※インバータ以外の機種のみ使用	※インバータ以外の機種のみ使用						

2. 取付手順

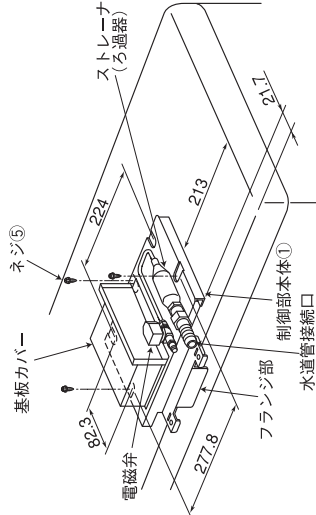
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障造物（壁など）とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー（白色）を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面上に突き当りて指定の位置に仮置きした後（ドリル等で天板に下穴（φ3.6±0.05）を3ヶ所あけてください。（天板に下穴位置の刻印が3箇所あります。）
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤（3ヶ所）で制御部本体を固定してください。

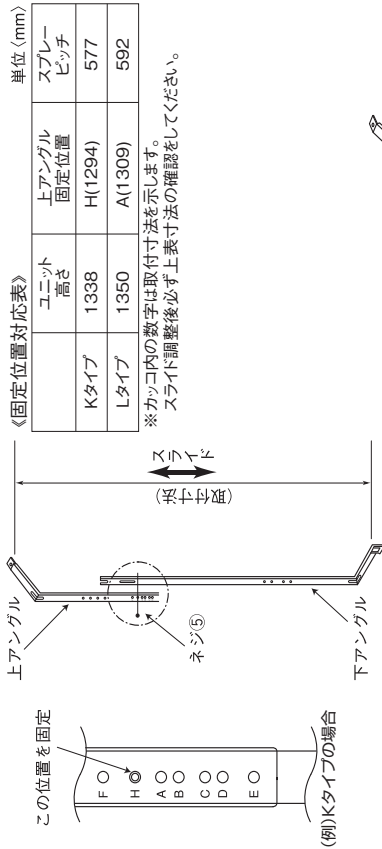


△ 注意

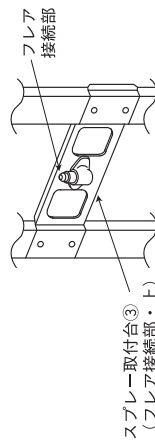
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベットの穴(対応表参照)と下アングルの上部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルにネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)

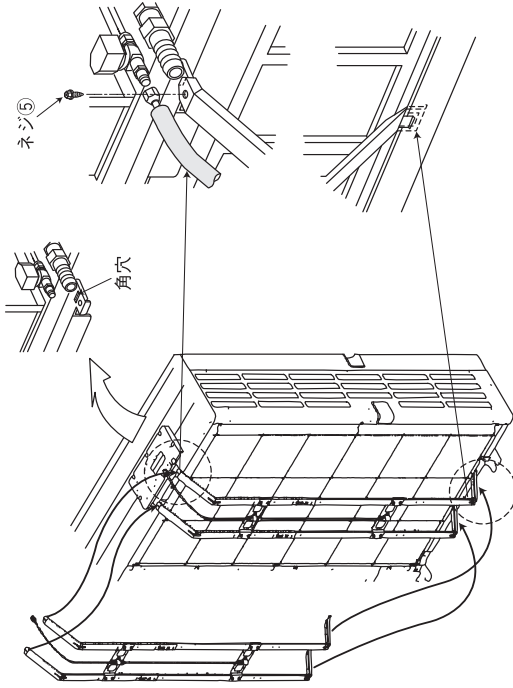


3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)

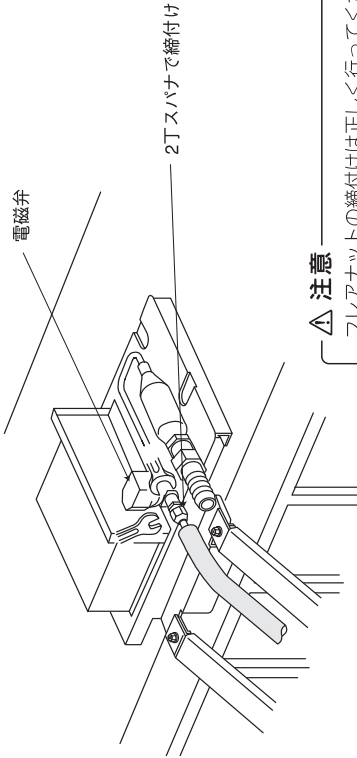
4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。必ず2丁スパナで締付けてください。

▲注意
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スパナで締付けてください)



▲注意
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

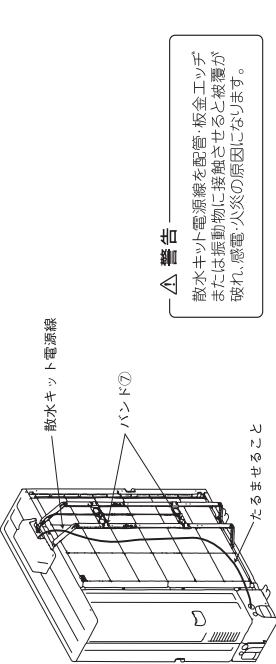
3. 配線手順

3-1 室外ユニットサーベイスパネルの取外し

室外ユニットのサーベイスパネルを外し、次に側面にある電源線取出口(ノックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

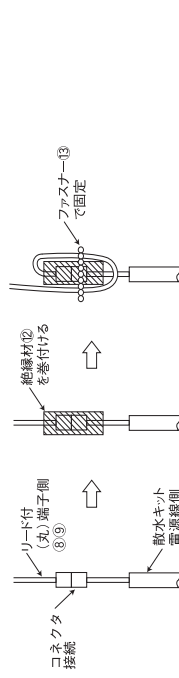
3-2 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近隣配管金エッチおよび配管等に絶対接触しないよう取り廻し下部の配管穴を通してアンクルにバンド⑦で結束します。



3-3 結線作業

リード付(丸)端子コネクタ⑧⑨の接続は、下記手順にて取付けてください。



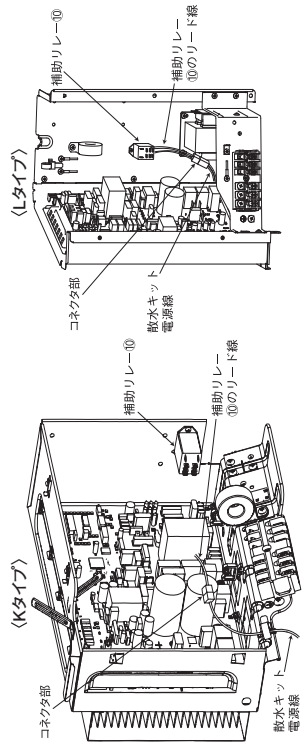
【室外機制御基板上にコネクタ"SS" (シロ) がある機種の場合】

散水キット電源線は、同電源線と同相のリード付端子⑨を接続して結線してください。

1. 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板上に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。
(注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。

【室外機制御基板上にコネクタ"SS" (シロ) が無い機種の場合】

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続して結線してください。
1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑩にて固定してください。



2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、電源線、室外機制御基板上のコネクタ、電源端子盤に取り付けてください。
3. 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

△ 注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
ノイズによる誤動作の原因となります。

△ 注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内にて取めてください。
張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

△ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

△ 警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

4. 給水管の接続

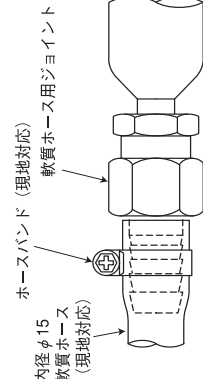
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※複数台取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

△ 注意

供給水圧・水量が足りない、噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

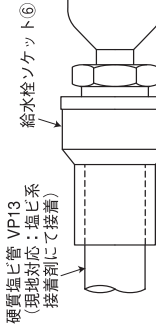
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スパンで行なってください。

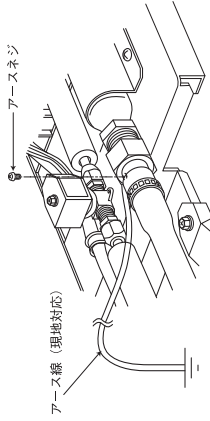


△ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気に水がかかり、感電・火災の原因となります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。



室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

△警告

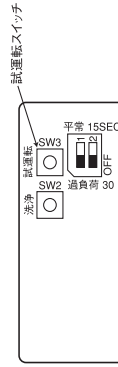
アース工事を行なう。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

6-1 試運転

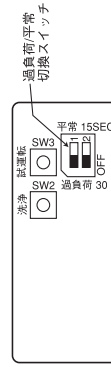
1. 水栓を開き水キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転（圧縮機運転）し、制御部本体の基板上にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほこり等の粒子で広がっているかを確認してください。
(試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

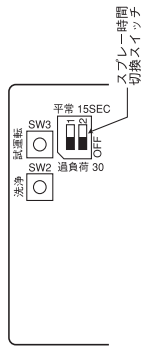
本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行なってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換スイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています) スプレー時間切換スイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



形名	15秒	30秒
使用水量の目安(水圧:0.15MPa)	10.5 l/h	21.1 l/h
PAC-SJ02ESS	10.5 l/h	21.1 l/h

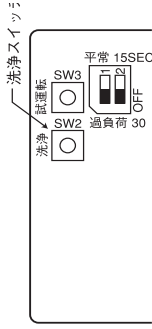
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行なってください。(正常運転時:LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーモスタ異常	サーモスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィンを洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンのを洗浄に使用してください。(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

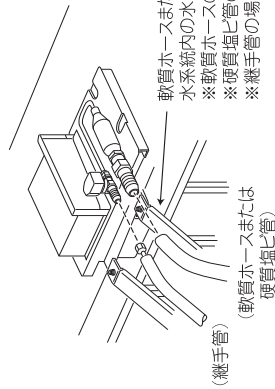
ご使用になるお客様へ

◎日点検

供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

◎冬期の水抜き

冬期に水系統内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



- 軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から外し、水系統内の水抜きをしてください。
- ※軟質ホースの場合、ホースバンドを外してから上記作業を行ってください。
- ※硬質塩ビ管の場合、給水金ケットを外してから上記作業を行ってください。
- ※継手管の場合、2口スライダでフレアナットを外してから上記作業を行ってください。

◎フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水質によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。